

令和3年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果

鹿児島市

・第4回

- 1 性の多様性について（人権推進課）
- 2 郷土芸能の保護について（文化財課）
- 3 子どもの未来応援条例（仮称）の制定について（こども福祉課）

目 次

I	調査の概要	1
II	性の多様性について.....	4
III	郷土芸能の保護について.....	22
IV	子どもの未来応援条例（仮称）の制定について	44

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様に「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,500 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 3 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日

(4) 人数

328 人（第 4 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第4回調査の概要

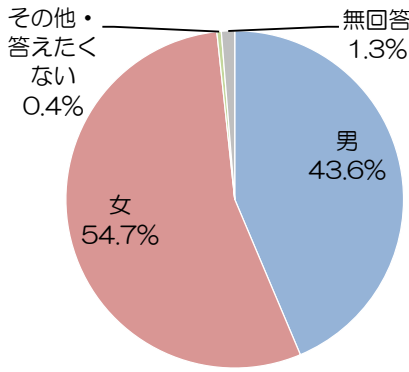
(1) 調査概要

テーマ/担当課	性の多様性について	人権推進課
	郷土芸能の保護について	文化財課
	子どもの未来応援条例（仮称）の制定について	こども福祉課
調査期間	令和3年11月5日～11月26日	
回答率	72.0% (236人)	

(2) 回答者属性

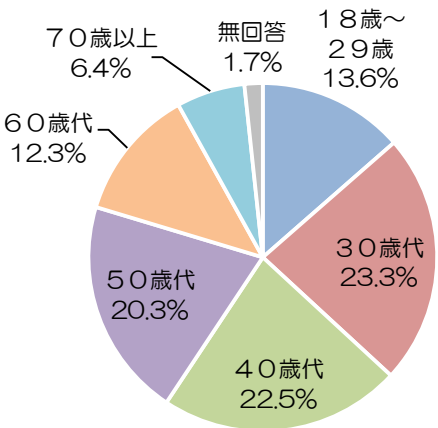
① 性別

選択肢	回答数	割合
男	103	43.6%
女	129	54.7%
その他・答えたくない	1	0.4%
無回答	3	1.3%
サンプル数	236	100.0%

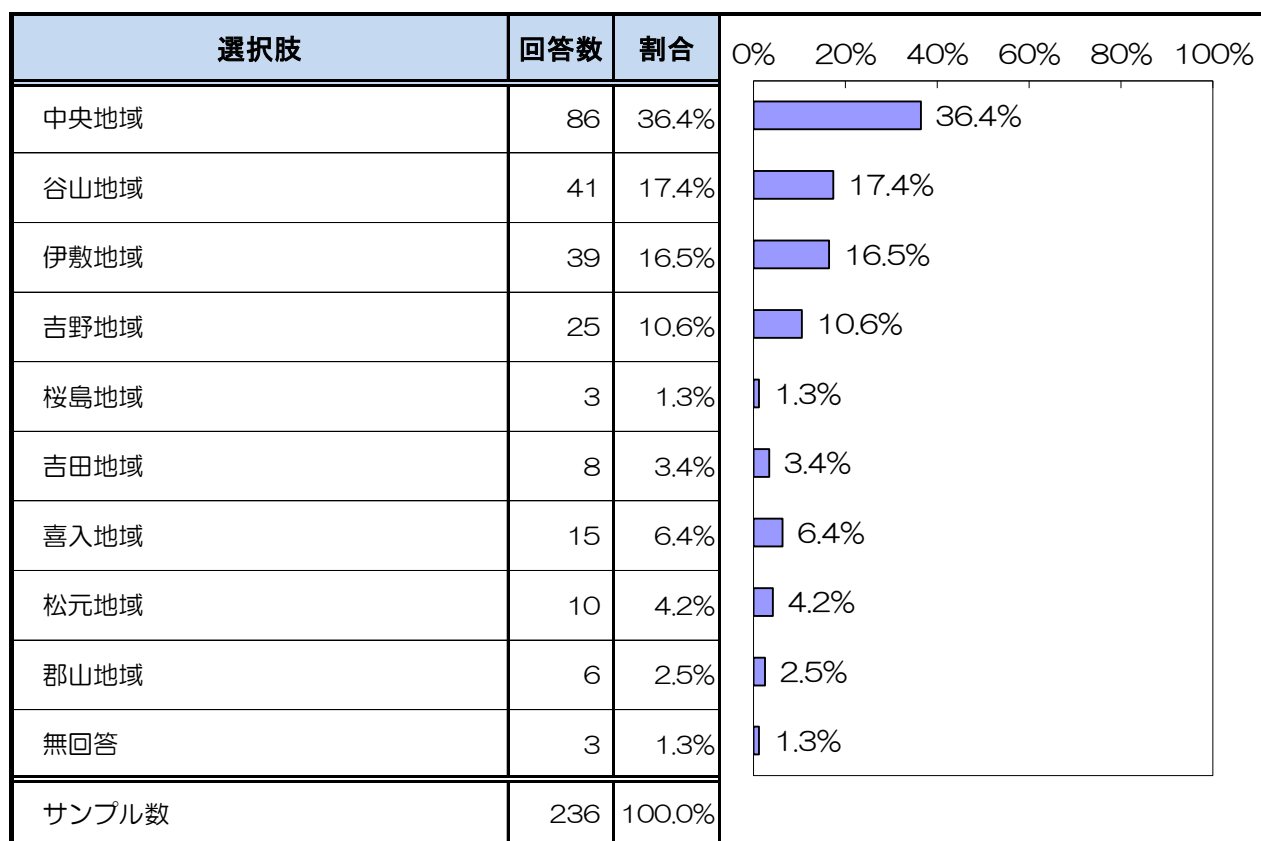


② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	32	13.6%
30歳代	55	23.3%
40歳代	53	22.5%
50歳代	48	20.3%
60歳代	29	12.3%
70歳以上	15	6.4%
無回答	4	1.7%
サンプル数	236	100.0%



③ 居住地



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。

Ⅱ 性の多様性について

1. 調査の目的

本市では、市民一人ひとりの人権や多様性が尊重され、誰もが安心して暮らしていける社会の実現に向けて人権教育・啓発基本計画を策定し、啓発活動に取り組んでおります。その取り組みの一環として令和4年1月からは「鹿児島市パートナーシップ宣誓制度」を導入いたします。今回は、市民の皆さんに性の多様性（性的少数者（LGBTなど）やパートナーシップ宣誓制度など）についての考えをお聞かせいただき、今後の施策の参考とするために、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（人権推進課）からのコメント

「LGBT」という言葉については、83.5%の方が「知っていた」と回答されており、浸透してきていることが分かりますが、「SOGI」については79.7%が「知らなかった」と回答していることから、市民の方々の性の多様性に関する基礎知識の向上を図る必要があると考えます。

また、72.9%の方が現在の社会は性的少数者の方々にとって生きやすい社会だと「思わない・どちらか言えば思わない」と回答され、その理由として、70.3%の方が「周囲の人の理解が得られないから」と回答していることから、性的少数者の生きづらさを解消するためには、当事者への社会的理解を広げていくことが課題であると考えます。

性的少数者の方々が生活しやすい社会になるため必要な取り組みとしては、「教育現場での啓発活動」（68.6%）や「行政による制度や環境の整備」（63.6%）を多くの方が選択していることから、子どもたちからの教育・啓発や性的少数者の支援制度の創設などが重要視されていることが分かりました。

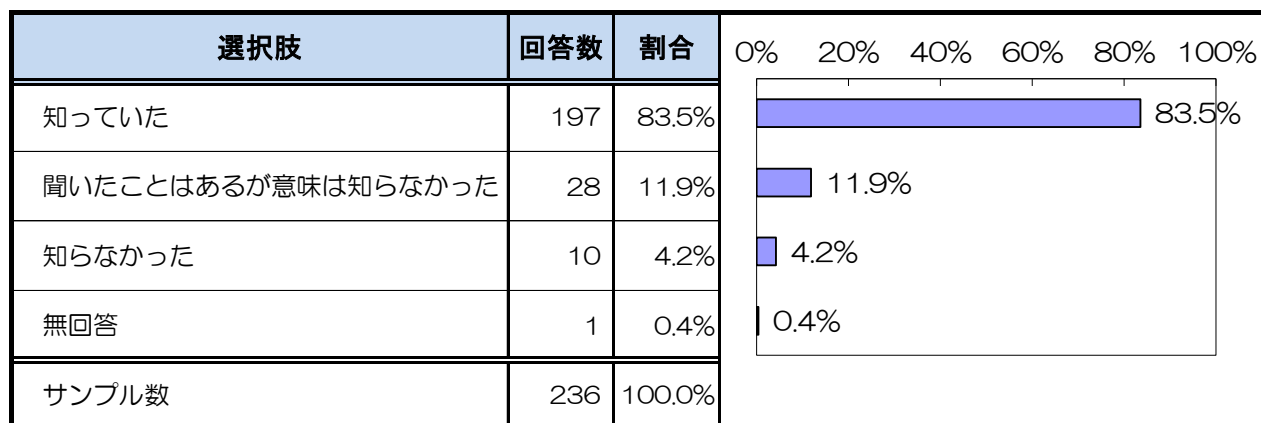
なお、「鹿児島市パートナーシップ宣誓制度」については、「知らなかった」と回答された方が52.5%であったことから、制度のさらなる周知啓発が必要であると考えおります。

今回の調査結果を踏まえ、性の多様性について社会的理解を広げるための取り組みを進めてまいります。

3. 調査結果

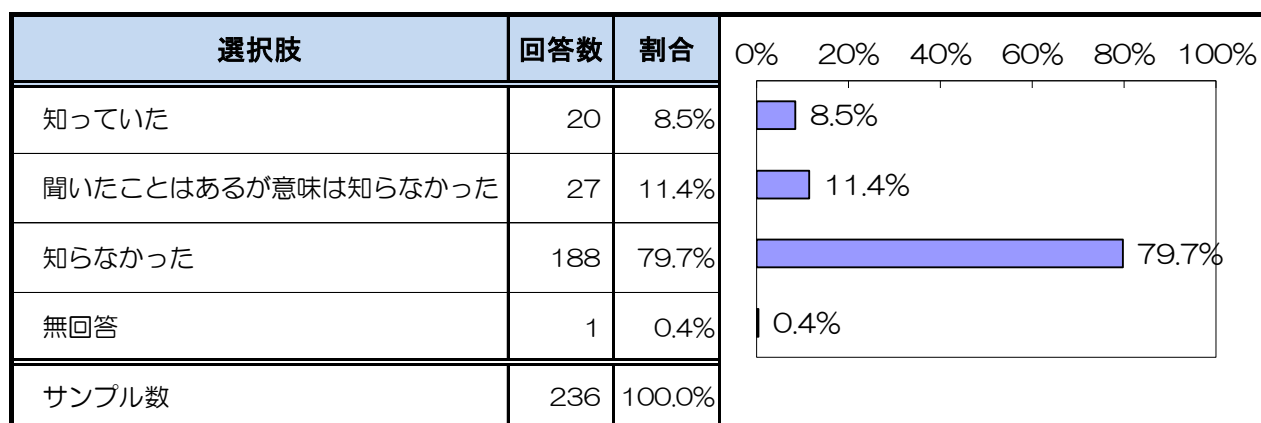
問1 性的少数者の総称の一つである「LGBT」という言葉を知っていましたか。(単一回答)

「知っていた」が83.5%、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」が11.9%、「知らなかった」が4.2%となっています。



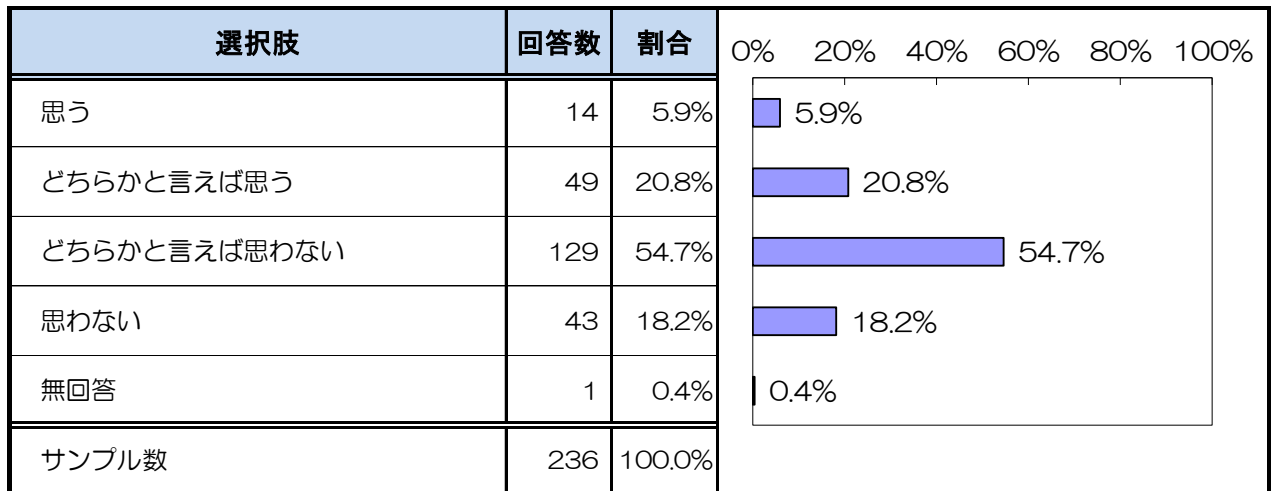
問2 「SOGI (ソジ・ソギ)」という言葉を知っていましたか。(単一回答)

「知っていた」が8.5%、「聞いたことはあるが意味は知らなかった」が11.4%、「知らなかった」が79.7%となっています。



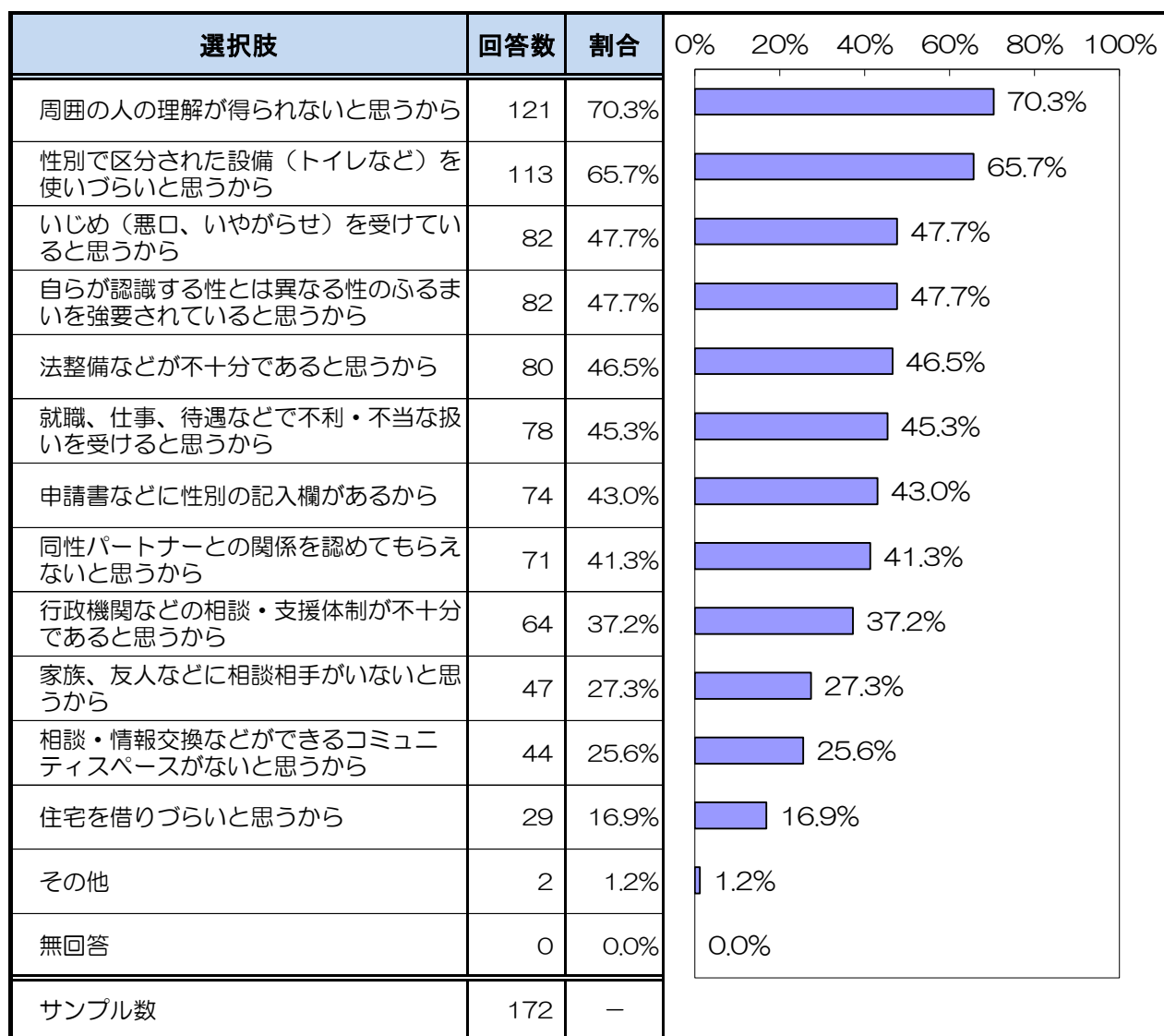
問3 現在の社会は、性的少数者の方々にとって、偏見や差別などの人権侵害のない生きやすい社会だと思いますか。(単一回答)

「どちらかと言えば思わない」が 54.7%と最も高く、次いで、「どちらかと言えば思う」の 20.8%、「思わない」の 18.2%の順となっています。



問4 問3で「3. どちらかと言えば思わない」「4. 思わない」と回答された方にお伺いします。そう思う理由は何ですか。(複数回答)

「周囲の人の理解が得られないと思うから」が70.3%と最も高く、次いで、「性別で区分された設備（トイレなど）を使いづらいと思うから」の65.7%、「いじめ（悪口、いやがらせ）を受けていると思うから」「自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されていると思うから」の47.7%の順となっています。

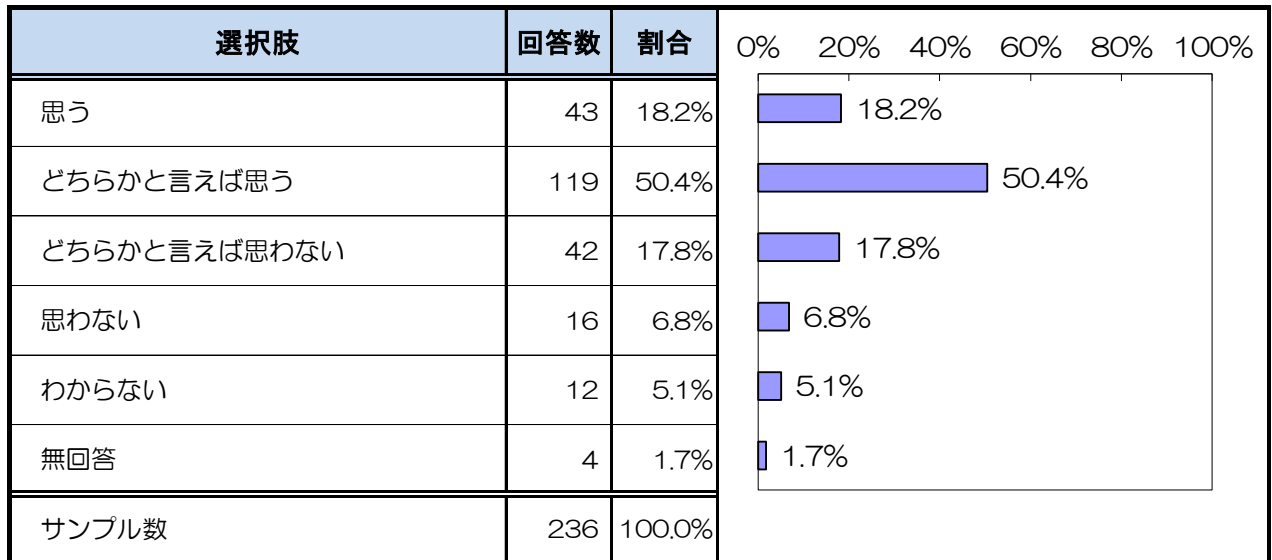


◆その他の回答（原文まま）

- ・自分の性に関する気持ちを素直に表現することが憚れると感じているのではないかと思うから。
- ・行政主催の講演会が少ないと思う。

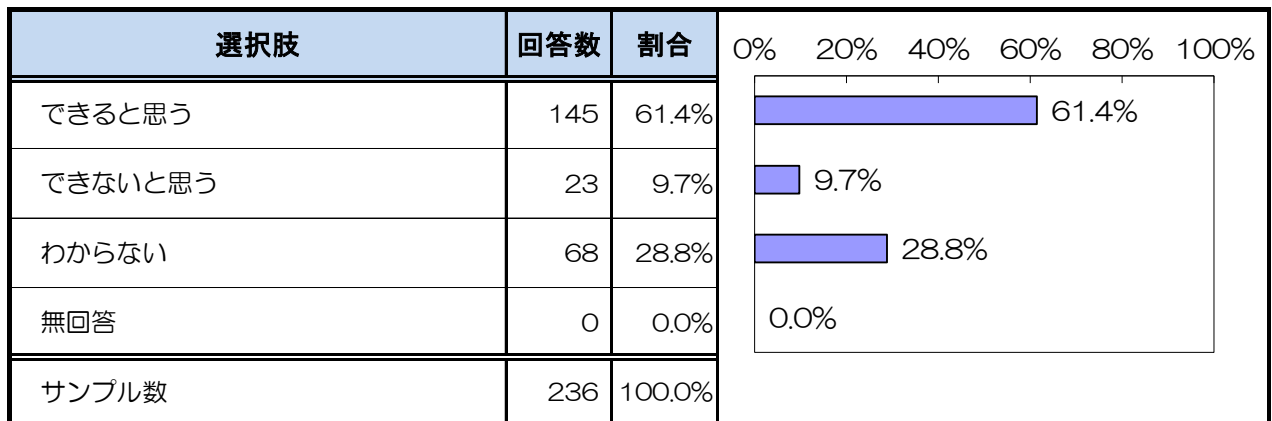
問5 LGBTに関する社会的な意識が高まっていると思いますか。
(単一回答)

「どちらかと言えば思う」が50.4%と最も高く、次いで、「思う」の18.2%、「どちらかと言えば思わない」の17.8%の順となっています。



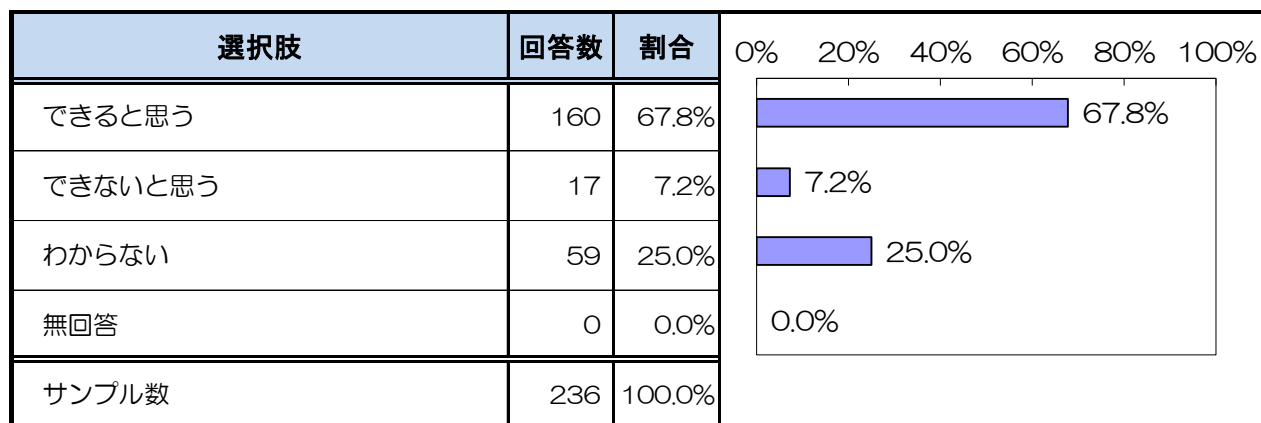
問6 家族や友人など身近な方がLGBTなどであった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。(単一回答)

「できると思う」が61.4%、「できないと思う」が9.7%、「わからない」が28.8%となっています。



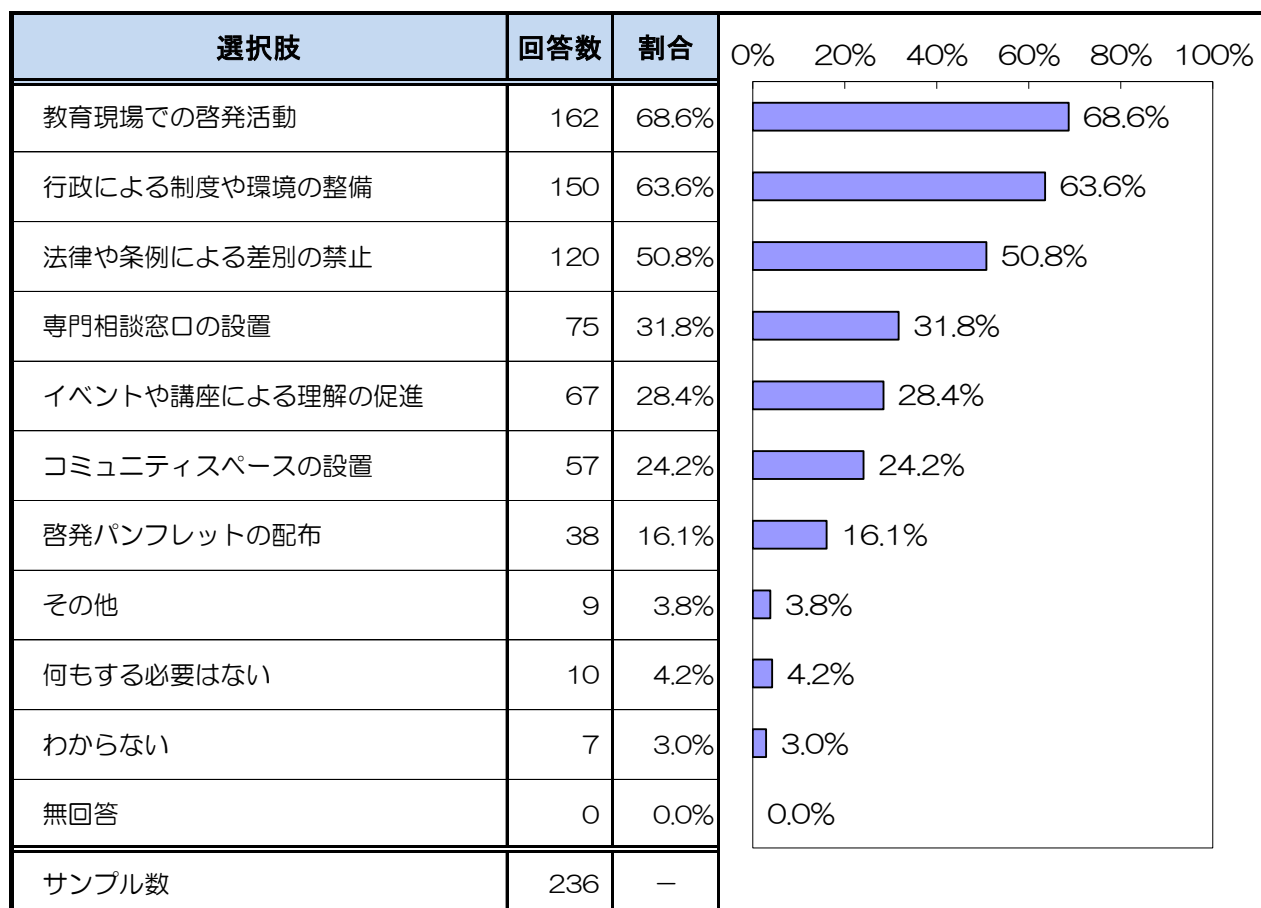
問7 学校や職場の人がLGBTなどであった場合、あなたはこれまでと変わりなく接することができますか。(単一回答)

「できると思う」が 67.8%、「できないと思う」が 7.2%、「わからない」が 25.0%となっています。



問8 LGBTなどの性的少数者の方々が生活しやすい社会になるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答)

「教育現場での啓発活動」が 68.6%と最も高く、次いで、「行政による制度や環境の整備」の 63.6%、「法律や条例による差別の禁止」の 50.8%の順となっています。

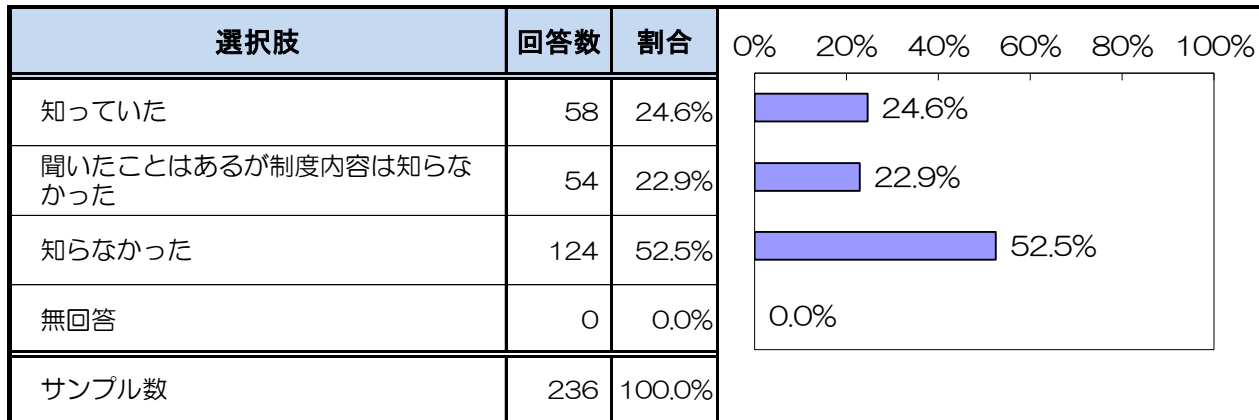


◆その他の回答（原文まま）

- ・テレビドラマ。
- ・ドラマとかSNSとか身近な媒体で描く事で、理解しやすくなりそうに思う。
- ・ローカルテレビ、ニュースでの取り上げメディアの力を借りて浸透させる。問題提起という固い側面からの視点で行われるイベント、講座ではなく、より身近でカルチャー、ファッションなどと組み合わせておこなうイベントが良いと思います。
- ・LGBTの人が身近に居る環境であること。
- ・今、社会にいる人々の意識を変えることはなかなか難しい。なので、これからの世代の人達に偏見のない教育をしていくことが必要。
- ・どう、話とかしたらよいか考えてしまいそう。
- ・教育現場、家庭と人間を個人として認める教育をして欲しい。人はそれぞれ私は結構自由な生き方考え方をしてきたと思います。性よりも人間性を大切に生きていける様に教育していただきたいと思います。（人の律という事に重きを置く方です。）
- ・教育現場での教育等。

問9 本市で性的少数者（LGBTなど）への支援策として実施予定の「**鹿児島市パートナーシップ宣誓制度**」について知っていましたか。
（単一回答）

「知っていた」が24.6%、「聞いたことはあるが制度内容は知らなかった」が22.9%、「知らなかった」が52.5%となっています。



問 10 性的少数者（LGBTなど）やパートナーシップ宣誓制度について、
ご意見があればお聞かせください。

◆回答一覧（原文まま）

・広報・周知・啓発について

回答内容	性別	年代	地域
「同性愛＝不快」という世の大多数の意見を変えるには、テレビや漫画、映画、動画などのメディアを利用するのが最も手っ取り早い。特に、美男美女の芸能人を起用して「同性愛＝美談」という認識を刷り込ませるのが非常に有効だろう。ただし、同性愛を許容する社会を作る理由や目的をきっちり明示せねば効果が薄くなってしまうため、法や行政の制度等の整備も不可欠だと言えよう。そして何より重要なのが、「他人を理解しようとする人間を育てる社会かどうか」である。いくらメディアで宣伝しようが法や行政を整備した所で他人に無関心な人間しかいなければ、同性愛への理解は一生得られないだろう。そのために、「見たり聞いたりした情報に対してすぐに無感情にならず、一旦その情報を呑み込んで考える」ようになる教育が必要だ。そこで推奨するのが「学校教育に麻雀を取り入れる」ことだ。確かに麻雀にはダーティーな印象が付きまとうが、麻雀は上記の思考を得るには最適だ。何故なら、麻雀はゲーム中に得られる情報量が他のゲームよりも多いからだ。具体的には、麻雀は牌の切り順や捨て牌といった場に残る情報はもちろん、打牌のリズムや強弱、プレイヤーの挙動や思考、表情、声音といった場に残らない情報を吟味した上で最善手を選ぶゲームだ。しかも、それらの情報は最大3人のプレイヤーから発せられる上に、使用する牌の数はトランプやUNOより多い136枚もあるので、数ある情報の是非を思考し、どう動くべきか判断出来るようになるためには麻雀が最適な教育だと考える。したがって、人々が麻雀に触れる機会がより多くなることが、ひいては同性愛者への理解が深まる社会に変化することに寄与するだろう。	男	30歳代	中央
CM等でLGBTやパートナーシップ宣誓制度について流したら、世間に認知されやすいのではないかと思う。	女	29歳以下	伊敷
LGBTQsの理解については、鹿児島が特に遅れていると思います。個人的には、LGBTQsの理解を推進する政策に反対する理由があると思えません。この分野については、子どもに正しい知識を教育することも大事ですが、どちらかといったら、大人の方が誤った知識、偏った考え方を持っています。男女二元論が誤っている事を、当たり前な社会にして欲しいと思います。	男	40歳代	谷山
LGBTQsへの差別や偏見をなくす取り組みを、早急にすすめるべき。反対されている方は、当事者意識、正確な知識が不足しているか、自身の凝り固まった価値観に縛られているだけだとも思います。個人的に反対する理由はみつからない。当然の人権。理解を進めることにより、差別や偏見のない社会の実現につながると思います。	男	40歳代	谷山
LGBTの方々への偏見も含め、認知度が低い。特に地方はいまだに男女の格差もある。積極的に行政が動き、周知をしていく必要がある。	男	40歳代	吉野
あまり学ぶ機会がなく、私自身も高校において少し話があった程度であるので、多くの人にLGBTなど理解してもらうにはまず、教育現場での教えが必要だと考える。	女	29歳以下	谷山
教育現場での教育、特に小さい子供の頃からの教育等が必要と思う。	男	70歳以上	中央
すこしずつ社会や認識が変わっていくことが大事なのかと思います。すぐに実現できる課題ではないと思う。子どもたちがより良い社会を作れるように大人が価値観を理解寄り添って、否定することのないようにしていきたい。	男	29歳以下	中央
世間にもっと知れわたるようにして欲しい。	女	-	中央

回答内容	性別	年代	地域
ぜひ促進してほしい。市議の中にも無理解者がいるのは改善されたい。	男	70歳以上	谷山
早急に、パートナーシップ宣誓制度導入しますが、市民へ理解できる啓発活動がまだ周知されていないように思う。行政側が宣誓制度に先行しているように感じてなりません。もう少し、啓発のための広報をテレビ、ラジオ、新聞などを通して分かりやすく説明する必要があると思う。	男	70歳以上	伊敷
とても人としての権利が守られていて大事なものだと思う。世間的にももっともっと周知してもらえたらいいと思う。	男	29歳以下	谷山
どの年代にも、悩んでいる方々はあると思う。LGBTと言っても、色々な種類のものがある。もっと、わかりやすく・目につきやすい所に、パンフレットや相談窓口・コミュニティなどを記した、ポスターの設置がなされると良いと思う。また、メディアの利用も可能なら行えたら、みんなのLGBTへのハードルが下がるのでは？と期待します。	女	50歳代	谷山
なかなか認知には時間がかかると思っていたが、機運はきている。意外とそんなにかからないのかもしれない。とくに教育の場でこういう世界もあるんだという啓発を続けて欲しい。子供から家族へと伝わる面が多い。障がい者も同じだと思う。	男	60歳代	谷山
法整備並びに偏見等無くすための周知活動。	男	60歳代	伊敷
ホームページにて、性の多様性理解のためのパンフレット「知っておきたいLGBT」を初めて拝見しました。イラスト付きで分かりやすくて親しみが持てるパンフレットだと思います。私の認識不足かもしれませんが、もっと色々な所でこのパンフレットやポスターが目につくというのではないかと思います。LGBTのみならず、差別や偏見は未だに無くならないので、社会の中に一員として「差別・偏見」がこの世から無くなれば、LGBTなど意識しないで良くなるのではないかと思います。	男	60歳代	吉野
本件は、周囲の理解が重要だと思います。社会が本件についての知識や理解を深める機会がないと差別等は減りません。(いくらコミュニケーションの場をもうけても変わりません)行政は、企業・学校・地域コミュニティで理解を深めるための機会を作っていくと良いのでは？	女	30歳代	谷山
まだまだ周囲の理解が得られないと思います。世間にもっと広めて欲しいです。	女	30歳代	喜入
もっと、知ることのできる環境がほしい。	男	30歳代	中央
もっといい制度を広報していく必要がある。	男	30歳代	喜入
もっと知る機会(報道等)があれば理解も深まるのではないのでしょうか。	男	50歳代	郡山
論点が異なると思いますが、まだ夫婦別姓についても我国では法律上認められておりません。隣国の中国、韓国では認められていると思いますが…。又、県内にも外国人も増えており、多文化共生、多様性が今後増々認められることが必要となるのではないのでしょうか。これからの若い人にはグローバルな観点が必要だと思います。そのためには行政としても理解を進めて普及啓発活動を積極的に進めてほしいと思います。	男	60歳代	中央
各マス・メディアを活用して、またイベント等で、もっともっとPRした方がいい。	男	60歳代	中央
学校現場での特に小中学校での啓発活動が一番大事だと思いますが、先生方に対する啓発活動を充実してほしい。	男	60歳代	中央
学生服の男女共通のものがあったり、LGBTの芸能人が活躍していたりして、昔よりは周りにカミングアウトしやすくなっていると思います。パートナーシップ制度は、聞いたことはありましたが、今回のアンケートで学びました。テレビや環境など何かをきっかけに1人でも多くの人が理解を深めて欲しいです。	女	40歳代	中央
現状、制度についてまだまだ周知が不足していると思われるため、マスコミを使った広報活動が必要と思われる。	男	30歳代	中央

回答内容	性別	年代	地域
公的機関が一般市民に対してもっと理解してもらって活動をしてもらいたいです。この問題は地道な活動が必要だと思います。交友関係が出来ない人とか最初から反対する人達に理解してもらうには地道な活動が大事だと思います。	男	60歳代	谷山
今後、まず、周知していくしかない。	男	60歳代	伊敷
最近、テレビや新聞でLGBTについて取り上げられる機会が増えたと思います。私の身近な後輩にもLGBTだと思われる人がいましたが、それを知ってから私も周りも変わりなく接していました。身近にもいるのだな、という思いと、もっとLGBTの理解が広まってみんながより過ごしやすい社会になっていけたらいいな、と思った経験でした。	女	29歳以下	郡山
最近のドラマなどで以前より見かけられるようになった関係性ですが、まだ身近なものには感じられません。長い年月をかけて地道に啓発を続けるしかないのではないのでしょうか。物心ついた頃からの教育が大切だと思います。	男	30歳代	喜入
最近ではLGBTの言葉を聞く機会が多いように思う。	女	30歳代	吉野
私の会社でもLGBTの研修などあり、だいぶ身近なものとして浸透している気がします。私自身も広い視野で知識を持って接していきたいです。	男	40歳代	伊敷
自然に受け入れられていく社会になってほしいと思う。法や制度で環境を整えるのはもちろん、外見や固定観念で人を判断しない教育をすることが大切だと思う。	女	50歳代	伊敷
自分を含め周りにLGBTの人がいない(若しくは公表していない)ため、そのような人たち向けのコミュニティーが開催されているのかは把握していない。それに加えて、鹿児島市広報にその様な物が紹介されているのを見たことがない。したがって、広報でLGBTの活動を取り上げてほしいと感じる。	女	29歳以下	中央
取り組みを知らないのもっと商業スペース等使って案内をしてもいいかもしれないです。	女	30歳代	喜入
周囲の認識が低いと思う。海外と違い、受け入れる側の許容範囲が狭いと思う。	その他	40歳代	谷山
小中学校での啓発活動が一番大事だと思います。特に高校において積極的な取り組みが必要だと思います。	男	60歳代	中央
職場にトランスジェンダーの方がいるので私自身、ある程度は理解しているがまだまだ世間の認知度は低いのかなと思います。差別ない世の中になって欲しいです。	女	40歳代	中央
色々な場面で、言葉を聞くことは多くなってきているが、日本全体が対応や法整備など遅れている。私達、大人は小さい頃からあまり知識を得ていないので、頭で分かっているけどなかなか受け入れられないというか、身近でいたとしてもどう対応したらよいか困ると思う。保育園の小さい頃から、そういう知識を学べる機会を増やす必要がある。	女	40歳代	中央
世の中には色々な性があることを小さい頃から当たり前の事として捉えられる環境づくりをしていくことで、偏見や差別が少なくなっていくのではないかと思います。	女	30歳代	中央
制度の整備も必要だが、個人の知識不足による、差別的な感覚や行動を改めていくようにすることも必要な気がします。	女	30歳代	吉田
制服のあり方や小学生の体育の着替えなど、まだまだ鹿児島は遅れているイメージがあります。日本全体が慎重で消極的なのもかもしれません。もっともっと広く知れ渡り、少数であっても認められる世界になって欲しいです。	女	40歳代	谷山

※性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

回答内容	性別	年代	地域
性の多様性について、広く理解・認知されるにはまだまだ時間が掛かると思うが、誰もが安心して暮らせる社会を目指すうえで、その啓発活動は必要であると考えます。	男	60 歳代	松元
性的少数者について、もっと知る機会があれば、その方々も生きやすくなると思います。	女	30 歳代	谷山
多く知られていないので、もっとアピールしていいと思う。	女	30 歳代	中央
多様性の世の中に L G B T の人もそうでない人も生きやすく、受け入れ易い環境が整っていくと良いと思います。対応が違うということと差別は同じではないと思うので、難しいところではあるが、多くの人が笑顔で過ごせる世の中になってほしいです。L G B T だけでなく人は違って当たり前、同じでなくて良いという教育が必要だと思います。	女	40 歳代	伊敷
知らない人が多いと思いますので、もっと情報の共有ができる環境づくりをして欲しい。	女	40 歳代	谷山
知らなかったことも多く、もっと周知してもいいと思う。	女	30 歳代	喜入
これまで全く私の関心の外にある事柄でして、理解する為の方法も思いつきません。折にふれ啓発活動を行うしか無いように思います。以前、ダウン症患者の皆さんを街中でお見かけする事が増えてきて今では何の違和感も感じない様になることでしょう。(何だか混乱してます)	女	70 歳以上	中央
比較的若いうちから教育が不可欠と思います。L G B T について偏見をなくすこと、個人のあり方を認めてあげる寛容性をまなぶこと必要だと思います。	男	40 歳代	中央

・パートナーシップ宣誓制度について

回答内容	性別	年代	地域
ぜひしてほしい。	女	30 歳代	吉野
その宣言をすることで、これから中身のある取り組みがなされていくことを願っています。	男	40 歳代	中央
パートナーシップ制度については賛成です。本当は国全体でも、同性婚などが可能になってもいいのにと考えています。	女	29 歳以下	谷山
パートナーシップ宣誓制度が、必要ですか？全く思いません。性的少数者に対して寛大すぎるのでは？社会がおかしくなっています。	男	60 歳代	中央
パートナーシップ宣誓制度でパートナーとなった方たちが住みやすい対策をしてほしいです。	女	30 歳代	伊敷
人それぞれの思想や考えがあるのでいいと思う。(パートナーシップ宣誓制度)へ鹿児島市が取り組んでいる事が素晴らしい。	女	29 歳以下	吉野
ポジティブで現代的な制度であり、必要だと思う。	女	30 歳代	吉野
以前より沢山の方の公表もあり、身近に感じるようになったと思います。鹿児島は頭が古いイメージでしたが、宣誓制度を知り、寛容な社会にすすんでいるようでうれしく思いました。	女	50 歳代	中央
現代に合った前向きな取り組み、応援します！	女	30 歳代	吉野
個人の自由だと思うので、L G B T の方を偏見の目で見るのは、良くないと思います。パートナーシップ宣誓制度は、いいことだと思います。	女	50 歳代	谷山
市が証明書を出したあと 2 人は暮らしやすい生活ができるのでしょうか？周囲や環境が整えば良いと思う 2 人にとっては誰かが認めた理解してもらえたということで今までより暮らしやすくなることでしょう。	女	60 歳代	吉野
指宿市に続き良い取り組みだと思う。当たり前普通に皆が生きやすく、将来を悲観せず生きやすい制度になってほしい。	女	40 歳代	谷山
鹿児島市が県内自治体に先駆けてパートナーシップ宣誓制度を導入したのは良いことです。他の自治体も後に続いてほしいと思います。	男	60 歳代	中央

回答内容	性別	年代	地域
小学生などの小さい頃からLGBTQなどの話を伝えておくと、当事者が生きづらさを感じる事が少なくなったり、いじめなども起こったりしにくいのではないかと思います。また、パートナーシップ宣誓制度がもっと広まると、性的少数者のカップルが嫌な思いをすることも少なくなるのではないかと思います。この制度がもっと広まって、LGBTなどに対して寛容な世の中になって欲しいと思います。	女	29歳以下	吉野
身近にLGBTの方がいないのでインターネットで学んだ情報しか知らなかった。鹿児島市にそのような制度があることを知したので活用していきたいと思った。	女	29歳以下	中央
身近にいと理解しやすいと思います。みんなが特性を話せるような世の中になってほしいです、パートナーシップ宣誓制度大賛成です。	女	40歳代	谷山
身近にそういう方がいた事が無いので分かりませんが、良い事だと思います。だいぶ違うかもしれませんが、今でこそ漫画やゲームがクールジャパンとして認められてきています。一昔前は社会人にもなってゲームをしているなんてと、会社内で馬鹿にされたり気持ち悪がられる事も多くありました。多数派の趣味でないだけで差別する人間は数多くいますが、クールジャパンという言葉が出始めて社会的にも緩和されてき、今の時代なら趣味を素直に言っても良いんだとかなり感じます。パートナーシップ宣誓制度がさらに浸透すれば、そういった方々も打ち明けやすく生きやすくなって良いのではと思いました。	男	30歳代	中央
制度が作られるのが遅いと思う。	女	30歳代	中央
制度で整備していくとともに、当人以外の人たちが理解、受け入れをしていけるようになればいいと思う。	女	30歳代	吉野
性の多様性が認められる世の中で、とてもいい制度だと思う。	女	30歳代	中央
性的少数者の方たちへの理解が、なかなか得られていない今日ですが、鹿児島市がパートナーシップ宣誓制度を取り入れることによって、たくさんの方たちの認知度と理解が得られたらいいなと思います。	女	40歳代	中央
性的少数者やパートナーシップ制定の取組が素晴らしいと思いました。これからも維持して行ってほしいです。	男	40歳代	中央
性的少数者を理解しているつもりだが自分の家族がと思うと受け入れられるかはわからない。パートナーシップ宣誓制度を始めることは他の県よりかなり遅れていると思う。	女	50歳代	中央
宣誓をすることで、結婚と同等の権利を取得することができるのであれば、凄いいい制度と思う。	女	40歳代	吉野
宣誓を証明されても相続や税制や年金で夫婦と同様の扱いをされないのであれば意味がない制度だと思う。	女	50歳代	中央
早く実施すべきだと思います。鹿児島はただでさえ男尊女卑の認識も根強く、女性というだけでも様々な不平等を感じます。性的マイノリティの方々はなおさらだと思います。個人の認識を変えるために、まず行政が変わるべきです。	女	40歳代	中央
多様性の時代に対応した制度になることを期待しています。	女	40歳代	中央
知らなかったことが残念です。素晴らしい取り組みだと思うのでもっと周知し鹿児島市がLGBTのパイオニアになれば良いと思います。	男	30歳代	中央
宣言の事を家族に聞いても知らなかった！職場でも知らない人が多かった。自分に関しない事は無関心と言う事だと思う。	女	60歳代	中央
宣誓制度については知っていて、賛成むしろ必要なものだと思う。鹿児島市が実施しようとしていることは知らなかった。	男	60歳代	中央
特別に制度で守る方が差別扱いになると思うので、普通に人として接すればよく、制度があるから特別扱いして、理解してと言ってるのと同じで、それこそが差別扱いになると思う。	女	50歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
偏見を持っているものを今からなくすというのは、色々なことをしてもなかなか難しいと思う。これは、小さな頃からの教育で自然と当たり前のこととして受け入れられている状態にならないと、成人してから変わるというのは根本的には無理だと思う。生活様式や文化が少しずつ変わっていくのと同じように少しずつしか変わらない。この制度は、まずはやらないといけないことです。	男	40 歳代	伊敷
法的に認められた家族でないといけないことがあるので、その制度で補えたらいいと思います	女	50 歳代	松元
名前だけが広まり中身が分からないことが多い。鹿児島市はあまり関心がない事柄だと思う。	女	30 歳代	谷山
目的は良いと思うが、実際の運用についての理解が不十分でコメントできない。現段階では、市の宣誓証明と行政サービス等の間に法律上の制限が入りそうに感じる。	男	60 歳代	中央
制度創設には、賛成です。ただ、自身の意識が付いていけるか、疑問です。時間がかかると思います。	男	50 歳代	吉野
良いと思う。	女	30 歳代	谷山

・その他市などへの要望

回答内容	性別	年代	地域
あまり縁のないことだと思っているので、今のところとくに意見等がない。身近な存在にいた場合にどう接する、対応するかが分からないので、窓口があってもよいと思う。	女	30 歳代	伊敷
テレビ等により昨今一般的に認知されてきていると思いますが、まだまだ。近親者にその方がいないので何とも言えませんが、そのような方がいても不思議ではないし、そのような方がいる以上、皆人間として行政も支援することが必要かと思えます。	男	50 歳代	松元
パートナーシップを行う事により、鹿児島市に多様な家族が生まれるということになりますが、多様な家族が存在していくことや住みよい暮らしが継続できることを目的として、教育現場での啓蒙、LGBTの家族が困った時のダイヤルの開通や鹿児島市が多様な家族に向けて行える支援を記載したパンフレットの作成、市民への告知、医療現場での家族としての対応と周知が求められると思えます。	女	30 歳代	吉野
本当はこの様なことは問題ではなく、皆が自由に自身の心に忠実に生きていくことが正しいと思っています。何でもかんでも人と同じ様にと求めることこそ問題です。行政が便利だからという理由で今まで押し付けてきた分類なのですから。正すのは一番に行政だと考えます。	女	70 歳以上	谷山
まずは各種書類の男女の記入欄を無くすことから始められると思えます。	男	40 歳代	中央
具体的に動き出してからも内容を変えていけるようにしてほしい。	女	50 歳代	中央
公共の場での更衣室で、一度遭遇したことがあります。どのようにしたら良いのか迷ってその時はその場を離れました。LGBTの問題もありますが、性犯罪盗撮などの問題もある為、自分もどうして良いのかわからなくなる時もあります。多目的トイレをもう少し改良した、着替えも出来る、オムツかえも出来るような清潔なスペースを増やすと良いのかなと思います。	女	50 歳代	中央
行政が、積極的に推進して行けば良いです。そうすることで認知されてその方々が生活しやすくなるから。	男	50 歳代	中央
市民一人一人の見る目を変えることはできないだろうし、そもそも鹿児島市の企業も男女平等ですらないと思えます。男女平等や性的少数者を尊重することをルールとして決めなければ、今の状況を変えることは難しいと思えます。	男	29 歳以下	中央

回答内容	性別	年代	地域
支援必要。	男	50 歳代	中央
私が子供の頃には、ほとんど公の場で語られる事さえなかった事柄。最近ではよく見聞きするし、子供たちとの間でも自然と話題になるほど身近には感じている。実際、性的少数者の立場ではまだまだ生きにくい社会だと思うし、もっと私たちの理解を深めないといけないし、偏見に晒されないような仕組み作りも必要だと思う。ただ現状、身近なところにはいない（いるけど公にしていない）ので、実際のところどう対応すればいいのか、自然に振る舞えるかは、正直…よく分からないです。	女	40 歳代	中央
鹿児島風の土に性的多様性を理解し受け入れられるか不安があります。長い目で見ながら取り組んでいてもらいたいです。	女	50 歳代	吉野
証明するだけでは無く法的な整備が必要不可欠。	男	50 歳代	中央
人間同士だから性別は関係ないと思う。性的少数者が偏見なく普通に生活できるように行政による環境の整備と法律で差別を禁止することが必要	女	60 歳代	谷山
制度的に受け入れていくこと、気軽にそういうことを話せる場づくりがあると生きやすくなると思う。	女	29 歳以下	中央
性的少数者に対する認知度、理解度が未だに低いような気がします。少数者に対しての差別や偏見をなくすためにも、国や行政が率先して動く必要性があると思うのですが。	男	50 歳代	松元
性転換をされている等、体質的に子どもをもうける事が不可能な方々で、今後婚姻関係になられる事を希望されている方に、【里親制度】を利用しやすいようにしていく事も大切に思います。実際の声として、自分達には子どもを授かる事は出来なくても、里親になって自分達の子どもの子育てをしていきたいと望まれている方もいらっしゃいます。ただ、そうすると、将来的にその子どもが虐め等に遭わないか心配…との話も伺いました。家族とは、血縁関係に無くても、絆さえあれば継続可能に思います。そういった少数派の方々にも向き合える、温かい社会、思いやり教育、是非、推し進めていただきたいです。	女	40 歳代	中央
他の自治体同様今後も継続すると思います。	男	40 歳代	中央
友だちに L G B T の人がいましたが、まわりからの偏見に悩んでいました。もっと公にいえるようになれば偏見も減ってくるのではと思います。性転換の手術のため海外で受ける友だちもいました。日本でも承認できるというのはいいのでは。	女	30 歳代	中央

・その他意見・感想

回答内容	性別	年代	地域
10 人 10 色なので正解はないでしょう。	女	40 歳代	中央
30 代男性です。多様性を尊重する時代に即していると思う。おそらく上の世代には受け入れられにくいことかも知れないが、今の若い世代は比較的柔軟に受け入れることができると思う。世界の 10 人に 1 人は L G B T と言われているので。	男	30 歳代	中央
L G B T が当たり前であるような社会になればいいと思います。	女	30 歳代	中央
L G B T という言葉を良く耳にするのはつい最近のことです。テレビや映画の影響で以前よりは身近な話になっています。悪気のない言葉で傷つく可能性はあります。全ての人に理解を求めるのは時間がかかるのかもしれませんが、その方々が明るく楽しく自分らしく生きていける世の中になってほしいものです。	女	50 歳代	伊敷
L G B T など、SNS でよく見かけるので違和感もなく、どうも思いません。『性的少数者』という言葉が、何か差別的な呼び名のように感じます。	女	40 歳代	喜入

回答内容	性別	年代	地域
LGBTについては理解しているが、パートナーシップ宣誓制度については、よくわからない。LGBTだけではなく世の中には生きづらい思いをしている人は沢山いる。	女	50歳代	吉野
LGBTの方に出会った事がないが、まだ言い辛い社会なのだと思います。	女	30歳代	喜入
TVなどに進出し、タレント化している人も多くあまり違和感はない。	女	70歳以上	谷山
ある程度の多様性は認めるべきであると思うが、過剰な対応を求める、求められるのは考えるべきだと思う。	男	30歳代	
いろんな人がいてもいいと思います。でも、それを差別をしている人がいるっていう状況がLGBTの人たちを生きづらくしていると思います。	男	29歳以下	喜入
オープンにできる人はいいのですが、なかなか言えない人にとっては大変なんだと思うけど、みんながオープンに言える世の中になるといいなと思います。	女	50歳代	吉野
思いやりのある社会であってほしい。	-	-	-
これからは異性同性に関わらず多様性のある社会を目指す必要があると思う。好きになる対象が異性か同性かで区別されるような社会は固定概念がすぎると感じる。	男	29歳以下	中央
自分の周囲に、LGBTの方がいるかどうかは判別するのが難しいため、自分では考えなかった悩みや苦勞があると思います。パートナーシップ宣誓制度やSOGIなどを知り、理解しようとするのが性の多様性への第一歩なのではないでしょうか。	男	30歳代	伊敷
全ての人々が快適にすごすことが出来る社会になればと考えています。	男	40歳代	吉野
とてもいいことだと思います。数年前ゲイの方と会ったことがあります。秘密に生きていくのはかわいそうでした。みんな幸せになってほしいです。	女	40歳代	中央
なかなかセンシティブなテーマだったのが、だいぶ、普通の話になった気がします。	男	40歳代	松元
パートナーシップ制度がどのような制度かわからないので答えられない。LGBTについては、そっとしておいたあげるのが一番だと思う。マスコミや行政がごちゃごちゃ言うから、住みにくくなる。昔からそういう人は、一定の割合で社会に存在していた。	男	60歳代	中央
まわりの目も気になると思うので偏見のない社会制度が出来ればいいなと思います。	女	30歳代	谷山
やはり偏見はいけないと思います。ただ個人の問題なのでいろいろ難しいと思います。おおらかで自由な考えを持たなければと思います。	男	60歳代	吉野
以前はあまり理解出来ていませんでしたが、ある話を聞いて少し理解しているつもりです。ちょっと変な話なのですが、人にはそれぞれ魂があって、自分の生まれる環境を選んでくると。その時に性別だけ間違えてしまったと。だから、体は男でも中身が女であったり、体が女でも、中身が男だったり。見た目なのか、中身なのか。苦しいと思います。私は、中身を磨き上げて成長して生きたいと思います。	男	40歳代	松元
皆が平等であるべき。	男	50歳代	郡山

回答内容	性別	年代	地域
学校や周りにいたけどどうも思わなかったし人それぞれが自由でいいと思います。LGBTだからと中々周りに言えない世の中で簡単に変わる事はないけれど少しでも生きやすく、また大切な人とパートナーシップ宣言ができれば当事者は気持ち的に嬉しいと思います。周りがどうこう言うのは違うしみんな同じ人間なので一人一人が生きやすくなっていけばいいなと思います。ちょこちょこLGBTに対して差別的な事を言う人がいますが逆にその人の事を軽蔑してしまうし意識しすぎじゃないのかと思います。そう言う人ほど分かってないと思いました。自分は誰がどうあるのが自由に一度きりの人生生きたいように生きて欲しいです。	男	29歳以下	伊敷
完全に偏見の目を無くすることは難しいですが、以前よりは少なくなったと思います。時間がかかりますが世代交代と共に無くなって普通になると思います。	男	40歳代	吉野
今は、よくわからないので学んでいきたいと思います。	男	60歳代	中央
差別と言う言葉ばかり耳にする事が多いが区別は必要。女性の方が力が弱いとか細かい気づかいが出来るのは明らか。男女それぞれに個性があるしLGBTの方々にも個性がある。無理に平等をアピールし過ぎる雰囲気は良くないと思う。	女	60歳代	中央
思春期などに自分は体と心の性が違うかもしれないと思いこみ、大人になって性転換した後、後悔して元の身体に戻す人も多いと聞きます。LGBTに対する過剰な対策はいらない。本人の認識はコロコロ変わる。学生の時にバイと自称する人に会った。彼女の性癖を知らない時に、同性だからあまり警戒していなかった。でも必要以上にベタベタ触ってきて、これは一体何だろうと怖かったし、嫌な思いをした。自分はバイだからと言われたが、こちらが気を遣うと、調子に乗る。LGBTの人は性に囚われ過ぎていて、気持ちが悪い。過剰に保護して、周りの人や子どもたちに危害を加えられるのは避けたい。LGBTの当事者が、常識の範囲内で生きれば良いと思う。本来の体の性を受け入れる努力をすべき。性の多様化は、推進すべきじゃない。トイレや更衣室、温泉、痴漢やセクハラなど性被害の問題が出てくる。ただの変態と区別がつかない。	女	30歳代	吉田
時代に沿った考えを大事にしないといけないと思う。いつまでも古い考えでは表面だけでは良くならないと思います。	男	40歳代	伊敷
身近な所に悩んでいる者がおりましたが、外国に出ることで自分の生き方に納得と自信を得て帰ってきました。周囲が変わることで皆が住みやすい場を作ることができると思います。行政の積極的な関わりと、リードが欲しいと思います。そういう意味では鹿児島市の取り組みを評価します。逆に国の政治に関するリーダーの中に理解の乏しい傾向があることを残念に思います。	男	70歳以上	谷山
身近にいない、付き合いがないので、正直わからない。しかし人は外見じゃなく、心が大事。もし、そう言う方々と仲良くお付き合いのできるのであれば、なお一層楽しく人生豊かに過ごせそうです！	女	50歳代	桜島
身近に同性婚されてる方がいらっしゃるので、その人達が今後ますます幸せになれる社会が来ると良いなあとと思います。	男	29歳以下	中央
世の中の流れに合った取り組みは必要と考えます。	男	60歳代	中央
性で区別せず、誰でも生きやすい世の中になれば良い。	女	30歳代	中央
性的少数者が生きやすい社会になればいいなと思う。	女	29歳以下	伊敷
性的少数者の人がもっとと自然に生活できる環境になればいいと思う。	女	30歳代	谷山
生きにくいかもしれないですが、楽しく過ごして欲しいです。	女	40歳代	谷山
昔の方はどうしても形やしきたり等大事にする風習が抜けないがそれが良い面もあれば悪い面もある。今の若者は順応性に対応するのが上手いと感じる、考え方はひとそれぞれだから個人の尊重を大事にしていける社会に近づいているように感じる。	女	29歳以下	谷山

回答内容	性別	年代	地域
全ての人が自分のアイデンティティーで悩むことのない世の中になっていくことを願います。	女	29歳以下	中央
早く、全ての人が生きやすい世の中にしていきたいと思う。	男	29歳以下	中央
多様性、皆が認める社会になるといいですね。	男	50歳代	吉田
大切な人と安心して一緒に過ごせるようにするには何が必要か、私自身も勉強していきたいと思います。	女	50歳代	谷山
誰もが住みやすい環境が出来ていく事を願います。	女	40歳代	中央
地方はとくに厳しい。	女	30歳代	吉野
都市部ではうまくいっても、この様な田舎集落残りの所は厳しいかも。私共も引越してこの場所にきたが、コミュニティなど部外者扱いの上、子供に対しても大人が最良した対応をされる。だから、子供会にも参加したくないし、加入も嫌だ。この様な集落がまだあるのに、このアンケート内容のような方々を理解してくれるなんて思えない。	男	50歳代	喜入
当人は親や身内には一番言いつらい環境だとおもうので、いいやすい環境作りが必要だと思う。性別で男、女と分けられてるものも多いのでそのようなものを目にするたびに当人は苦しい思いをされてるんじゃないかなと思う。	女	30歳代	中央
頭悪い奴が差別してるだけだから気にすんな。	男	29歳以下	中央
同性のカップルではダメとまらない環境が普通になるといい。	女	40歳代	伊敷
年齢や性別にかかわらず、LGBTについて、少しずつではあるけれど、気になります。	男	40歳代	谷山
日本の行政で行われている対策は少しずつれている感じがして、もっと個人の認識から変わっていかないといけないと思います。	女	30歳代	中央
年々多くの方がLGBTに関心をもってきてるように思う。	男	29歳以下	中央
友人にいますが生きにくそうだ。	女	50歳代	伊敷

・その他

回答内容	性別	年代	地域
性的少数者である人を常識的な人々がどこで判断するのか？どの様に接するべきか。現在のところどの様に老年者に不明であります。	男	70歳以上	谷山
年寄りの議員をやめさせる。硬い頭はダメですね。老害有るのみ！	女	50歳代	伊敷
あまりよく分からない。	女	50歳代	伊敷
あまりよく分かりません。	女	50歳代	吉田
ちょっとわからないです。すみません。	女	50歳代	中央
あまり詳しく知らない。	男	29歳以下	吉野
ありません。	女	40歳代	松元
意見はありません。	男	60歳代	吉野
特に思いつかない。	女	50歳代	谷山
とくにない。	男	30歳代	松元
特にないです。	女	40歳代	伊敷
とくになし。	男	50歳代	谷山
とくには。	女	30歳代	吉野
ない。	男	50歳代	伊敷
なし。	女	30歳代	中央
なし。	男	29歳以下	伊敷
なし。	男	30歳代	伊敷
よくわからない。	男	40歳代	谷山
よくわからない。	男	60歳代	中央
わからない。	女	50歳代	吉田
わかりません。	女	40歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
詳しくは分かりません。	女	40歳代	喜入
詳しく考えたことがない。	男	40歳代	中央
身近に、そんな方がいないからわかりません！	女	50歳代	喜入
特にありません。	女	40歳代	中央
特にありません。	女	40歳代	中央
特にありません。	女	29歳以下	喜入
特にありません。	女	40歳代	中央
特にありません。	男	50歳代	中央
特にありません。	男	30歳代	中央
特にありません。	女	29歳以下	谷山
特にありません。	男	30歳代	伊敷
特にありません。	女	70歳以上	伊敷
特にありませんが周りにいないのでよく分かりません。	男	30歳代	伊敷
特にない。	女	29歳以下	中央
特にない。	女	30歳代	伊敷
特にない。	男	40歳代	中央
特にない。	女	30歳代	郡山
特にないです。	女	50歳代	伊敷
特にないです。	女	50歳代	桜島
特になし。	女	30歳代	谷山
特になし。	女	50歳代	中央
特になし。	男	29歳以下	中央
特になし。	男	60歳代	伊敷
特になし。	男	40歳代	中央
特になし。	男	29歳以下	伊敷
特になし。	女	30歳代	吉野
特になし。	男	30歳代	谷山
特になし。	女	29歳以下	谷山
特に無し。	男	50歳代	伊敷

Ⅲ 郷土芸能の保護について

1. 調査の目的

郷土芸能とは、各地域社会の祭りなどで、地元の人により演じられながら伝承されてきた、唄や踊りのことを言います。また無形民俗文化財とは、生活・信仰・行事に関する風俗慣習や民俗芸能を含む、郷土芸能よりも広い枠組みを指します。

本市では、この郷土芸能や、指定を受けた無形民俗文化財の保存会に支援を行っていますが、少子高齢化や後継者不足により、存続が危ぶまれる団体もあります。

市民の皆さんの関心度・認知度などを把握し、今後の事業推進の参考とするために、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（文化財課）からのコメント

郷土芸能の観覧について、79.6%の方が「興味がある」と回答され、郷土芸能を保護する必要があるかどうかという設問では81.3%の方が「強くそう思う」「そう思う」と回答されるなど、郷土芸能への関心の高さがうかがえました。

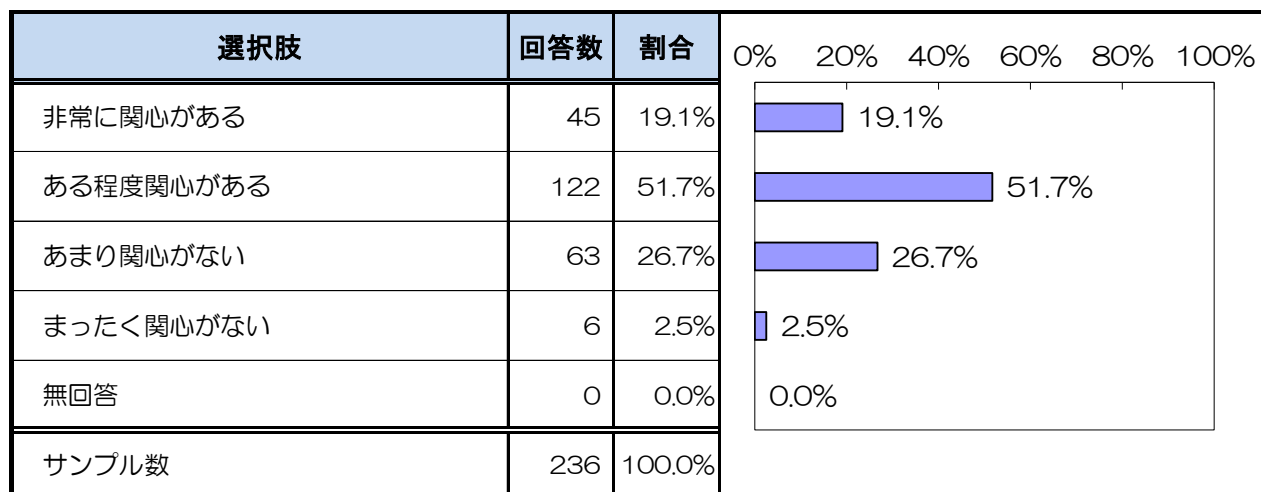
一方で郷土芸能への参加経験がある方は20.9%に留まり、参加経験がない方のうち72%の方が「観覧には興味があるが、活動には参加したくない」「観覧や活動には興味がない」と回答されました。郷土芸能の大切さは認識されつつも、活動への参加には時間的・金銭的・心理的なハードルがあり、これらのハードルを下げていく必要があることが分かりました。

本市としましては、郷土芸能団体への運営費・用具補修補助や、学校での継承活動に引き続き取り組んでまいります。今回いただいたご回答を踏まえ、周知・広報の強化についても検討してまいります。

3. 調査結果

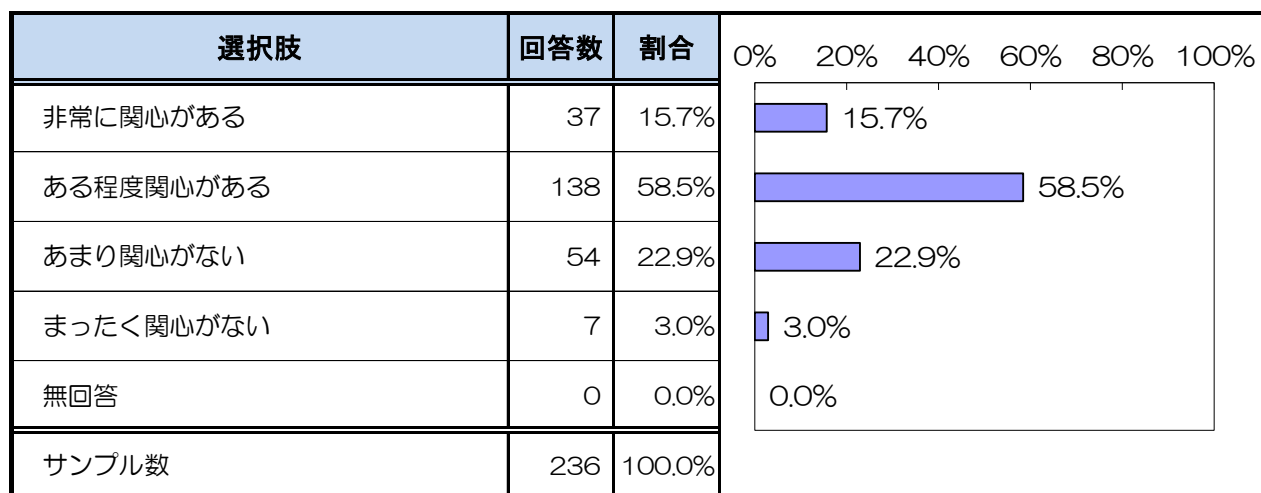
問11 地域の歴史に関心がありますか。(単一回答)

「ある程度関心がある」が 51.7%と最も高く、次いで、「あまり関心がない」の 26.7%、「非常に関心がある」の 19.1%の順となっています。



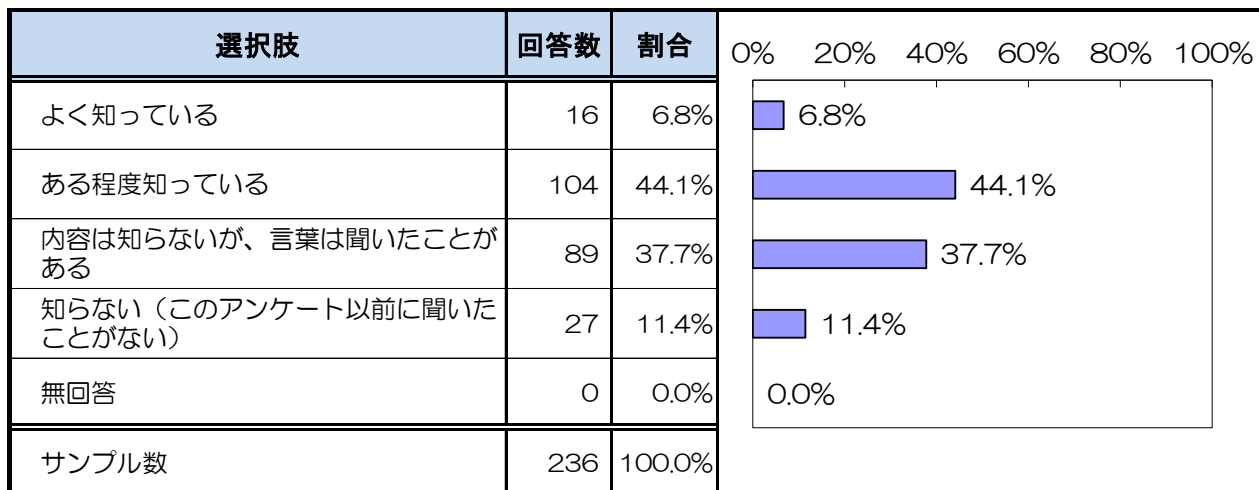
問12 地域の文化財に関心がありますか。(単一回答)

「ある程度関心がある」が 58.5%と最も高く、次いで、「あまり関心がない」の 22.9%、「非常に関心がある」の 15.7%の順となっています。



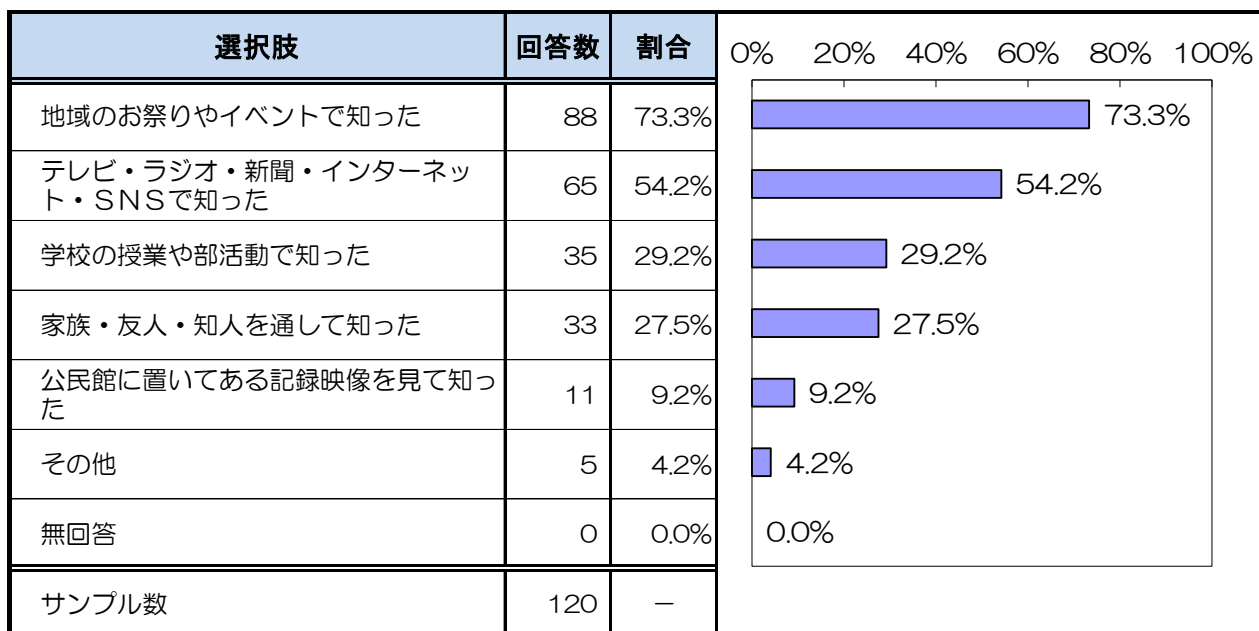
問 13 文化財のうち、無形民俗文化財には、地域の人々によって上演・伝承されてきた「郷土芸能」がありますがご存じですか。(単一回答)

「ある程度知っている」が 44.1%と最も高く、次いで、「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」の 37.7%、「知らない（このアンケート以前に聞いたことがない）」の 11.4%の順となっています。



問 14 問13で郷土芸能を「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」と回答された方にお伺いします。郷土芸能の情報をどのように知りましたか。(複数回答)

「地域のお祭りやイベントで知った」が 73.3%と最も高く、次いで、「テレビ・ラジオ・新聞・インターネット・SNSで知った」の 54.2%、「学校の授業や部活動で知った」の 29.2%の順となっています。

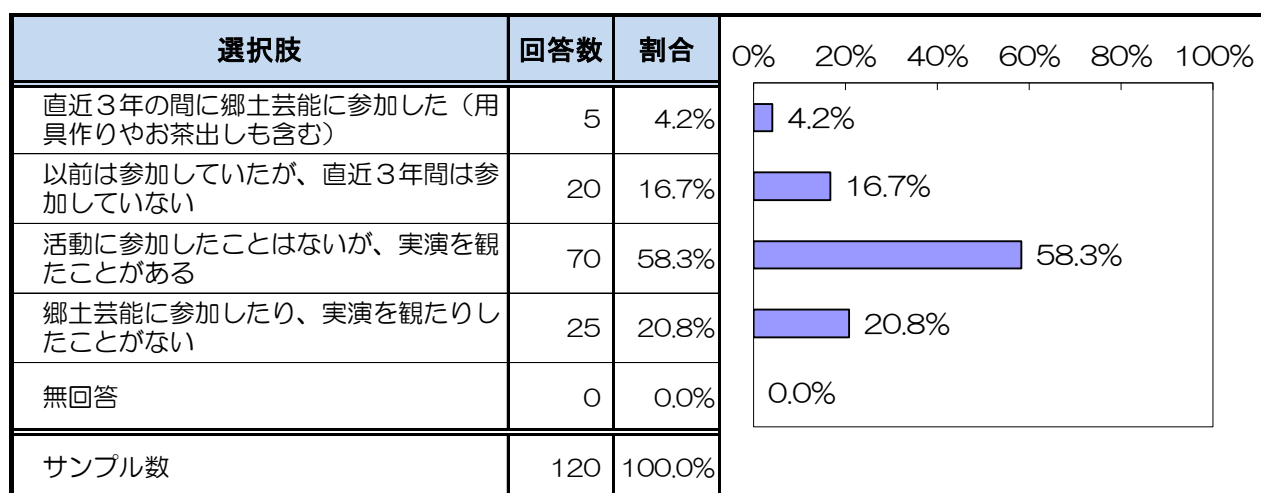


◆その他の回答（原文まま）

- ・ 学生時代、こども会で学んだから。
- ・ 鹿児島市の黎明館のほか、日置市や出水市、薩摩川内市といった市の民俗資料館の中に、パネルで展示していました。
- ・ 家族が参加していた。
- ・ 社会教育関係に居たので良く知っている。
- ・ 妻が会員として参加する様になった。

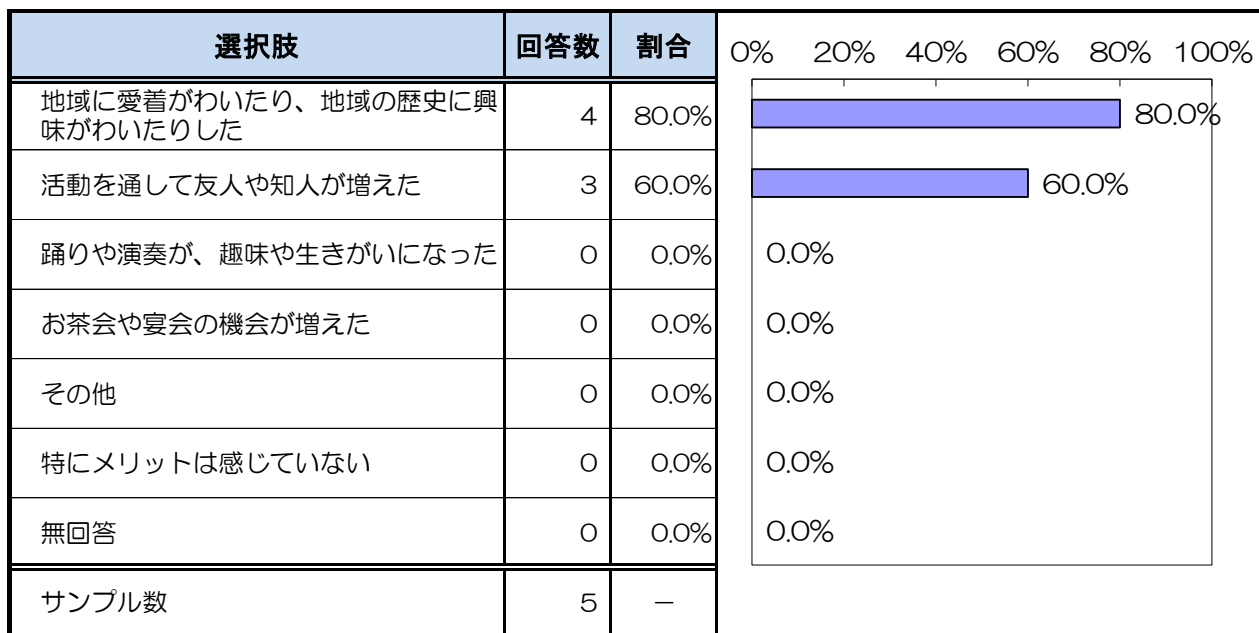
問 15 問 13 で郷土芸能を「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」と回答された方にお伺いします。郷土芸能に参加したり、実演を観たりしたことがありますか。（単一回答）

「活動に参加したことはないが、実演を観たことがある」が 58.3% と最も高く、次いで、「郷土芸能に参加したり、実演を観たりしたことがない」の 20.8%、「以前は参加していたが、直近 3 年間は参加していない」の 16.7% の順となっています。



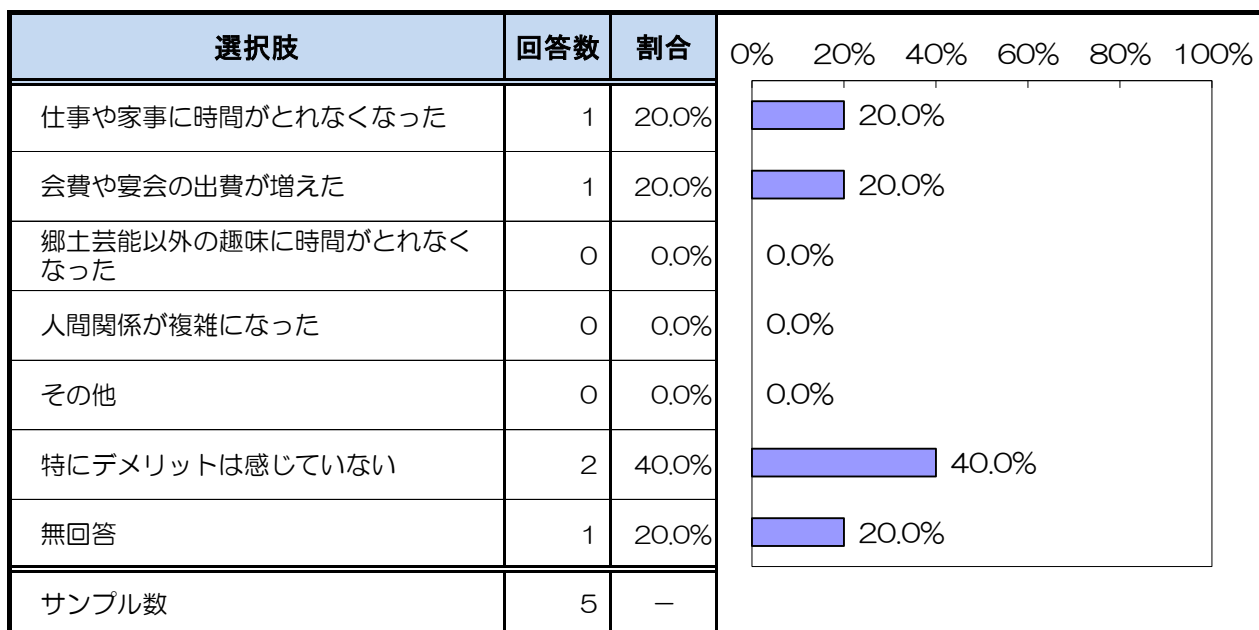
問 16 問15で「1. 直近3年の間に郷土芸能に参加した」と回答された方にお伺いします。活動に参加することで、どのようなメリットがありましたか。(複数回答)

「地域に愛着がわいたり、地域の歴史に興味がありました」が80.0%、「活動を通して友人や知人が増えた」の60.0%となっています。



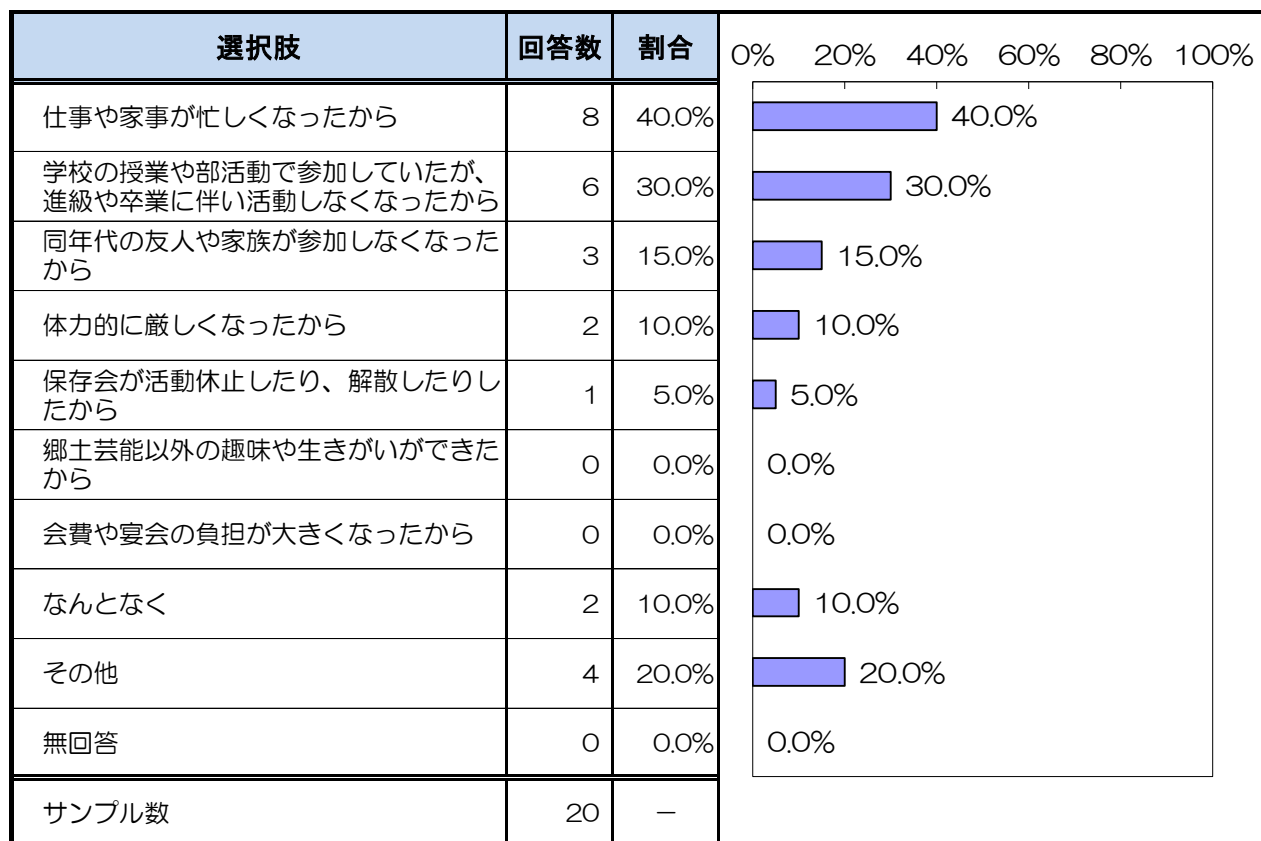
問 17 問15で「1. 直近3年の間に郷土芸能に参加した」と回答された方にお伺いします。活動に参加することで、どのようなデメリットがありましたか。(複数回答)

「仕事や家事に時間がとれなくなった」「会費や宴会の出費が増えた」が20.0%となっています。



問 18 問 15 で「2. 以前は郷土芸能に参加していたが、直近 3 年間は参加していない」と回答された方にお伺いします。活動をしなくなった理由をお選び下さい。(複数回答)

「仕事や家事が忙しくなったから」が 40.0%と最も高く、次いで、「学校の授業や部活動で参加していたが、進級や卒業に伴い活動しなくなったから」の 30.0%、「同年代の友人や家族が参加しなくなったから」の 15.0%の順となっています。

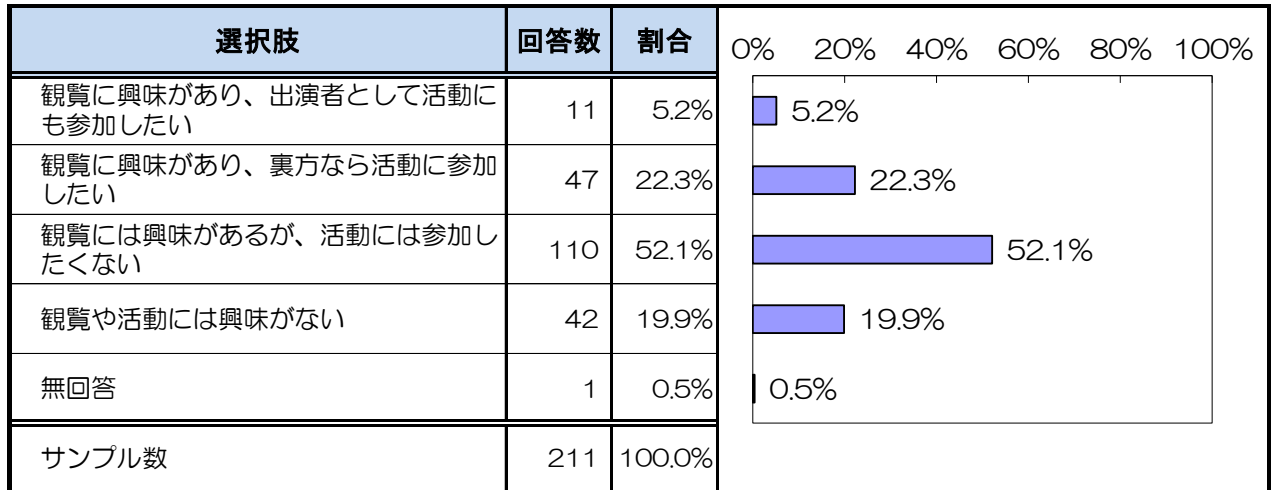


◆その他の回答 (原文まま)

- ・引っ越してきた現地域(鹿児島市)に郷土芸能がないと思う。引っ越す前の奄美大島では、八月踊りなどがあった。
- ・コロナで伝統芸能を披露する場がなくなった
- ・その方の関係が遠のいてしまった。
- ・引っ越しに伴い。

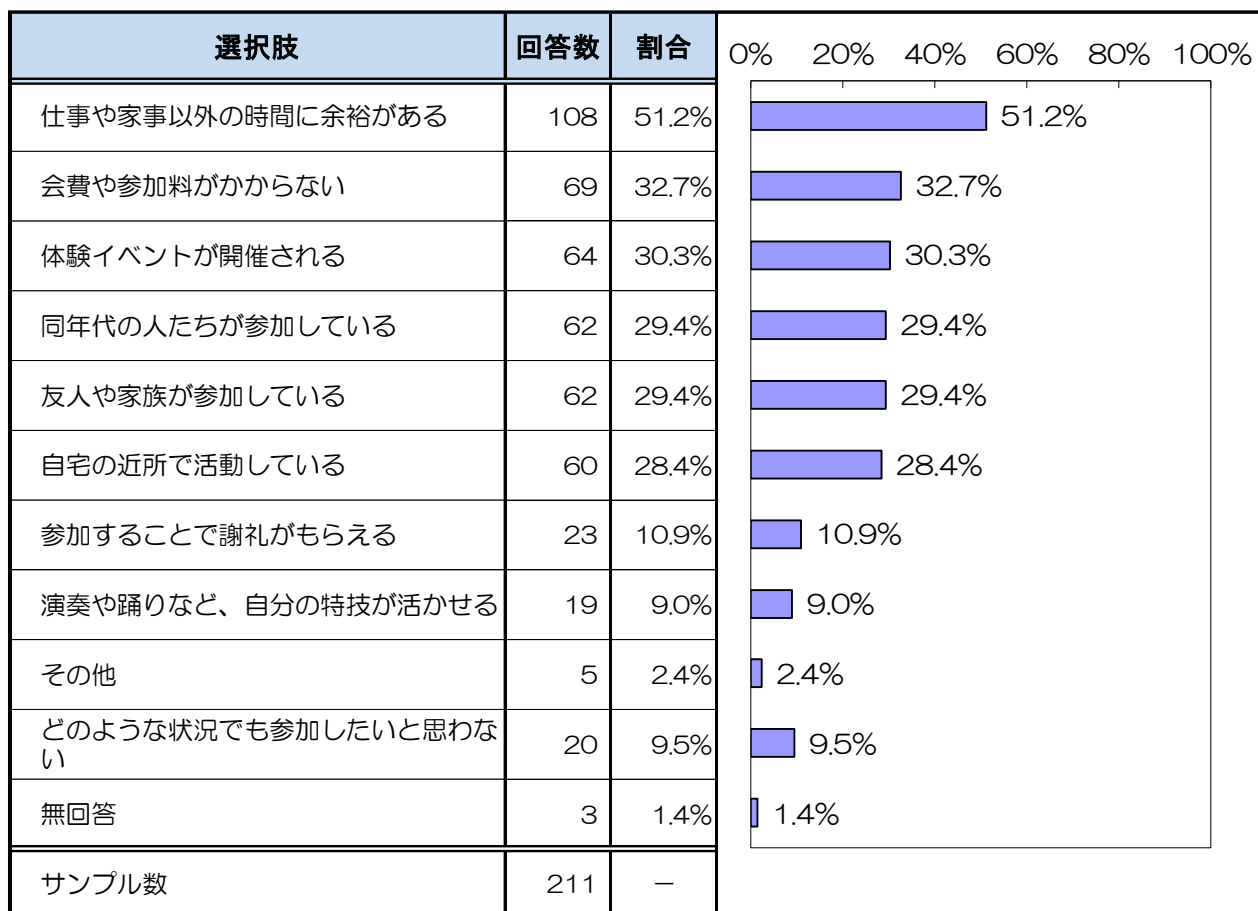
問 19 郷土芸能活動に参加したことがない方（問13の選択肢3、4、問15の選択肢3、4のいずれかに回答された方）にお伺いします。郷土芸能の観覧や、活動に興味がありますか。（単一回答）

「観覧には興味があるが、活動には参加したくない」が52.1%と最も高く、次いで、「観覧に興味があり、裏方なら活動に参加したい」の22.3%、「観覧や活動には興味がない」の19.9%の順となっています。



問 20 どのような状況なら活動に参加してみたいと思いますか。(複数回答)

「仕事や家事以外の時間に余裕がある」が 51.2%と最も高く、次いで、「会費や参加料がかからない」の 32.7%、「体験イベントが開催される」の 30.3%の順となっています。

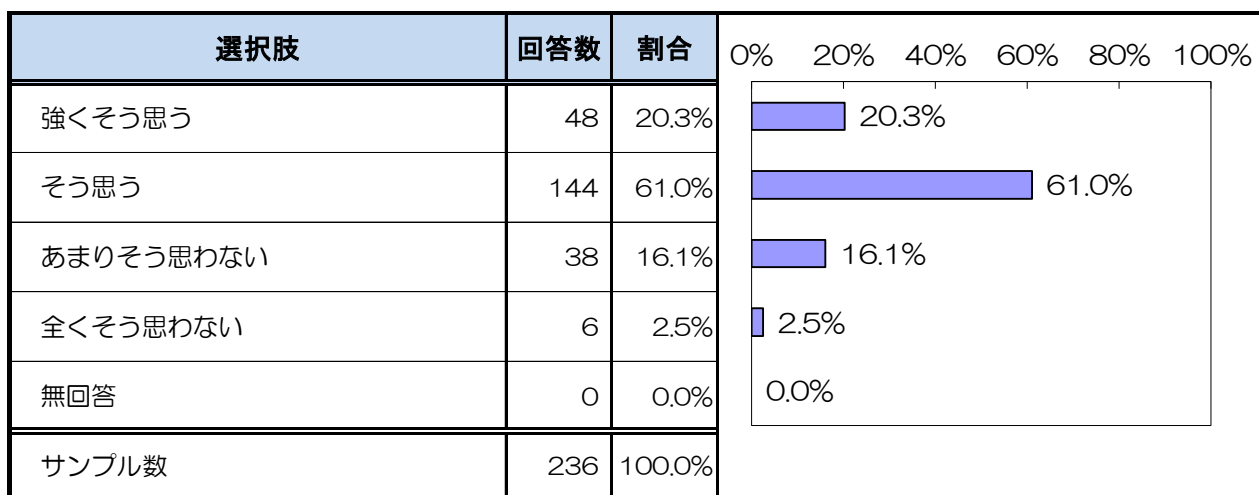


◆その他の回答（原文まま）

- ・会社で参加とかならやるしかないと思います。
- ・えてして、こういった活動の中心は、自己中のお年寄りが、指導していることが多い。そういった、勘違いされている方々が少ない雰囲気なら、いいかと。何でもかんでも、「伝統だから」だけで、現代にそぐわないままは疑問。
- ・高齢のため、活動には参加したくない。
- ・グラウンドゴルフ程度の動きなら活動に参加できる。
- ・特にありません。

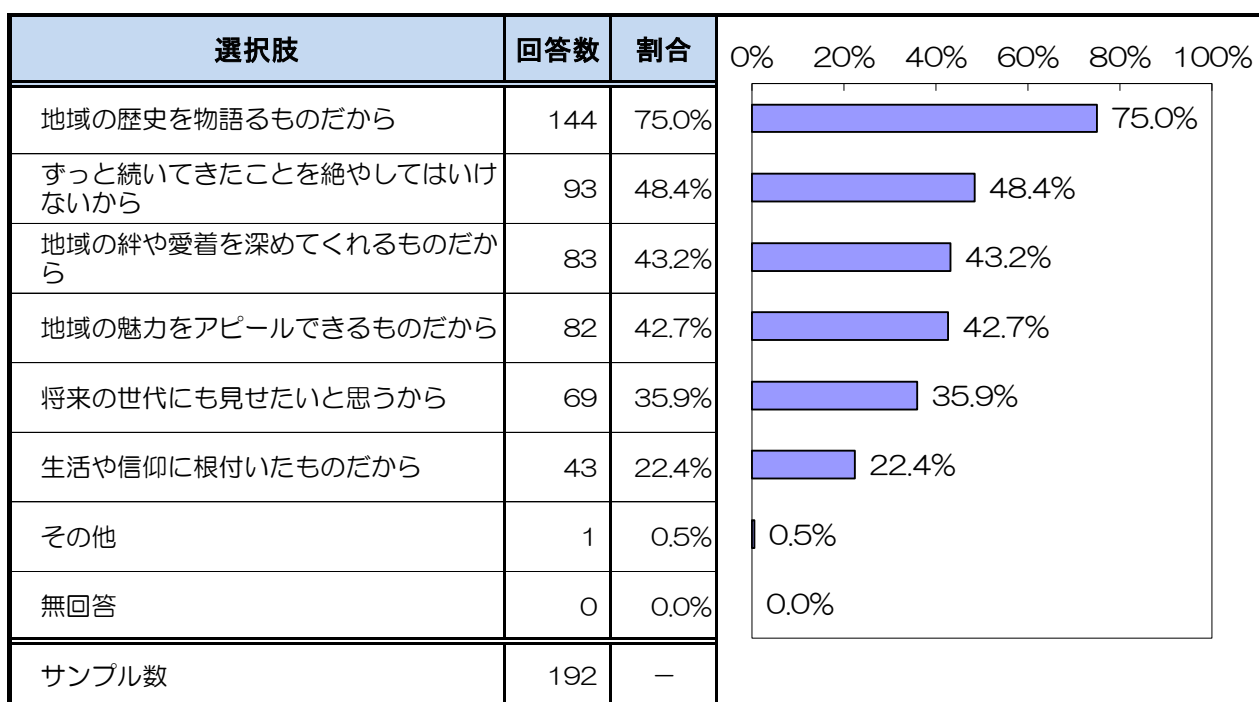
問 21 現在、少子高齢化や後継者不足によって、存続が危ぶまれる郷土芸能もありますが、郷土芸能を守り続ける必要があると思いますか。
(単一回答)

「そう思う」が 61.0%と最も高く、次いで、「強くそう思う」の 20.3%、「あまりそう思わない」の 16.1%の順となっています。



問 22 問21で「1. 強くそう思う」「2. そう思う」と回答された方にお伺いします。そう思う理由はなぜですか。(複数回答)

「地域の歴史を物語るものだから」が 75.0%と最も高く、次いで、「ずっと続いてきたことを絶やしてはいけないから」の 48.4%、「地域の絆や愛着を深めてくれるものだから」の 43.2%の順となっています。

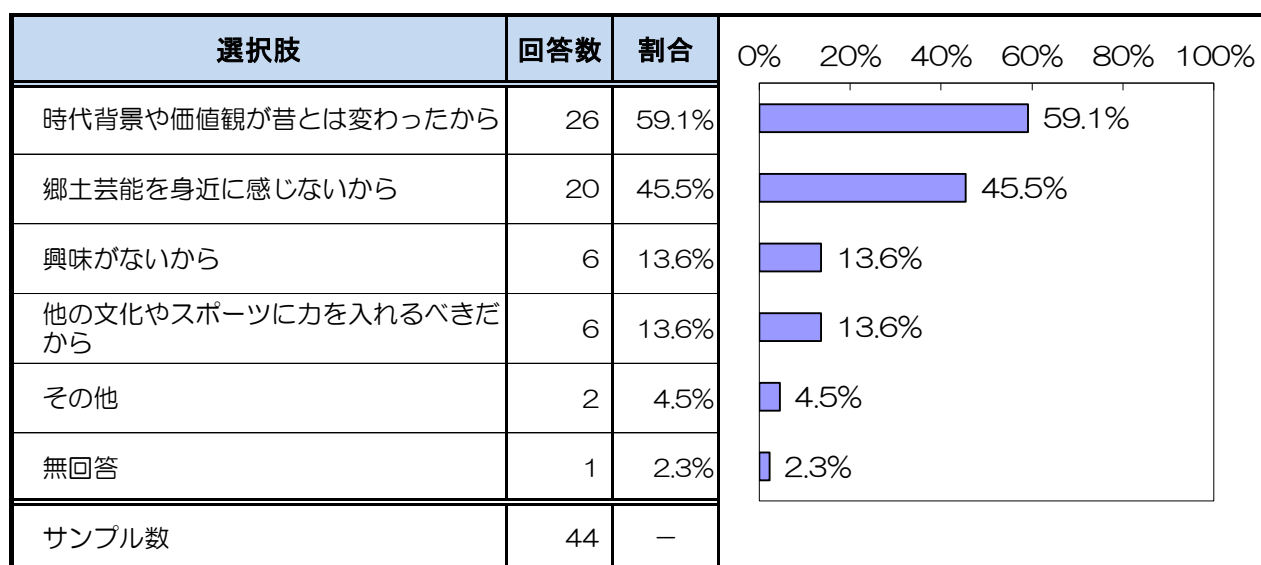


◆その他の回答（原文まま）

- ・絶えかけた事も、歴史のひとつ。

問 23 問 21 で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と回答された方にお伺いします。そう思う理由はなぜですか。（複数回答）

「時代背景や価値観が昔とは変わったから」が 59.1%と最も高く、次いで、「郷土芸能を身近に感じないから」の 45.5%、「興味がないから」「他の文化やスポーツに力を入れるべきだから」の 13.6%の順となっています。

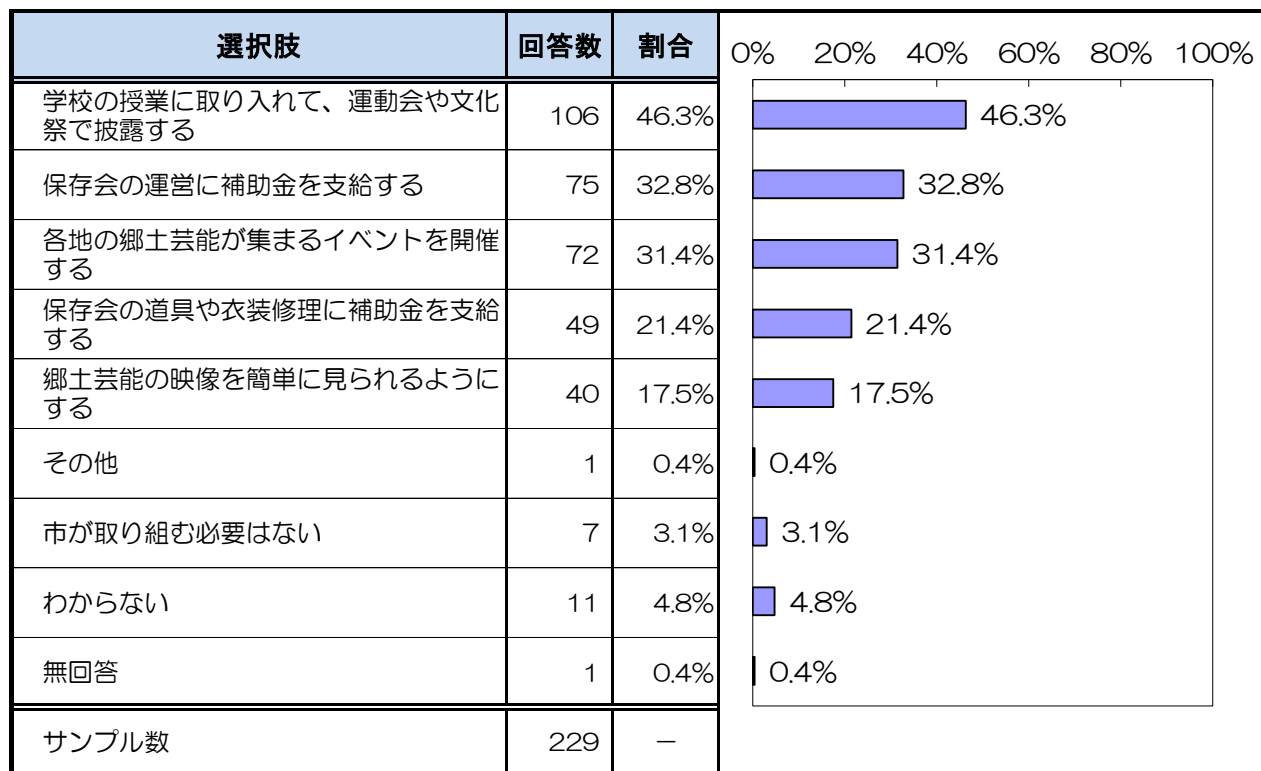


◆その他の回答（原文まま）

- ・以前より簡単に記録を残せるようになっており、守り続けることが難しいなか、負担になることもあると思います。
- ・その地域で必要な文化なのであれば、継承されていくと思うが存続の危機にあるものについては現地住民にとって本質的に継承することが必要だと感じていない方が多数なのではないか。詳しく状況はわかりませんが。ただ、言葉や文化は永遠ではないし形を変えて存続するものもあれば消えるものもある。そういった流れがあるなかで文化が存在するのであって、市町村ができることは映像や音声、書籍での記録を怠らないことだと考えます。

問 24 郷土芸能の保護に市が取り組むうえで、どのような取組が特に効果的だと思いますか。(2つまで)

「学校の授業に取り入れて、運動会や文化祭で披露する」が46.3%と最も高く、次いで、「保存会の運営に補助金を支給する」の32.8%、「各地の郷土芸能が集まるイベントを開催する」の31.4%の順となっています。



◆その他の回答（原文まま）

- ・その地域にあった文化や伝統を学べるような行事の開催を定期的に行う。

問 25 郷土芸能について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。(実際に参加・観覧した時の感想や、保存活動に関して提案など)

◆回答一覧(原文まま)

・広報・周知・啓発について

回答内容	性別	年代	地域
PR不足だと思います。郷土芸能カレンダーを作ってみてはどうでしょうか？	男	60歳代	中央
あまり知る機会がなかったため、これから知っていきたい。	女	29歳以下	谷山
お祭りとして観光客から集めていくことで色々な人から認知されるのではないのでしょうか。	女	30歳代	中央
興味を抱く様な媒体利用。	男	60歳代	伊敷
このアンケートが郷土芸能について考える機会になりました。鹿児島にどのような郷土芸能があるか、知らないの何かしら知る機会があればと思いました。	女	50歳代	吉野
コロナ禍の今、地元の良さをもっとアピール。	男	50歳代	郡山
テレビで紹介するコーナーがあれば興味や関心をもつかもかもしれません。	女	30歳代	谷山
どんなものがあるのか知る機会があってもいいかなと思う。	女	30歳代	吉野
どんな事が近くであるのか、そこから知りたい。	男	30歳代	中央
まずは知る為の機会を増やしてほしい。	男	50歳代	谷山
もっと身近になるように宣伝をするべきではないかと思います。	女	70歳以上	伊敷
郷土芸能が具体的にどのようなものなのか分からないので、パンフレットやイベントなどがあるといいと思います。	女	29歳以下	吉野
郷土芸能の記録映像のアーカイブがあれば、興味を持ったときに見ることが出来ると思います。インターネットを活用して、市外の人にも広く知ってもらえる機会になれば良いと思います。	女	40歳代	中央
郷土芸能自体に触れる機会が少ないのでSNSでの普及を試みるなど、若い世代の目に届くところでの活動がいいのではないかと思います。	女	29歳以下	中央
近所や近場で参加出来るように広報をもっとしていけば多様な世代で楽しめると思います。	女	30歳代	喜入
具体的なものが思い浮かばないので、特に何も言えません。それほどに認知されていないのかなとも思います。	女	40歳代	谷山
市民の広場で広報。	男	50歳代	中央
鹿児島県ほど郷土芸能や無形民俗文化財の豊かな都道府県は存在しないのではないかと思います。しかしそのことが県民に十分に県内外に認識されているとは思えません。少子高齢化や集落の衰退によってこうした文化的・歴史的財産が失われつつあることはたいへん残念です。開催後の記事を新聞で見て「知っていれば見に行きたかった」と思うことがよくありますが、行政として共同芸能や無形民俗文化財の開催カレンダーを作成していただければ、住民や観光客の参観の便が図られるのではないかと考えます。(しかしこれはむしろ県が県内全域についてまとめているのが一番かもしれません。)なお「おはら祭り」は鹿児島市では最も大きいお祭りかもしれませんが、同日に開催される大隅や都城の弥五郎どん祭りこそ、1300年の歴史と結びついた文化財で、これがおはら祭りの陰に隠れてしまうところが少々残念です。	男	60歳代	中央
小学校の運動会で、子どもたちが郷土芸能を披露する姿を見て、初めて知るほど、郷土芸能を知る機会がありませんでした。	女	50歳代	谷山
他県から越してきたので、鹿児島の郷土芸能が何かすら知らないので宣伝があればいいなと思います。	女	30歳代	中央

回答内容	性別	年代	地域
知る機会を作る。	女	30 歳代	中央
地域外の人でも気軽に見られるように、ネット等で誰でも閲覧出来るようにし、それによって興味があれば現地に来てもらえると思う。	女	30 歳代	喜入
転勤族は知る機会があまりないと思うので、入居時にそういう案内があればいいと思う。親しみが増すと思う。	女	29 歳以下	中央
伝統を引き継ぐことは、大切なことです。しかし、人が少なくなったり定年が延びたことで仕事をしたり、生活に余裕がなくなってきたりときまざまな理由があると思います。まずは、公民館などで地域の歴史や郷土芸能を見せたり勉強会などができるイベントをしたり。ただ、公民館だけだと人は集まりにくいので、物産展や朝市などでのイベント会場ですると家族で楽しく見れるのではないかと思います。	女	50 歳代	谷山

・子どもを中心とした若い世代に対する取組について

回答内容	性別	年代	地域
あまり触れる機会がないので、学生の時の授業等に入っていたら、もっと知ることができたかもしれないです。	女	30 歳代	喜入
みんなの協力が得られるといいのですが、なかなか人が集まらないのが現状なので、学校行事に取り入れると継承していけるのではないかなと思います。	女	50 歳代	吉野
学校での運動会や文化祭などでの取組は大事だと思う。地域に根ざした学校であってほしい。それが、最近は少子化で学校も統廃合が進み、地域とのつながりがなくなっているのは残念に思う。	男	40 歳代	中央
学校での活動の中で取り入れて、子どもたちに伝えてください。	女	50 歳代	吉野
学校行事で子供たちが楽しく参加でき、地域の方が観覧できるのであれば、学校の伝統行事として郷土芸能に携わる機会があっても良いと思います。	女	40 歳代	伊敷
郷土芸能の保存が大切なことは百も承知しているのだが、鹿児島市が資金を支給する必要までは感じられない。例えば、私の通っていた小学校ではおはら節を全校生徒で踊っていたため、今でも歌や踊りを覚えている。それと同様に、郷土芸能の踊りを学校の運動会に導入することで記憶に刷り込まれ、大人になってからもその郷土芸能に取っ掛かりやすくなると思う。なので幼少期に郷土芸能を刷り込ませることが大事だと考えます。	女	29 歳以下	中央
郷土芸能は、地域の歴史で文化だと思う。地域の文化を継承していくためには、踊りであったり子々孫々伝えていくことが重要。その伝承の手段として、子供が一番。一度、伝えることで地域を大事にし、また地元に戻ってきたりして根づいていく。そのためには、学校の授業であったり、子供会であったり手段は問わない。年配の教え手の発掘も大事である。まずそこからスタートである。煩わしさもあるが、コツコツやっていくしかないと思う。	男	60 歳代	伊敷
見るより実際にやってみると楽しいと思うので、子供たちにじかに触れる機会を増やして欲しい。	女	40 歳代	中央
子どもたちが親しみやすい活動だとよい。	女	30 歳代	中央
子供たちが、地域の方々の指導を受けながら学校行事ではしていますが、その方々の後継者は育たないようです。私達の年代を含め若者には、難しい話です。	女	50 歳代	桜島

回答内容	性別	年代	地域
子供の時に参加したような気がします。ただ、自分の子供は子供会等参加していないので経験がないと思います。1 番参加しやすいのはやはり学校での活動だと思います。運動会や文化祭などで体験できるといいかと思ひます。	女	40 歳代	中央
子供達が参加しやすいものだとより身近に感じやすいと思ひます。	女	40 歳代	谷山
社会人になってからだだと全く触れる機会がないので、学校の授業で触れられたらいいと思ひました。	女	29 歳以下	伊敷
若い世代への教育での取り組みが必要。	男	50 歳代	中央
小さな町の棒踊りなどはすでにとだえていますよね。小学生や中学校の運動会などに取り入れたら？どうだろうか？とおもひます。	女	50 歳代	伊敷
小学校では多くの学校で取り上げられているが、特に高校の体育祭などで積極的に取り上げて貰えないかと思ひます。	男	60 歳代	中央
小学校で郷土芸能を運動会で発表してくれる場があることで地域の住民の方々との子供達の交流が生まれるのはいい活動だと思ひます。	その他	40 歳代	谷山
小学校の運動会で取り入れている小学校は多いが中学校や特に高校で取り上げて貰えないかと思ひます。	男	60 歳代	中央
触れる機会が年々少なくなりつつあるので、子供の時から触れる機会を更に設けて身近な存在に感じられるようにしたらいいと思ひます。	男	29 歳以下	中央
世代や家庭環境によっては積極的に関わらないこともあると思ひます。ただ、守るべき伝統でもあるので、教育現場などで普及したり、ふれる機会を作ったりするのはいいと思ひます。	女	30 歳代	吉野
大変重要なテーマだと思ひます。沖縄県などは、小学校教育で、多くの事を学びますので、他県の教育システムを参考にするといいと思ひます。	男	40 歳代	松元
あまり無いですが、カリキュラムとして取り組んでみたらいいのでは無いでしょうか？存続させるのならば。	男	50 歳代	中央

※性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

・郷土芸能活動のあり方について

回答内容	性別	年代	地域
60 年くらい続く「NHKみんなのうた」（子供向け）について行けなくなりました。おじいさんの古時計、北風小僧の三太郎、あすなろの木、小さな木の実、赤い河の流れ（アメリカの歌）、里の秋、小さい秋見つけた等々。外国の方も日本で子育てしています。小さな子に人気の「パプリカ」もわかりますが、しみじみ聴ける以前の歌が懐かしい。どこに行っても「ナントカそうらん」。コロナ禍の「おはら祭り」は規模縮小となり、参加して下さったグループの中に中高生の皆さん。翌日は代休でしょうが、濃緑一色のハッピーの若い男女が殆ど無表情！間隔を取り、えんえんと続く 300 人位？に笑顔が本当に少ないのです。中には、ならば僕が盛り上げようという生徒さんが 10 人もいたでしょうか？頑張ってくれてました。春日八朗さん？の歌は渋谷での一時代を表す曲でしょうか？でも若い生徒さん達と違和感を持ちました。（私、春日さんの歌もパバロッチェも朗朗とした唱法が好きです。）古いものも新しいものも良いものは残りますよね。きりっと締まった連の皆さんのカッコ良さ！元気な若い学生さん。来年はにぎやかなおはら祭りになって欲しいです。	女	70 歳以上	中央
もっと、大々的にしてよいのでは？今年コロナで中止だったので。	女	40 歳代	中央
強制的な行事にしてあるから、子供は嫌がります。	男	50 歳代	喜入

回答内容	性別	年代	地域
郷土芸能と聞くと、高齢な方々が非効率的な段取りで運営しているイメージがあり、取り組む方々との年齢が乖離していることが楽しめない原因になると思います。設備や器具、雰囲気への整備に気を配り、メインの郷土芸能を若い方々にも触れられるようにすべきと思います。	男	30 歳代	喜入
郷土芸能を守ることは大切だが、他者や家族の協力を強要するものではない。特に、男だけでイベントを楽しみ、打ち上げを女に押し付けるといったイメージがあるので、そこは意識の問題だが改善する必要があると思う。	男	30 歳代	松元
近所付き合いが希薄で誘われたとしても知り合いが無く孤立してしまいたい！場を持たず会話が無いと。	女	60 歳代	中央
今の環境では郷土芸能が身近な事には感じれず、今は子育てと仕事で余裕がないです。イベント感覚で身近に感じれるような取り組みがあればまた興味を持てるかもしれません。	女	40 歳代	中央

・参加について

回答内容	性別	年代	地域
郷土芸能の披露に参加するには、交通手段の確保が問題となっている。参加者である高齢者が自己車両で参加者を同乗させることがあり事故が起きた時の心配である。自分も数年前に自己車両を運転した時がある（同乗者あり）。現在は 80 才以上であり、自己車両では参加しないと思う。	男	70 歳以上	谷山
コロナが落ち着いたら、また、出たりしてみたいです。	女	40 歳代	谷山
見に行くと感じるので、地域にあれば子供達を参加させたい。	男	40 歳代	伊敷
学生のときは地域の活動に参加していましたが、社会人になり、仕事の都合もあり参加できていません。	男	50 歳代	松元
簡単に参加できる機会があるといい。	男	40 歳代	中央
今まで参加したことがない	女	50 歳代	伊敷
自分みたいに参加したことない人が多いと思うので、気軽に参加や郷土芸能のことが学べるイベントなどがあればいいなと思う。	女	29 歳以下	伊敷
実際に参加する機会がなかったの、家族で何かイベントなど参加できるものがあるといい。	女	30 歳代	谷山
色々イベントで参加してみたい。	男	40 歳代	中央
全般的に高齢の方達は積極的に参加していますが、若い世代は仕事を休んでまで参加する事なのか？と言う意見が多いと思います。	女	40 歳代	喜入
旦那や、子供が、郷土芸能に、参加した時は、素晴らしいと、おもったが、勉強が忙しくなったり旦那も仕事で、いけなくなったのが、きっかけで参加しなくなった！	女	50 歳代	喜入
年齢と共に、参加するまでのハードルが高くなった様に思う。子供のイベントに乗っかる形で、妙円寺参りに参加等した際は、楽しかった。	女	50 歳代	谷山
保存活動に参加するための手段が分からない。	女	60 歳代	谷山

・参加した際の感想等について

回答内容	性別	年代	地域
学生の時、棒踊りに参加した。ただ、魅力は感じられず、続けられなかったの、興味のある人が職業として引き継いでいくぐらいでないと、続けるのは難しいなあと思いました。	女	30 歳代	吉田

回答内容	性別	年代	地域
郷土芸能に子供が参加しました。初めての曲、初めての踊りに感動しました。また、ほかの団体の演技も素晴らしく参加したからこそ見る事ができたのだと思いました。	女	50 歳代	谷山
地域の人達の協力のもとで実施されていたが私達は当日だけ早朝より手伝いに参加しました。料理、御茶だし、道具設営の準備等前日までも忙しかったと思う。集会場がないと順番で自宅提供も大変だった。地元で生活していないので本心はわからないけど私達が引き継いでいくことはできないと感じました。	女	60 歳代	吉野
幼少期のころ、夏に近くの公園で地域の催し物として「盆踊り」が開催されていて、地域の人と一緒に「炭坑節」を踊ったのが、すごくいい思い出として残っていて、いつまでも色あせません。「炭坑節」を聞くと、当時の懐かしい思い出がよみがえってきて、未来の子供たちにもそういった郷土芸能に触れる機会をもってもらうことは、人間性を深める意味でも良いことだと感じます。近くの公民館で、地域の人たちと盆踊りの練習をしたのが懐かしいです。小学校低学年だったと思います。	男	30 歳代	中央

・観覧について

回答内容	性別	年代	地域
県外出身のため勉強不足ですが、郷土芸能を実際に見たことがまだありません。六月灯などでみれたらいいなと思います。	女	30 歳代	喜入
コロナもあって見る機会にとぼしくなった。	女	30 歳代	吉野
そこまで、考えたことはありませんが近くであれば見に行く程度です。	男	60 歳代	中央
観覧出来る機会を増やすべき。	女	30 歳代	郡山
県外から鹿児島に来て身なので、鹿児島独特の文化を見て感じたい。	男	29 歳以下	中央
見て感動するものが多くあるので、身近なイベントや施設で観覧できるとよい。	女	30 歳代	吉野
現在は規模を縮小しての開催が増えているので、早く以前のように楽しみたい。	女	40 歳代	谷山
霧島？の太鼓を見た。イオンモールとか、身近なところで見れると親しみやすいです。	女	50 歳代	中央

・観覧した際の感想等について

回答内容	性別	年代	地域
私の住む西谷山地区の西谷山音頭は近年のものかも知れませんが、小学生が緋の着物を着て静かな音楽に合わせて踊る様子は本当に可愛らしく上品でずっとずっと続けて欲しいと思います。TVで拝見する芸能も加世田とか笠沙のものなどいいなーと思います。谷山が町とか市だった頃の秋祭りの時竹竿の上に笠を乗せたものを抱え練り歩いていた（ほぜ祭り？）などが懐かしいです。	女	70 歳以上	谷山
私は中学生の文化祭で、郷土芸能を観覧しました。同級生が衣装を着て、堂々と踊っていて、すごく印象的でもう数十年前の事ですが、いまだに覚えています。その時は、地域に郷土芸能があり、かかわれる事が少しうらやましかったです。	女	30 歳代	谷山
加治木の小学校の運動会では郷土芸能を踊っていた。とても、いいことだと思った。	女	40 歳代	中央
学校で披露する子供を見てきました。いろんな所で披露する機会があり参加してきました。いい経験ですが周りの大人は興味がない。	女	40 歳代	伊敷

回答内容	性別	年代	地域
学校の学習発表会で、見たり学びました。地域の方々にも参加してただけるといいなと思います。	女	40 歳代	中央
田舎の運動会で毎年披露されていたものを見たことがあるが子供たちが一生懸命に大人から教えてもらったものを披露している姿は感銘を受けた。これを絶やさない方法があればいいが少子高齢化にともない、私が見ていた頃の物と今とではまったく違うものだろう。	女	29 歳以下	谷山

・保存・継承に関する提案

回答内容	性別	年代	地域
おはら祭やおぎおんさあのように大規模な発表の場を年1回でも開催してはどうだろうか？正直、地域に（各地域に）こんなに郷土芸能がと思わなかった。次の世代に引き継ぐ為に、幼稚園児等の小さな子供達にも見せてあげられる環境があれば良い結果が生まれそうな気がする。	男	40 歳代	吉野
郷土芸能の保存について、市で映像を撮影し、HPで誰でも見れるようにする。また、地域の学校の授業に取り入れ、運動会や文化祭で披露することも地域の活性化につながると思う。	男	70 歳以上	伊敷
自分が関係し活動すると労働・時間・気苦労等いろいろ多いものである。それに、関係している皆さんにはそれなりの援助も必要と思う。その方の専門の人達との話し合いも必要では。	男	70 歳以上	中央
それぞれの地域に根付くものとして、行政が予算を割り当てて保存していくなど、積極的に残していく必要があると思う。	女	30 歳代	中央
地域性に合った伝統や文化を学べる。又は、体験できる行事を開催し、子供などの若い世代に対しては文化や伝統に触れてもらうことにより、記憶の回想や認知療法としても活用できるような取り組みができると良いと思います。	女	29 歳以下	吉野
地域の歴史を知るうえでは、ぜひ残しておいてほしいけれど、進学や就職で都市部に出ていく人達が多いことを考えると、今あるものをどう残すか考えた方がよいのかもしれない。（長年続けている人達に補助金を出す、とか。）	男	30 歳代	伊敷
どのように回答して良いのかわかりませんが、後継者不足や保存のあり方など、たくさん問題があるようです。一方であまり自分たちが、見る機会関わる機会もない為、愛着がないのもあるのかと思います。やはり、補助金などの支援で、学生時代にたくさん見たり触れたりする機会を増やす事が一つの手かと思えます。	女	50 歳代	中央
各地で古来より伝承されている郷土芸能は絶やすべきではないと思いますが、後継者不足、資金の問題、若者世代があまり関心がない等、継続活動に困難を来しているところが多いのではないかと危惧しています。行政と民間企業・個人が共同で存続していくようなシステム作りをしていかないといけないのではないかと思います。	男	60 歳代	吉野
観光で参加するのもいいですが、地域で生活されている方の参加が一番で郷土芸能を伝える事が大事だと思います。地域を住みやすく工夫し、新たに住む方を増やして行かなくてはならないと思います。	男	50 歳代	吉田
郷土芸能とか民俗文化財などというものは、幾多の時代の中で、人々に愛されて、伝承されてきたものだと思いますので、廃れていくものはやむを得ないのではないかと思います。そういったものに、限られた税金を投入して、無理に残さなければならぬとは思いません。	男	60 歳代	吉野
郷土芸能は、大切に受け継がれて欲しいと思うが、運営に補助金などの支給がないと、継承者を育てたり、広報したり、保存していくには厳しいと思う。	女	50 歳代	伊敷

回答内容	性別	年代	地域
郷土芸能は大切だと思う。しかし、市が補助金を支給してまで取り組むのは反対する。市はもっと他にやる事がある。優先順位を付けて、公共投資など市民に役立つものから、しっかり取り組んでほしい。	男	60歳代	中央
後継者の育成が必須だと思う。地域を限定せず、広く後継者を育ててみてはどうだろうか。	男	60歳代	中央
鹿児島の伝統文化、踊りなどぱっと思いつかないのが正直なところ。どういった場所でどのような文化が危機にあり、税金をつかって運営に補助が必要なのか、支援がいるのか、目で見て聞いて市民に明らかにならないことには郷土文化の存続よりも優先すべき未来への投資が目の前にあるとしか考えられないのが現状なのかなと考えます。	女	30歳代	吉野
若い人が郷土芸能に参加出来る環境を作ることが大事だと思います。出来れば途切れないように一般市民にも関心をもってもらえる事も大事だと思います。	男	60歳代	谷山
全部を残していくのは難しいと思いますが、地域の歴史として残していく大切さもあると思います。個人や一部の方達の努力では難しいと思うので、公的な応援、援助は必要と思います。	女	50歳代	中央
地域の役職を長い間やっていました。文化祭などで伝統芸能の紹介してもらっていましたが、次第に演じ手が高齢化、伝承者不足になりました。地域や団体任せではこれ以上の伝承は無理があると思います。青年団や婦人会、子供会などの活動が少なくなったのが残念です。住民組織や社会団体の活動を促進していくことも一つの方策かと考えます。	男	70歳以上	谷山
地域性のあるものなので地域の町内会、子供会などで取り組んでいくことが望ましいかと思う。	女	29歳以下	中央
地元愛を育てている地域住民が積極的に呼びかけ、子どもたちに継承していくことが大切かと思う。	女	50歳代	中央
伝承していくことは大事であると思います。ただ、県外からの移住者にはなかなか触れる機会が少ないと思うので、郷土芸能を身近に感じられるような環境になればいいのではないのでしょうか？	女	30歳代	中央
伝統をつなぐことは、みるきく機会がないとはじまらないし、よほど興味がない限り、知ってる人から誘われないと参加しないと思う。やはり、子供活動や地域活動から繋げていくのが近道では。	男	60歳代	谷山
都市部になるほど人とのつながりがなくなるため季節の行事などを活発に地域で行い郷土芸能なども伝えていければいいと思う。	女	50歳代	中央
文化や伝統を継承することは大切ではあると思う。時代の流れにそぐわないため消失していくこともあると思うので、記録に残していくことが重要であると思う。	男	29歳以下	中央
補助金については本当に必要なのかなと思います。地域で保存して活動する分にはいいが補助金まで出す必要性を感じない。高齢化や少子化で継続が厳しいと思われる郷土芸能は出来る限り映像化して受け継いでその中でまた復活させたいのであれば復活をさせていいのではと思います。その為に地域もある程度資料などを残しておけばいいのかなと思う。	男	40歳代	伊敷
郷土芸能の存続には理由や目的の明示が必要だ。ただし、「歴史ある芸能なので残すべき」という理由は、歴史ある会社ですら容易く潰れる今の社会では効果が薄い。そのため、存続すべき理由や目的に「郷土芸能を存続することで(当事者や地域の人間にとって)どのようなメリットがあるのか」という要素を織り込むことが不可欠と言えよう。	男	30歳代	中央
補助金は重要だと思うが、その使用実態の把握と継続支援がもっと重要だと思う。支出しっぱなしであれば、しないほうがましである。	男	60歳代	中央
補助金を出してほしい。	男	60歳代	中央

・その他保存・継承について

回答内容	性別	年代	地域
あんまり興味はないけど、歴史あるものは絶やしてはいけないと思うので続けていったらいいと思います。	男	29歳以下	喜入
いつまでも残ってるものは世代を超えて何かを感じ、また次の世代でも何かを感じれるものであってほしい。	女	30歳代	中央
このアンケートまで知らない言葉でした。今の20代、10代の知らないことは淘汰されていくと思います。残したいものは先代が後世に伝えなければならぬし、伝えなかったのなら今の時代には必要ないのかなと思います。	男	29歳以下	中央
コロナで伝統芸能を披露する機会がなくなりその間に伝承する大人たちがどんどん高齢化していて次の世代へ繋がるか心配である。	男	29歳以下	吉野
コロナ禍で色々と大々的に開催したりはしばらく難しいですが、大切に受け継いでいく事がよいと思う。	女	40歳代	中央
続けてほしいです。	女	40歳代	伊敷
テレビ番組で見たことがあります。やはり後継者不足が問題視されており、昔から続いてきた歴史を閉ざされてしまうことは残念でなりません。	男	50歳代	松元
どの活動も受け継がれてきたものなのでその方たちの心を考えると簡単に絶やしてはいけないと思います。	男	60歳代	吉野
保存会があったりするのにはニュース等で見たことがありますが、高齢化が進んでいて大変そうですね。	男	40歳代	吉野
もともと住んでいても分からないことが多い。またコロナの影響もあり子供たちが参加できるようになった年齢になっても集まって行事がないことも伝統行事の衰退につながってしまっている。	女	30歳代	谷山
やはり若年層（児童生徒）に浸透させることが大事と思われる。	男	30歳代	中央
学生のころ、鹿児島の文化や郷土芸能について学んでいました。最近では後継者不足で行わないところもあるようでとても悲しく思います。伝統は絶やしては行けないと思うので、どうにか残せるような取り組みをしてほしいです。	女	30歳代	伊敷
郷土芸能と繋がりを持ったことがないので、具体的にどうしていったらいいのか見当が付きません。ただ、伝え続けてきたものが消えると、その土地の特色が消えて、均一化してしまうので、残していけたらいいと思います。	女	50歳代	松元
郷土芸能について、積極的に参加したことはないが、地域で引き継がれてきたことは、どんな形であれ、引き継いでいてもらいたい。	女	40歳代	吉野
郷土芸能については先代から引き継がれているものだからもっと後世まで引き継いで欲しい。	男	30歳代	喜入
郷土芸能の取組が素晴らしかったです。これからも維持してしてほしいです。	男	40歳代	中央
郷土芸能の文化を絶やしたくありません。	男	40歳代	谷山
郷土芸能は、引き継がれていくことが重要だと思います。	男	60歳代	中央
郷土芸能は、少子高齢化の為に存続は難しいと思います。あらゆる、援助、補助は必要だと思いますが、強制させてやるのもどうかと思うのでどうしていくべきか正直わかりません。	男	40歳代	伊敷
郷土芸能は大切に伝え続けていきたいです。	女	30歳代	喜入
郷土芸能を調べてみると、鹿児島市だけでもたくさんあることに驚きました。存続を絶やさないう、守るべきものだと思います。	女	40歳代	中央
芸能という性質からある種の娯楽と理解します。楽しみが共有されなければどれもこれも伝えていく価値はないのではないのでしょうか。	男	40歳代	中央
参加人数が年々減っていて若者たちに是非参加して欲しい。	男	29歳以下	中央

回答内容	性別	年代	地域
山間地域では少子化・高齢化が一段と進んでいて継承が難しいのが現状だと思います。報道で学生たちが関わりを持って取り組んでもらえている事がいいと思います。	男	50 歳代	郡山
子どもが小学校の運動会で地域に伝わる「棒踊り」を披露しているが、教えられる人が少なくなっていると聞いて、存続が難しいと感じている。	女	30 歳代	谷山
子どもの頃、郷土芸能はみたことはあります。小さいころはあまり興味もなく過ごしてきました。古き良き伝統ですから絶やさず保存できることを願っています。	女	50 歳代	伊敷
私が住んでいる瀬々串では、棒踊りがあります。地域の保存会の方々が子供達に教え、文化祭などで披露しています。おじいちゃん、父親、子供とずっと受け継がれる棒踊りが無くなってしまうのは寂しいなと思います。	女	40 歳代	喜入
私の小学校には太鼓踊りという伝統芸能があり、運動会や文化祭、夏祭りなどで踊っていました。ですが、小・中・高校を卒業するに従って、太鼓踊りに触れる機会はなくなってしまったと思います。それでも、これからも伝統が続いていったらいいなと思います。	女	29 歳以下	郡山
私は参加や観覧の機会は殆どありませんが、郷土芸能の保護・保存は必要不可欠だと思います。	男	60 歳代	松元
私は出身こそは松元ではないのですが、育ったのは松元町です。小学生の頃、運動会などで踊った「松元お茶音頭」は、松元町民ならみんな踊る歌えるものでした。しょうもないけど、そんなものこそ大切にしていきたいです。	男	40 歳代	松元
時代の流れとともに郷土芸能が廃れていくのは仕方がないことだと思う。行政が郷土史やビデオなどに記録を残すことは大切な仕事だと思うが、無理に存続させる必要はないと思う。	女	50 歳代	中央
鹿児島にも沢山の郷土芸能があるので後世に残していきたい。	女	30 歳代	吉野
鹿児島は、特に色々な歴史の舞台になっているので、たいせつに保存、継承をするべき。	女	50 歳代	伊敷
鹿児島県特に鹿児島市は、歴史的に偉人も歴史的な文化も多い町なので、やはり後世にも受け継ぐこと・そのようなことに取り組みを考えた方が良く思う。	男	40 歳代	中央
実家の近辺では、伝承されている郷土芸能がありました。棒踊りですが、自分たちが子供の頃は男子だけがする踊りでした。歌やお囃子みたいなのをするのも大人の男の人で。ここ数年は、少子化もあって参加できる人数が減ったので、女の子でも参加して継承しているようです。	女	40 歳代	中央
小学生の時に山田楽を踊りました。夏休みに毎日練習をして運動会で披露したのを覚えています。とても良い思い出です。伝統文化は引き継いでいって欲しいです。	女	40 歳代	中央
少子化、人口減少を改善しない限り難しい問題だと思います。	男	40 歳代	伊敷
地域の人たちとの繋がりは大切なので、誰もが頑張りすぎない形で残せたらと思う。	男	29 歳以下	中央
地域の特殊をたやさない事は大切だと思います。資本主義社会なので効率的でないものは、どんどん無くなっていきますが、すべて効率優先だと、味気のない社会になってしまいます。守るべき文化は守って欲しい。	男	40 歳代	谷山
地域の特色として、郷土芸能を残すことは大事だと思います。	男	40 歳代	中央
伝統的な物なので どの世代でも受け継いで行って欲しいですね。	女	50 歳代	吉田
特に参加等したことがないが、地域独自の郷土芸能は大切にすべきであると思う。	女	30 歳代	伊敷
歴史が知れたりする事が楽しく思うのでなくなる事がないように力になれる事があれば協力していきたい。	男	29 歳以下	伊敷

・その他

回答内容	性別	年代	地域
地域の人が積極的でない。	男	70歳以上	喜入
テレビなどで見かけると観てしまう。映像、音楽など懐かしく思う。そう思える事は幸せな事だと感じる。歳を重ねてからの、郷土芸能を目にした時は幸せだと感じる。	女	40歳代	谷山
どのようなものが郷土芸能に該当するのかが分からなかったため、このアンケートに具体的な例を挙げていただければもっと明確に答えやすかったのかなと思いました。せっかく作って頂いたアンケートに文句を言うようで申し訳ないです。	男	30歳代	中央
県外から鹿児島に来て、独特な文化があることにとっても驚いた。また同じ鹿児島でも地方や離島など離れた所ではまた違った文化があることはとても興味深かった。	女	30歳代	谷山
今はよく分からないので学んでいきたいと思います。	男	60歳代	中央
以前は参加していたので、28と29の設問は対象外だと思うのですが、回答しないと終われなかったのでやむをえず適当に回答しました。	女	50歳代	中央
鹿児島市の具体的な郷土芸能が何があるのかわかりません。おはら祭りとかの事でしょうか？	男	40歳代	吉野
新自由主義社会なので、お金にならないものは、経済的に成り立たないものは、どんどん廃れていくと思います。私は一部の大企業の経済活動を応援するために、住民税、所得税、消費税などを払っているつもりはありません。公正な社会の実現のために税金を払っているつもりです。本当に必要な分野にしっかりと公的な支援をお願いしたいと思います。	男	40歳代	谷山
戦争をテーマとした演劇。現在行われているかは解りません。	女	40歳代	中央
地元出身ではないのであまり長く住んでいないためあまり機会がありません。	女	60歳代	中央
あまり興味がありません、すみません。	女	50歳代	中央
あまり興味が無いので特に思うことはありません。	男	30歳代	中央
ありません。	女	29歳以下	谷山
ありません。	女	40歳代	松元
とくに	女	30歳代	吉野
とくにない。	男	30歳代	松元
特にありません。	女	40歳代	中央
特にありません。	女	40歳代	中央
特にありません。	女	29歳以下	喜入
特にありません。	男	50歳代	中央
特にありません。	女	29歳以下	谷山
特にありません。	男	30歳代	中央
特にありません。	男	30歳代	伊敷
特にない。	女	29歳以下	中央
特にない。	男	40歳代	中央
特にない。	女	30歳代	吉野
特にないです。	女	50歳代	伊敷
特にないです。	女	50歳代	桜島
特になし。	女	30歳代	伊敷
特になし。	男	29歳以下	中央
特になし。	男	60歳代	伊敷
特になし。	女	30歳代	中央
特になし。	男	29歳以下	伊敷
特になし。	女	30歳代	吉野
特になし。	男	30歳代	谷山
特になし。	女	40歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
特になし。	男	50歳代	吉野
特になし。	女	30歳代	中央
特になし。	女	29歳以下	谷山
特に無し。	女	30歳代	谷山
特に無し。	男	50歳代	伊敷
ない。	男	50歳代	伊敷
なし。	女	30歳代	中央
なし。	男	29歳以下	伊敷
なし。	男	30歳代	伊敷
なし。	男	29歳以下	谷山
よくわからない。	男	40歳代	谷山
よくわからないから何も言えない。	男	29歳以下	中央
よく分かりません。	男	30歳代	伊敷
わからない。	女	50歳代	吉田
魅力を感じません。	女	30歳代	吉田

Ⅳ 子どもの未来応援条例（仮称）の制定について

1. 調査の目的

本市では、子どもを社会全体で守り育てるという気運を醸成し、全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、現在から将来の生活にわたり夢や希望を持てる社会の実現を目指すため、令和3年度から「鹿児島市子どもの未来応援条例（仮称）」の制定に取り組んでいます。

この条例は今後の本市の子ども施策の方向性について規定するものであり、この調査は子育てや子どもの権利等に関して、市民の皆様の現状認識を把握し、条例制定の基礎資料とするために実施するものです。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、本アンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（こども福祉課）からのコメント

子どもの未来応援条例（仮称）の制定に向けて、子どもの権利等に関する市民の皆様の現状認識を把握するために、今回のアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

子ども（児童）の権利に関する条約について、39.0%の方が「聞いたことはあるが内容は知らない」、34.7%の方が「知らない」と回答され、子どもの権利について、まだまだ多くの方が知らない現状であることが分かりました。

また、子どもの権利に対するイメージについて、多くの方が子どもが人間らしく生き、健やかに成長するために必要なものと考えている一方で、大人にとって面倒なもの「そう思う」4.7%、「どちらかといえばそう思う」8.1%、子どもに権利は必要ない「そう思う」3.0%、「どちらかといえばそう思う」2.1%との回答があるように、市民の皆様に、なぜ今子どもの権利を尊重する必要があるのか、より分かりやすく伝えていく必要があることも分かりました。

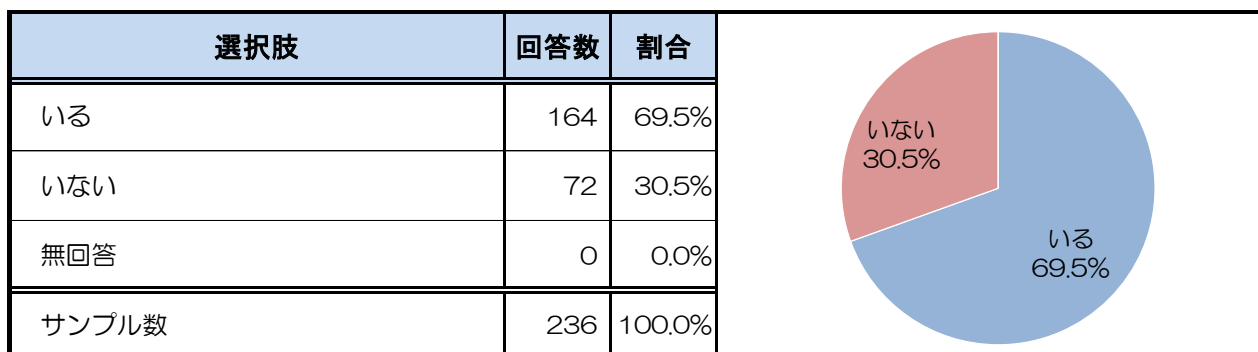
さらに、子どもの参加する権利について、家庭や学校行事・イベントに関しては、現在も子どもが参加する機会があるようですが、部活動等や学校の決まり、地域の行事やまちづくり、鹿児島市政について、子どもたちが参加する機会が、現状ではあまり無く、今後必要との意見が最も多くなっていたことから、学校や地域・行政において、これまで以上に、子どもたちの参加の機会が求められていることも分かりました。

今回の調査結果及びいただいた貴重なご意見を踏まえ、子どもたちを取り巻く現状と、子どもの権利尊重を基盤とした子どもにやさしいまちづくりについて、より一層、子どもにも大人にも広報が必要であると考えるところです。引き続き、子どもの未来応援条例（仮称）の制定に向けて、また、子どもにやさしいまちづくりを目指して取組を進めてまいります。

3. 調査結果

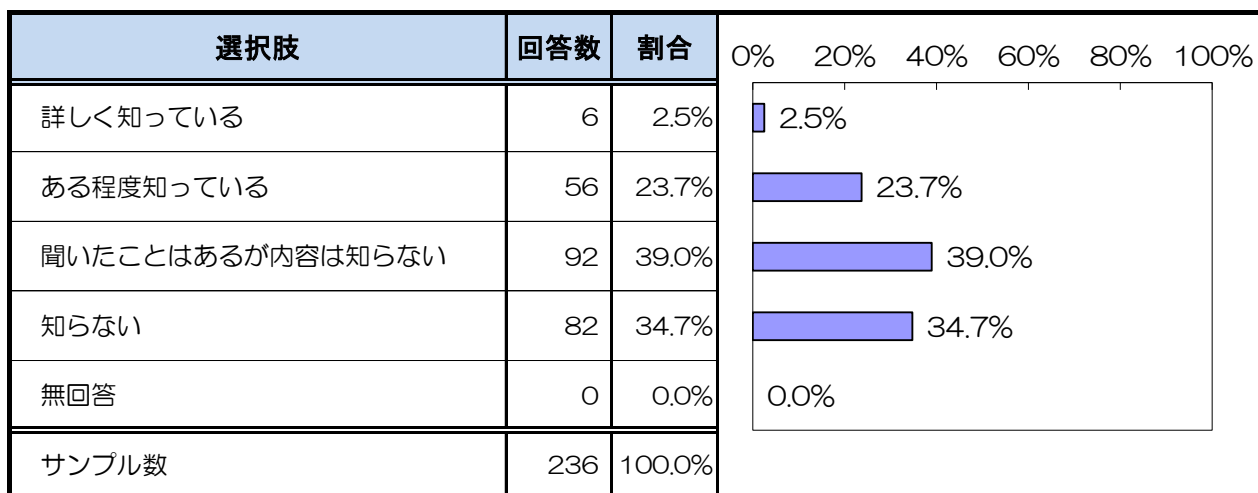
問 26 あなたには、子どもがいますか。(単一回答)

「いる」が 69.5%、「いない」が 30.5%となっています。



問 27 あなたは、「子ども（児童）の権利に関する条約」（1989年に国際連合で採択、日本は1994年に批准）を知っていますか。(単一回答)

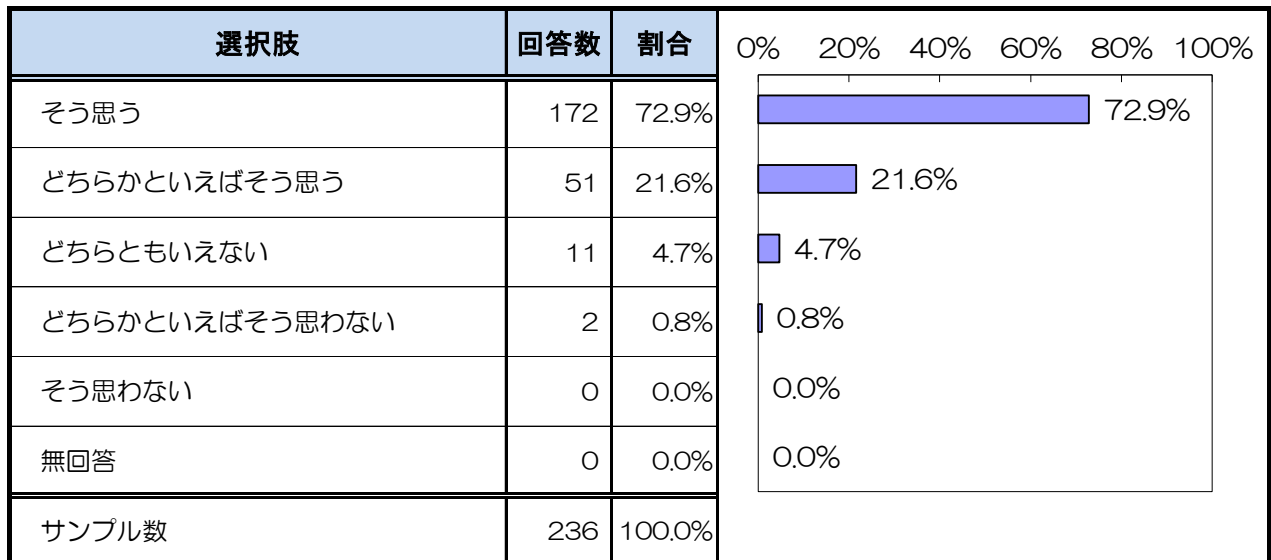
「聞いたことはあるが内容は知らない」が 39.0%と最も高く、次いで、「知らない」の 34.7%、「ある程度知っている」の 23.7%の順となっています。



問 28 あなたは、子どもの権利についてどのようなイメージをお持ちですか。
(単一回答)

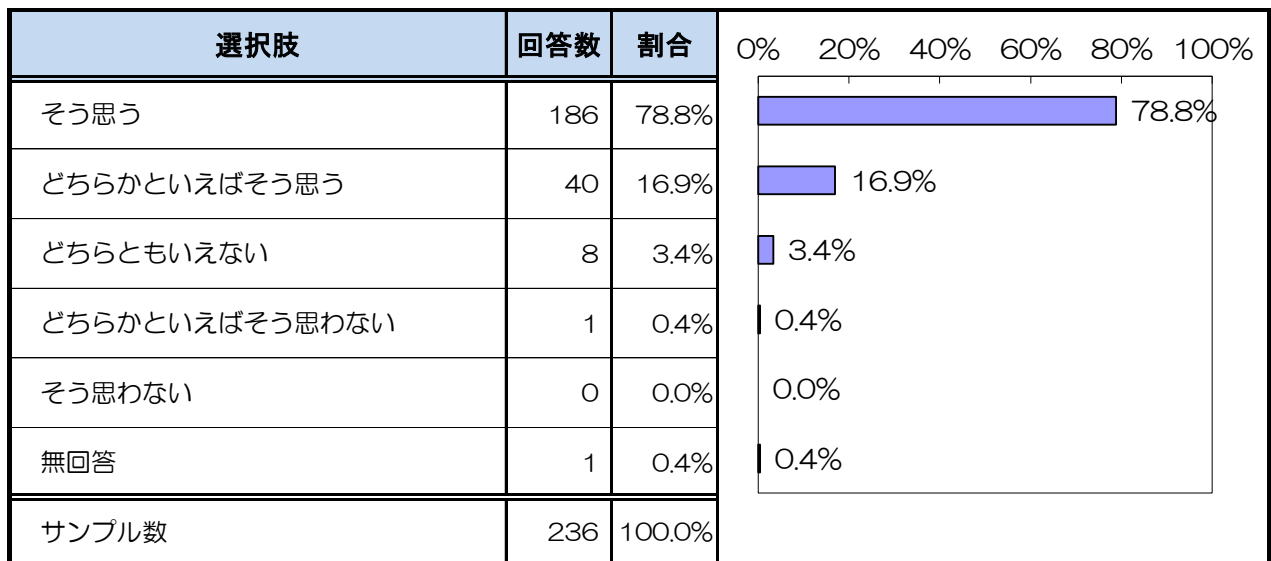
① 子どもが人間らしく生きるのに必要なもの

「そう思う」が 72.9%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」の 21.6%、「どちらともいえない」の 4.7%の順となっています。



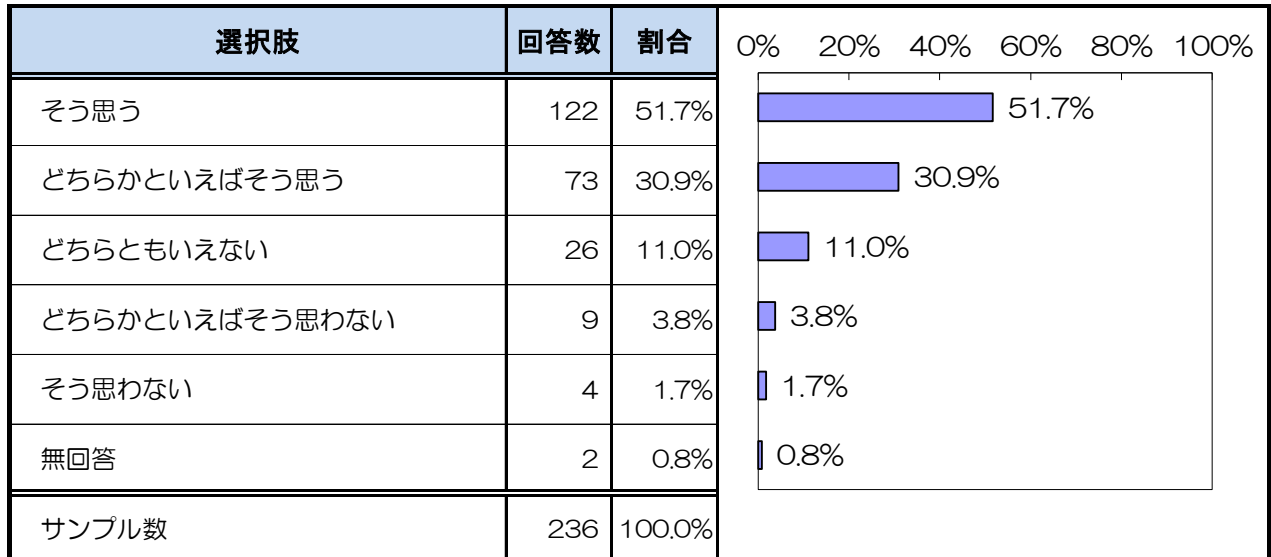
② 子どもが健やかに成長するために保障されるべきもの

「そう思う」が 78.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」の 16.9%、「どちらともいえない」の 3.4%の順となっています。



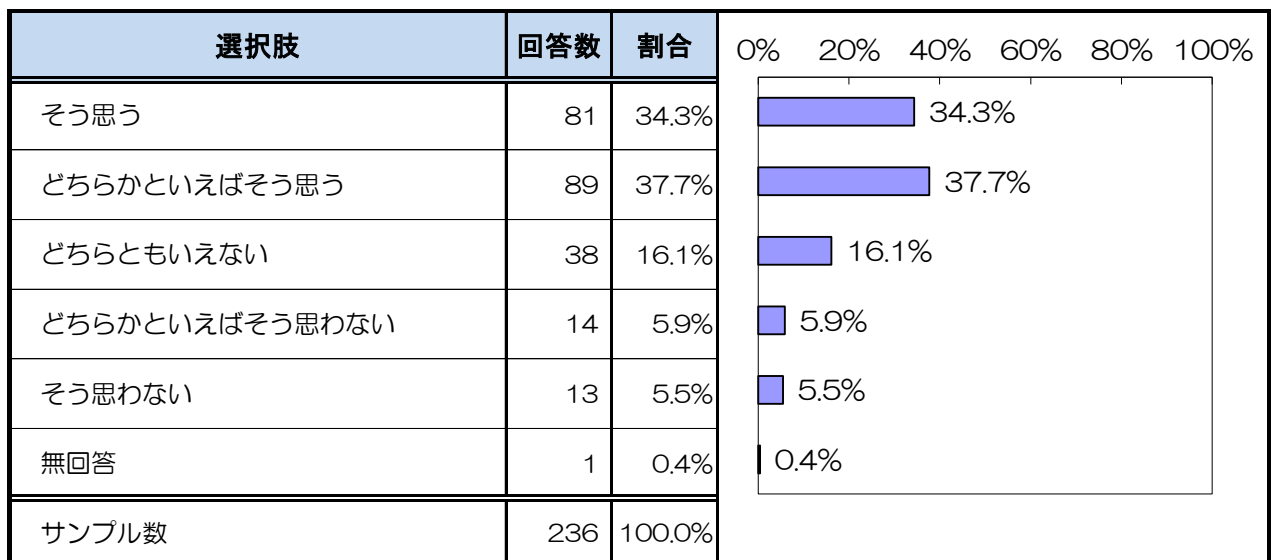
③ 大人と同じように当然認められるべきもの

「そう思う」が 51.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」の 30.9%、「どちらともいえない」の 11.0%の順となっています。



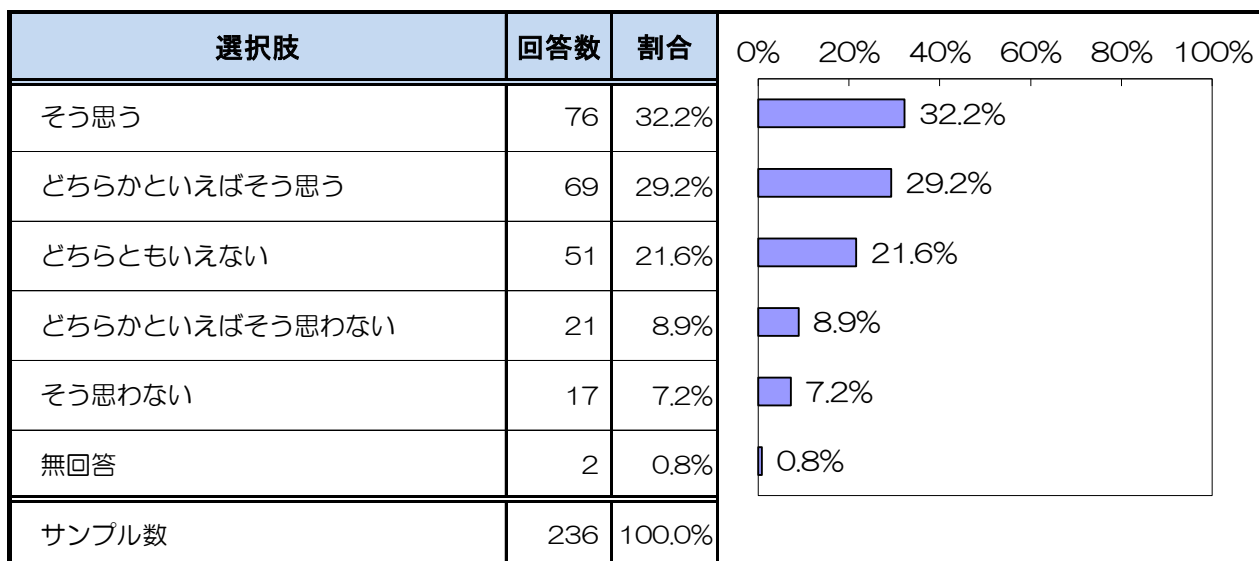
④ 大人と比べてある程度の制限は仕方ない

「どちらかといえばそう思う」が 37.7%と最も高く、次いで、「そう思う」の 34.3%、「どちらともいえない」の 16.1%の順となっています。



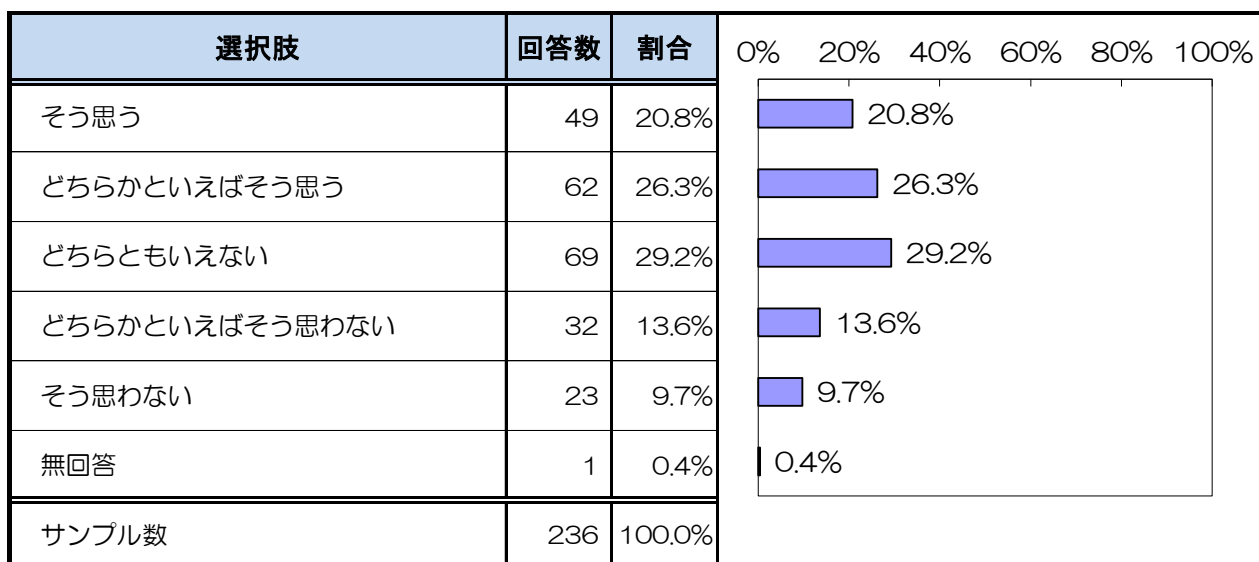
⑤ 権利は義務や責任を果たしてこそ認められるもの

「そう思う」が 32.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」の 29.2%、「どちらともいえない」の 21.6%の順となっています。



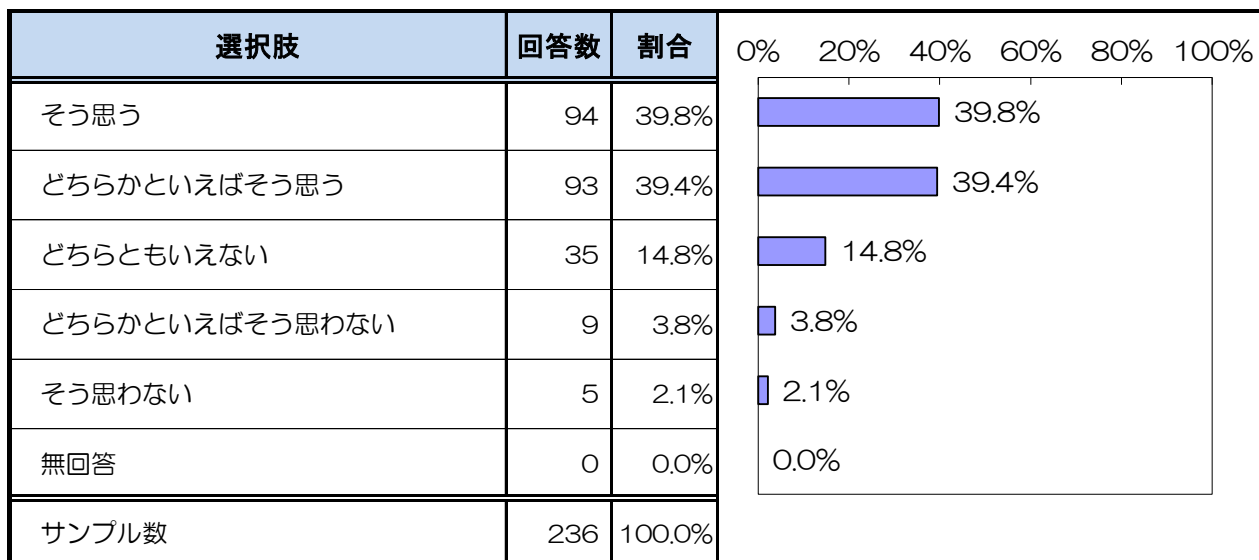
⑥ 権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる

「どちらともいえない」が 29.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」の 26.3%、「そう思う」の 20.8%の順となっています。



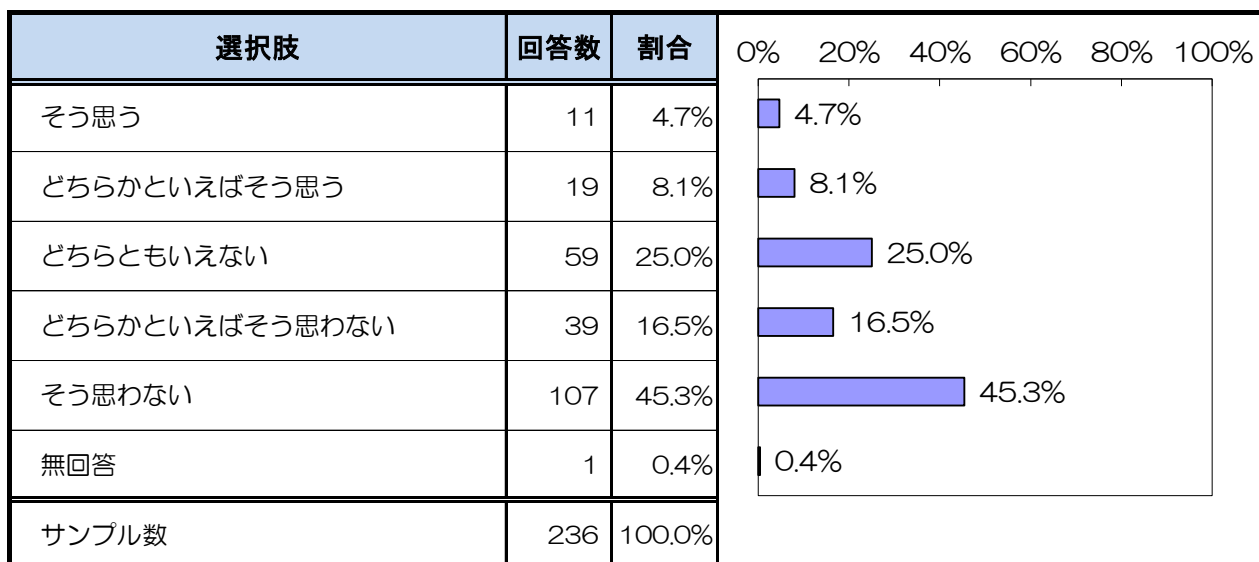
⑦ 自分の権利を大切にされることで、子どもは他人の権利も尊重できるようになる

「そう思う」が 39.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」の 39.4%、「どちらともいえない」の 14.8%の順となっています。



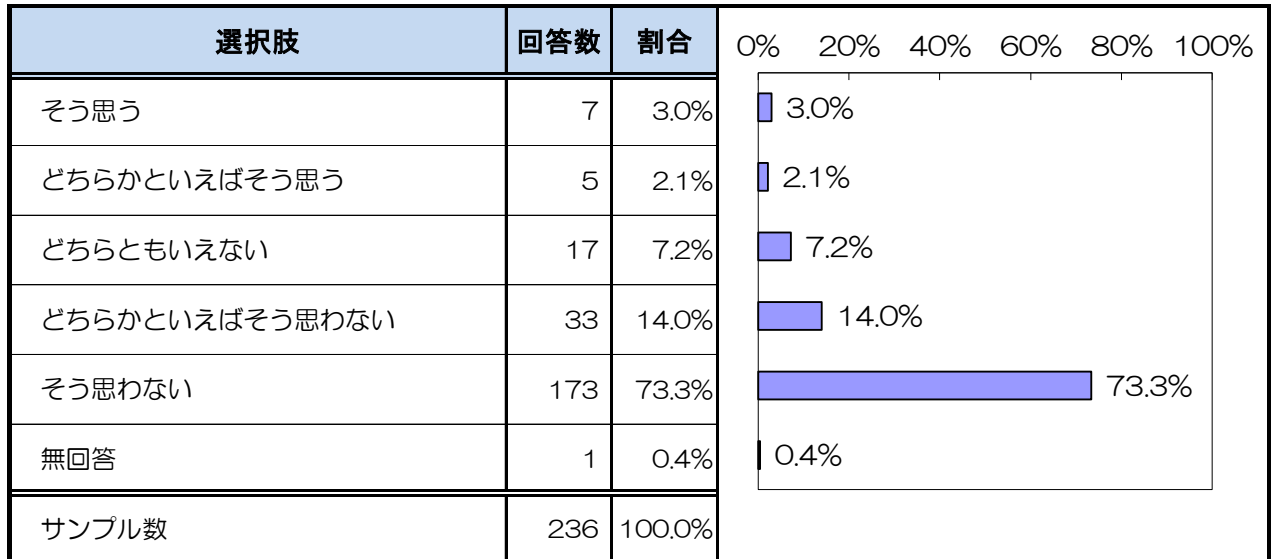
⑧ 大人にとって面倒なもの

「そう思わない」が 45.3%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」の 25.0%、「どちらかといえばそう思わない」の 16.5%の順となっています。



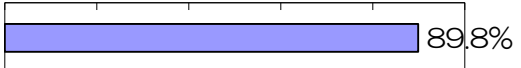


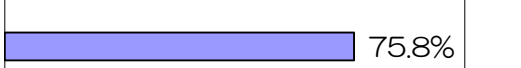
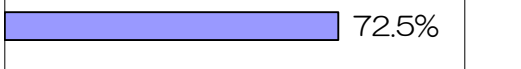

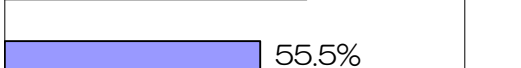


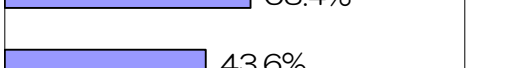

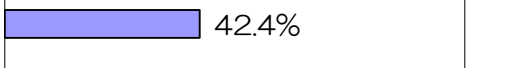






⑨ 子どもに権利は必要ない

「そう思わない」が73.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」の14.0%、「どちらともいえない」の7.2%の順となっています。



問 29 子ども（児童）の権利条約は以下のような子どもの権利を保障しています。あなたが大切だと思う子どもの権利を全て選んでください。
（複数回答）

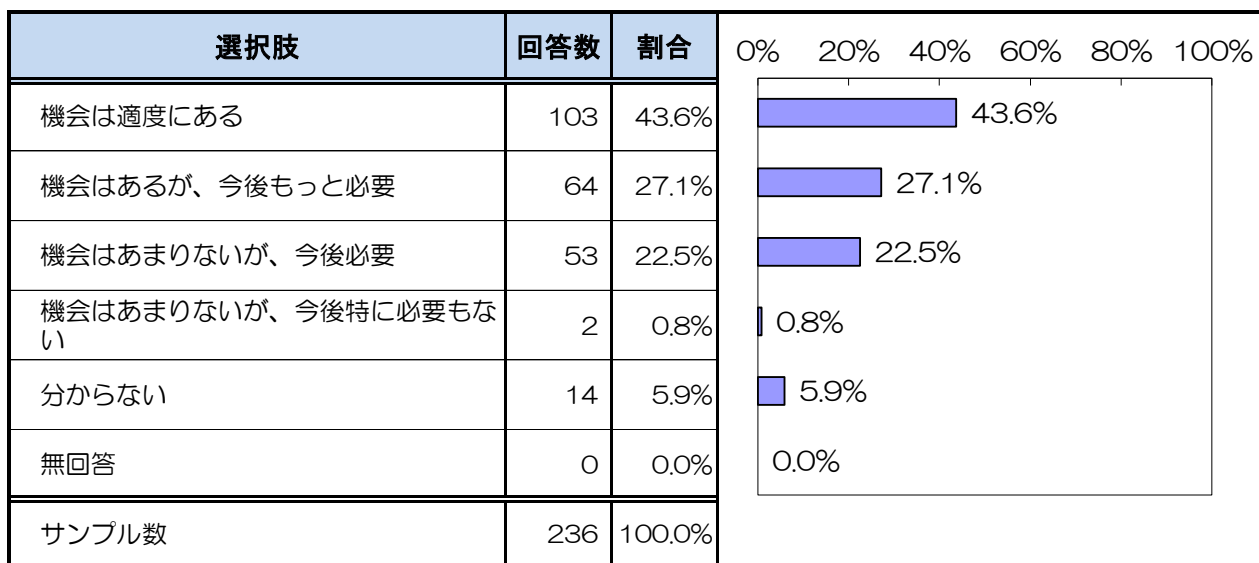
「人種・性別・宗教・障害・貧富の差・考え方などによって差別されないこと」が 89.8%と最も高く、次いで、「生きること・育つこと」の 86.9%、「教育を受けること」の 83.9%の順となっています。

選択肢	回答数	割合	0% 20% 40% 60% 80% 100%
人種・性別・宗教・障害・貧富の差・考え方などによって差別されないこと	212	89.8%	 89.8%
生きること・育つこと	205	86.9%	 86.9%
教育を受けること	198	83.9%	 83.9%
親からの暴力やひどい扱いから守られること	197	83.5%	 83.5%
医療・保険サービスを受けること	179	75.8%	 75.8%
心や体を十分に成長させていけるような生活を送ること	171	72.5%	 72.5%
誰からも幸せを奪われないこと	162	68.6%	 68.6%
生活が難しい場合に、国からお金などのサポートを受けること	155	65.7%	 65.7%
休んだり遊んだりすること	131	55.5%	 55.5%
スポーツ・文化・芸術活動に参加すること	129	54.7%	 54.7%
心や体によくない危険な仕事や就学に支障をきたす仕事から守られること	127	53.8%	 53.8%
子どもに影響を与える全ての事柄について、自分の意見を自由に表すこと	126	53.4%	 53.4%
子どもにかかわる全ての活動において、子どもの最善の利益が第一に考えられること	103	43.6%	 43.6%
子ども同士で集まったり、活動のためのグループを作ったりすること	101	42.8%	 42.8%
「子どもの権利条約」を知ること	100	42.4%	 42.4%
大切だと思う権利はない	1	0.4%	 0.4%
わからない	0	0.0%	 0.0%
無回答	0	0.0%	 0.0%
サンプル数	236	—	

問 30 子どもの権利条約は大きく4つの権利（①生きる権利②育つ権利③守られる権利④参加する権利）に分けられます。そのなかの④参加する権利に関して、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会について、どのような状況だと思いますか。（単一回答）

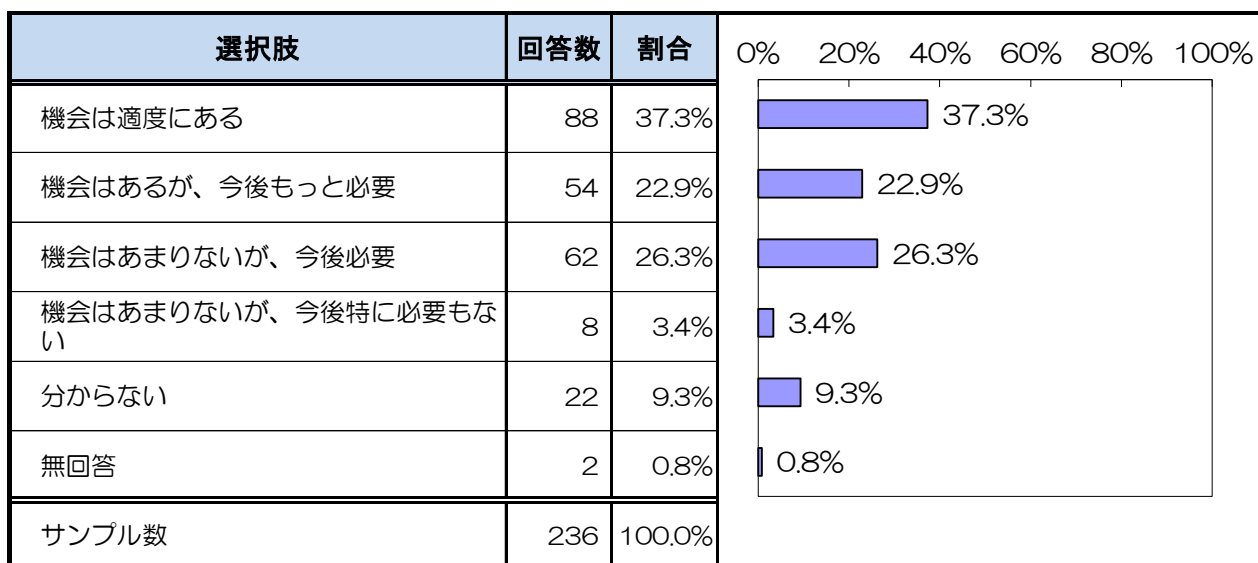
① 家庭で大事な物事やルールを決める時に意見を言うこと

「機会は適度にある」が 43.6%と最も高く、次いで、「機会はあるが、今後もっと必要」の 27.1%、「機会はあまりないが、今後必要」の 22.5%の順となっています。



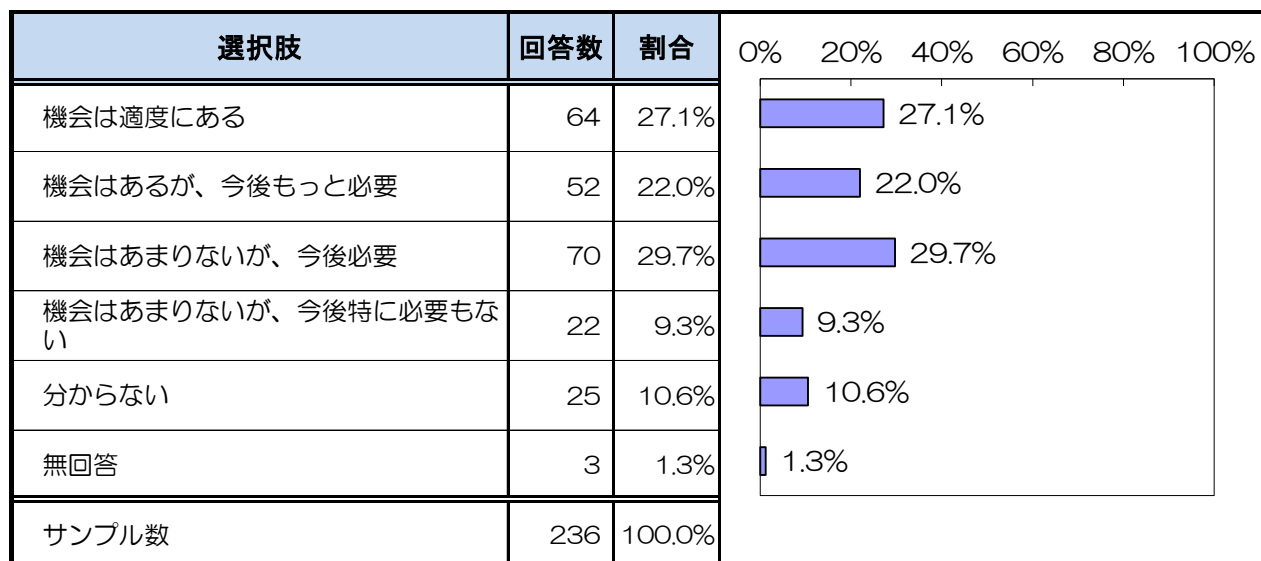
② 学校行事・イベントの企画運営に参加すること

「機会は適度にある」が 37.3%と最も高く、次いで、「機会はあまりないが、今後必要」の 26.3%、「機会はあるが、今後もっと必要」の 22.9%の順となっています。



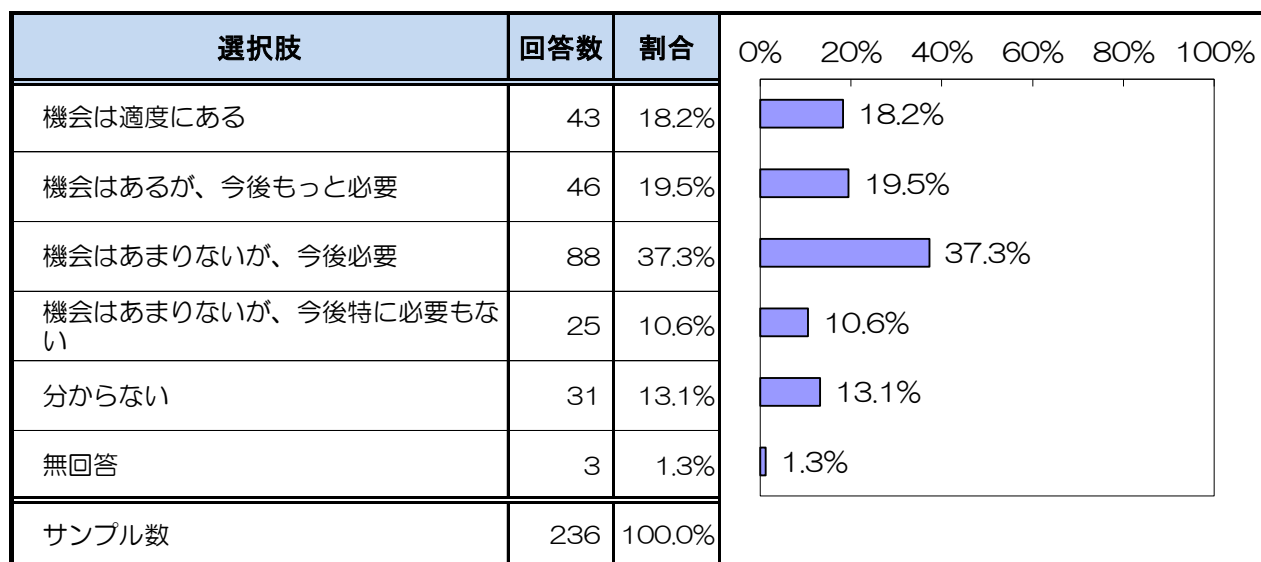
③ 学校等の部活動等の活動内容に意見を言うこと

「機会はありませんが、今後必要」が 29.7%と最も高く、次いで、「機会はあるが、今後もっと必要」の 22.0%、「機会はあるが、今後もっと必要」の 22.0%の順となっています。



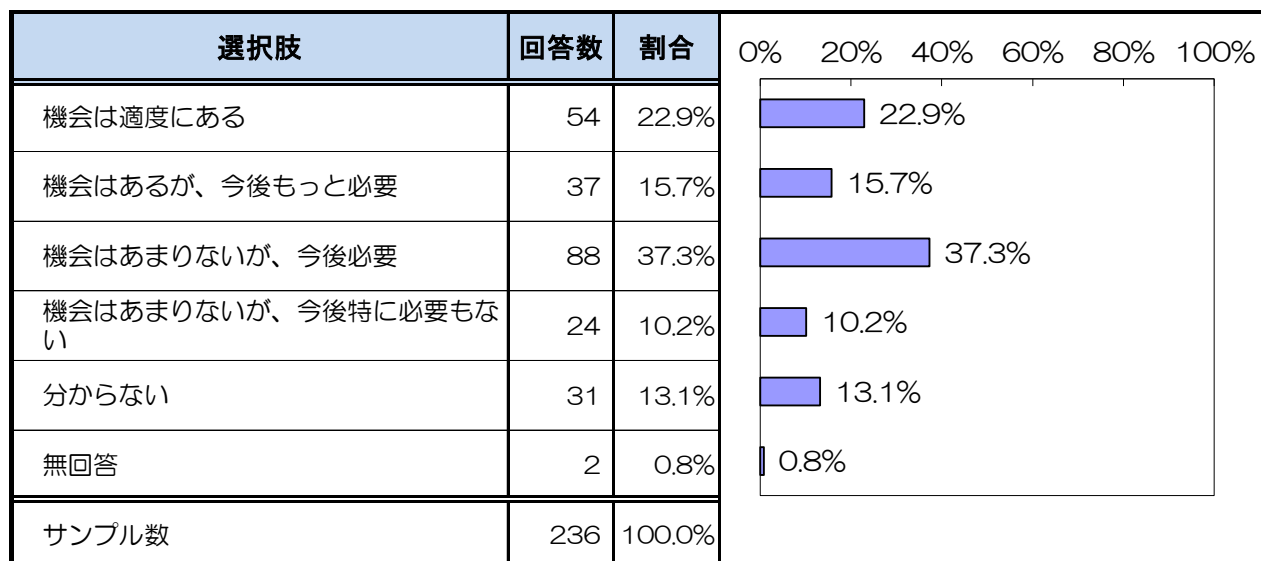
④ 学校の決まり事に意見を言うこと

「機会はありませんが、今後必要」が 37.3%と最も高く、次いで、「機会はあるが、今後もっと必要」の 19.5%、「機会はあるが、今後もっと必要」の 18.2%の順となっています。



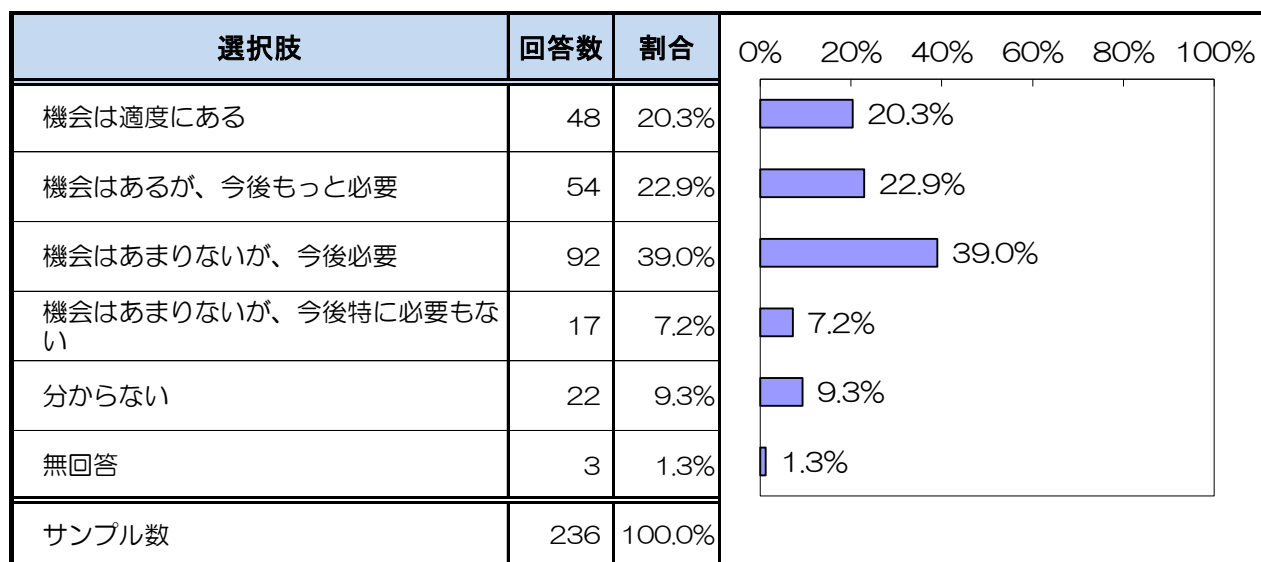
⑤ 地域の行事・イベントの企画・運営に参加すること

「機会はありませんが、今後必要」が 37.3%と最も高く、次いで、「機会はあるが、今後もっと必要」の 22.9%、「機会はあるが、今後もっと必要」の 15.7%の順となっています。



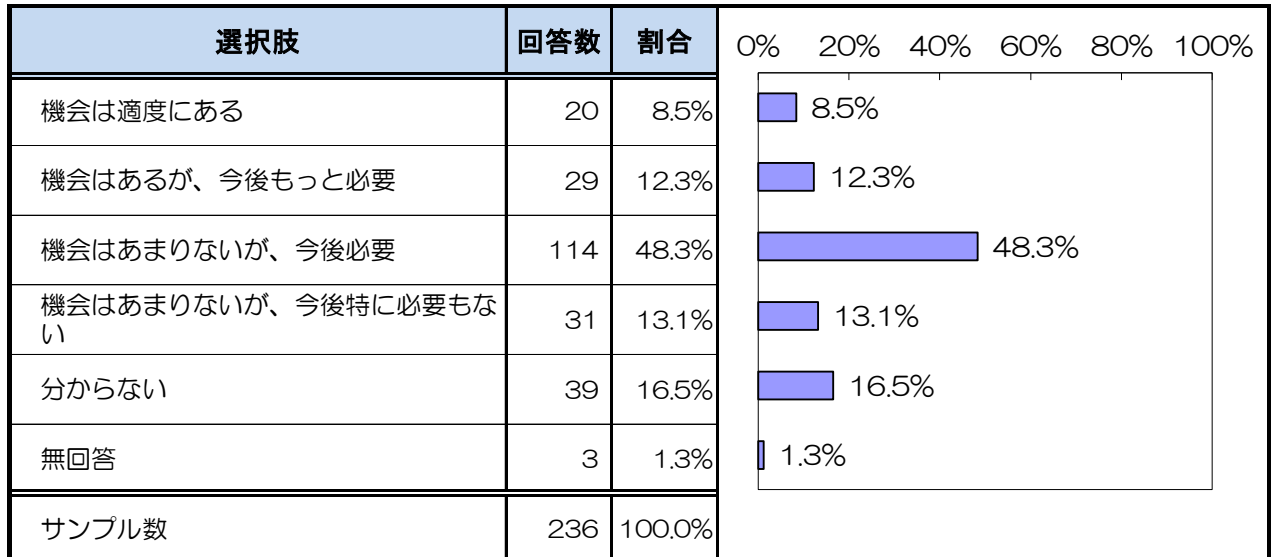
⑥ 地域のまちづくりやボランティア活動に参加すること

「機会はありませんが、今後必要」が 39.0%と最も高く、次いで、「機会はあるが、今後もっと必要」の 22.9%、「機会はあるが、今後もっと必要」の 20.3%の順となっています。



⑦ 鹿児島市政について意見を言うこと

「機会はありませんが、今後必要」が 48.3%と最も高く、次いで、「分からない」の 16.5%、「機会はありませんが、今後特に必要もない」の 13.1%の順となっています。



問 31 子どもが安心して自分らしく生き、社会参加しながら成長していくには、どのようなことが大切だと思いますか。意見があれば教えてください。

◆回答一覧（原文まま）

・地域の大人による見守り・手助けやイベント等の開催等について

回答内容	性別	年代	地域
やはり、周りのサポート、見守りだと思います。	男	50歳代	吉野
家庭だけでなく、地域で子供を育てていく必要がある。自分の子供だけでなく、周りの子供にも、目をむけていきたい。	女	50歳代	伊敷
見守り隊。	男	50歳代	中央
子どもは宝です。親の所有物ではありません。地域で愛情を持って育てていく。	女	60歳代	谷山
子どもを社会全体で見守る姿勢。	女	29歳以下	谷山
質問からずれているかもしれませんが…。例えば、地域の清掃活動の時、一世帯から一名参加するのが自分の住む地域では当たり前になっています。そんな時、子供連れで親子で参加することから始めてもいいのかもしれない。	女	50歳代	松元
社会参加活動がコロナの影響で出来てないので今後地域の方々とも交流していきたいです。	女	40歳代	中央
周りの人の愛情・理解・手助けが必要だと思います。	女	40歳代	谷山
周りの大人が見守る環境が大切。	男	50歳代	郡山
周りの大人の理解、サポートが必要だと思う	女	29歳以下	伊敷
周囲のコミュニティの結束力。	男	29歳以下	中央
親、学校、地域の連携。	男	60歳代	中央
親、近所の親子など、身近な子を持つ親同士が積極的に参加していく事。	女	40歳代	谷山
親、親戚、近所の方や、学校、社会で子育てしていく。母親がストレスをためないことでゆとりを持って子育てできると思います。	女	40歳代	谷山
人を思いやる行動。やらされるよりやりたい気持ちなる行事、地域活動が必要な気がします。	女	40歳代	中央
声掛けをなるべく行い日頃から関わりを持ち見守り、個々を認めてやる事が大事な事なのでは。	男	50歳代	郡山
大人が子供達を見守っていき、地域全体で見守っていけばいいと思います。	女	50歳代	中央
大人の見守り、声かけですが、不審者扱いされるのはいかなものかと感じています。	男	40歳代	吉野
大人の見守りが、もっと必要だと思います。いじめとかを先生方も見てみぬ振りをせずに保護者と連携して大人達ももっともっと子供達と関わりあいを持たないといけないと思います。	女	-	中央
核家族が多い中、近所との関わり方も必要だと思う。今の若い親にも“子供は宝”という言葉を知ってもらいたい。（悲しいニュースを観る度に思う。）子供の遊び場（公園等）を増やして、地域の方（年配の方等）と、出会う場所も必要。“地域で子育て”が出来れば相乗効果もあると思う。（昔のようになればいいと思いますが。）	男	40歳代	吉野
こどもが安心して暮らせる地域社会づくり。	男	40歳代	中央
このご時世、簡単に声かけなどできませんが、やはり「挨拶」が社会参加へ欠かせないことではないでしょうか？	女	50歳代	伊敷

回答内容	性別	年代	地域
他県出身で、今、2才の子どもと夫1人の3人家族です。地域には知り合いもおらず、近所つき合いもないため、ワンオペ育児にいつも不安を抱えています。月1会、2時間の子育てサロンを利用していましたが、いつでも気軽に息抜きに立ち寄れる子育てステーションなどがあれば近所や地域の方とのコミュニティにもなりお互い支ええるのかなと思います。	女	30歳代	喜入
地域での声かけ、あいさつ大事。	男	40歳代	伊敷
地域の行事や自治会のイベントに参加させる。	女	50歳代	喜入
地域との関わりが必要だと思います。	女	50歳代	吉野
地域の事から参加が、必要。	男	30歳代	中央
地域の中で子供が中心となり企画物が出来ないものか、もっと学校図書館を利用出来ないものかと思います。	男	60歳代	中央
地域の中で生活すること。	女	50歳代	吉野
地域子供会への参加。挨拶の励行。誰でも意見が言える、子供ポストの設置。返事が返ってきたらなおよし。	男	30歳代	喜入

・教育について

回答内容	性別	年代	地域
大人の責任であるが、権利だけが重要視された感じのアンケートであり、子供にも成長にあわせた、権利、義務、責任について教育して行く方向が重要ではないでしょうか。(権利の保障は年齢にあった義務。責任は人間として社会で生きて行くための基本の3本柱ではないでしょうか。) 3本柱はかたよると子供達の成長が心配です。	男	70歳以上	谷山
学校、親が社会のしくみを子どもに教えるべき。私は自分らしく生きる意見や主張は、やるべき義務や役割・責任を果たす者が出来ることだと思います。ルールを変えたいのであれば、まずそのルールに従ってみる。そういう事を教えるべき。※ルールやマナーを守れない親や子供が多いと思うので。	女	30歳代	谷山
学校教育の大切さ。社会の活動の参加、社会のなかでの教育。公民会の中での社会の教え。先人の行積等での歴史の教育。	男	70歳以上	中央
家庭での教育と学校の教育が大事だと思います。	-	-	-
がんじがらめに権利でしか子供を守られない世の中になってしまったことが残念です。自分達の子供時代は、貧しくても親や先生に怒られても、それは悪いことや自分の為に叱ってくれていると思って我慢してましたが、今は、大人が子供の為と思って注意することもできないから、自己中心な子供が大人になっても変わらず、適応障害とかになり社会に順応できない大人が増えたのではと考えます。だから、一概に子供の権利がいいとは思えません。権利ばかりを主張するような大人になって欲しくありません。	女	50歳代	谷山
教育制度の改革。学校についても学力のみを求めるのではなく、各特色を生かし、自由に学べる制度を確立。(アメリカナイズ)	男	60歳代	伊敷
家庭内でのしっかりした教育。学校まかせにし過ぎない。	女	60歳代	中央
学校で社会についてもっと身近な事柄で教育していく方法はどうかなと。	男	30歳代	喜入
教育です。	男	60歳代	中央

回答内容	性別	年代	地域
近年では子どももSNSを使うことが多くなり、ネット上で誰とでもつながることができる。自分の意見を主張したり特技を生かしたり、子どもも気軽に社会参加できる便利な世の中になったと思います。その反面、ネット上でいじめを受けた、事件に巻き込まれた、といったニュースを目にすることも多くなったと感じます。すでに教育現場ではネットリテラシーに関する教育はなされていますが、子どもたちには社会参加することへの意義と責任をしっかりと教えてあげることが必要かと考えます。その一方で我々大人も、子どもたちの意見を尊重できる社会づくりを考えていかないといけないのではと思います。	男	30歳代	中央
参加する意義に関する教育が必要。	男	29歳以下	中央
子どもたち自身が自分の権利が保障されるものだということを、まず知ることが大切だと思う。そのためには教育の場でそれを取り上げることが大切ではないか。また、親をはじめ、全ての大人がそのことに理解を深めることも同時に大切なことであり、職場、団体、地域をあげて啓発に取り組んでいきたい。適切な相談機関の開設も考えたい。	男	70歳以上	谷山
子どもの権利・主張のみを優先するのではなく、子どもは子どもでやるべきことをきちんと自覚し社会の仕組みを理解することが大切だと思う。	女	50歳代	中央
子供が一般常識を理解してもらおう活動を大人がする事が大事だと思います。	男	60歳代	谷山
子供の自主性を尊重して成長を見守っていきべきだと思っております。そのためには、親や周りの大人がしっかりとした教育を受けていることが前提としてありますが。	男	50歳代	松元
子供を甘やかしてはいけません。将来の為、しっかり育てなければいけません。権利、権利と言いつつ、義務を果たさなくなる。バランスが大切。子供はみんなの宝物だから、正しい道に導かなければならない。	男	60歳代	中央
自分の意見を相手に伝える練習をすること、色々な角度から考え、多様な考えを受け入れるようになれる練習をすることが今後の世の中では必要になると思う。	女	29歳以下	中央
鹿児島には郷中教育がある、子供たちが自主的に集まり上の子供が下の子供の面倒を見る、規則は子供達全員で決める。そういうものを現代に即して出来ないものかと思えます。	男	60歳代	中央
生活面や、学習面で不便ができるだけでなく、様々なことを知っていくことが出来ることが大切だと思う。	女	29歳以下	谷山
早い段階からの教育。	男	29歳以下	中央
大人が、甘やかして育てるのでなくある程度厳しく、また何でも手助けするのでなく放任するべき。特に学校も教員が優しすぎる。外で遊ばせる。また、外で遊べる環境を作る。動画やゲームばかりでは社会参加などで外に行くように育ちにくい。	男	40歳代	伊敷
大人が適切な情報を与えてあげること。勉強、法律、世の中の仕組みを、先入観をなるべく排除して、教えてあげること。子どもが判断に迷っていたら、助け舟を出してあげられること。大人が子どもに「魚を釣ってあげる」のではなく、「魚の釣り方を教えてあげる」ことが大切。大人が子どものやることを温かく見守ってあげることが大切、ただし、子どもが危機的な状況に巻き込まれる可能性が高い場合は、大人が手を差し伸べたり、体を張って守ってあげることが大切。	男	30歳代	中央
知る機会、考える機会、悩む機会、そういったチャンスや機会をたくさん提供してあげること。大人が個人の価値観や答えを押し付けるのではなく、自分で考え導く手助けをすること。	男	29歳以下	中央

・子どもが意見を伝えることができる環境等について

回答内容	性別	年代	地域
子供に意見を押し付けないこと。(考え方、価値観など)	女	29歳以下	吉野
子どもが生活していて感じたことや考えたことを、定期的に聞くことが必要だと思います。	女	29歳以下	吉野
子ども自身に考えさせ、決めてもらう。	女	30歳代	喜入
子供が自由に発言できる場、集まれる場が必要。ゲームばかりで家にいるのは大人になってもできる。外に出て色々な世界を経験して欲しい。	男	29歳以下	谷山
子供も個人の意見を言えたり出来る場所は必要だと思います。	女	30歳代	喜入
子供達の意見を大人に聞いてもらえる場所とそれを反映できる行政が必要。	その他	40歳代	谷山
社会から守られて自身も社会参加して物事が決まる実際の機会を体験する事ができれば良いと思います。	男	40歳代	吉野
親や教師など大人の意見が全て正しいわけではないので、大人の意見に左右されず、自分の主張を言える環境が必要だと思う。最近では「親ガチャ」といった虐待等をする親のところに生まれたり、いじめで自殺したりなど、悲しいニュースを多く見る。そのため、不登校は恥ずかしくないこと、児童養護施設の存在や交番の場所等「逃げられること」を教える必要があるのではないかと思う。	女	29歳以下	伊敷
年齢に応じてですが、求められる意見やアイデアなど、集会だけでなく、日頃から発言できるようになればと思います。	女	50歳代	中央
学校で市政の勉強をしながら、実際に市政に対して意見を言えるような討論会をひらく。	女	30歳代	中央
学校や鹿児島市政など、意見を伝えられる場所はちゃんとありますが、子ども達が意見を言わない、または、それを知らない場合の方が多いのかもしれない。子ども達は、まだまだ知らない事も多いので、こういう事ができるって事を大人が教えてあげることも必要だと思います。	女	40歳代	喜入
子どもが思いを伝えやすい環境を地域、社会が作っていく。	女	30歳代	谷山
子供が意見を言えるような環境作り、学校でも低学年から社会参加できる環境。	男	30歳代	伊敷
教育の現場も行政も自分たちの決めたものは正しいと勝手に決める傾向にある様な気がいたします。子供でも良い意見を扱っているものそれらに耳を傾けて時々で修正が必要なのではないでしょうか？一市民でも不合理な扱いを度々受けています。自分達には権利が有ると本当に権力を嵩になさる方を嫌という程、ふるう方もおいでです。人は本当に人間性がどこにいても（職場）出るものです。良い方に当たると幸いです、反対だどうしようもない状態です。（現実に起きています。私に！）	女	70歳以上	谷山
問 30 の各場面で、子どもの意見・要望等を聞いたり、会合に参加させたりする機会を多く作る必要があります。	男	60歳代	中央
ある程度、大きな所で子供の意見が言える場が必要だと思います。	女	30歳代	谷山
いろんな考えを尊重。子供が進んで意見を述べることのできる環境作り。助けが必要ときにサポートしやすい環境作りは大切。	女	30歳代	中央
子供達の意見も聞いてあげる。わがままできるからなぜこうなのかの理由がないと大人の説得は難しいと思う。でもそれを乗り越えてこそ成長だと思う。	女	30歳代	谷山

※性別の「その他」は、「その他・答えたくない」と回答したことを示す

・大人の意識や子どもへの対応について

回答内容	性別	年代	地域
私達大人の意識が大切に思います。我が子であっても、我が子でなくても、子供は、この社会の将来を担う大切な存在であり、自分の所有物ではないし、自分に関係ないことでもないことを意識していけたらと思います。	女	50 歳代	中央
社会のしくみや構図、見学など学びの機会を多様化、多方向から考えられる機会があるといいとおもいます。子供が社会参加したいとおもったとき、行動に移せるサポートをまわりがどれだけできるのか大人がもつ情報にゆだねられている面が強いと思うので、大人の学習、情報発信は常に必要です。学校教育では教員の質により安心して身を委ねられない事件も起きている。教員、保育士になぜ、合格通知を出す前に、適正検査がないのか、長年疑問です。わいせつ行為などは傾向が掴める心理テストなどできないのかなど疑問でした。	女	30 歳代	吉野
大人が集まり子供の前で悪口などの話をするとう聞いた大人も当たりが強くなり、子供からするとただの恐怖しかない、と。大人の配慮がある方々増えて欲しい。大人が子供のいじめの核を作っている事に気づいて欲しい。	男	50 歳代	喜入
大人が成長し、子どもを導いていくことが必要。善と悪をしっかりと分ける。	女	30 歳代	吉田
大人が締め付けない決めつけない事が大事だと思います。大抵の親や教師は自分の考えや自分の生きてきた中で古い考えや押し付けが多いように感じる。確かにタメになることもあるけれどほとんどが子供の考えを曲げてしまったり締め付けていると感じる。また子供の未来を変えかねないと思うのもっと子供の意見を聞く場や子供達の本来の姿が見れるイベントなど学校を絡めてなどして行って欲しいと思います。ただ最近親がモンスターな方が多いので更に制限されてる気がします。	男	29 歳以下	伊敷
子供達は、宝です。子供達が安心して幸せに暮らすには、我々大人が幸せに健康に暮らす事が大切だと思います。	男	40 歳代	松元
まずは大人が正しい（?）、あるべき姿を見せる必要がある。	男	30 歳代	中央
今の社会が、どのような現状なのかを私たち大人が伝えることが大切にだと思います。	女	40 歳代	中央
子供の権利を守れる大人が増えることが大切だと思います。	女	30 歳代	中央
親、保護者、教育者のエゴにはめない事だと思います。一定のルールは大切にし、その範囲で本人ができる事、似合っている事を見出させるように、行動出来るように、大人は見守り、サポートして行く事が大切に思います。今の子ども達に欠けているのは、【協調性】だと思います。大人の対応次第で、良くも悪くも傾く事だと思うので、自分で考え、行動出来る環境が大切。	女	40 歳代	中央
大人がこどもの権利を認めること。	女	29 歳以下	中央
大人がしっかりと自覚して子どものことを真剣に考え、一緒に悩み、一人の人間として接していくことが必要だと思います。家庭や学校だけでなく地域社会で子どもを見守り、困ったときや悩み事をしっかりと聞き入れて解決できるような社会システム及び大人の意識改革をすれば、子どもたちは安心して自分らしく生き、社会参加できるのではないのでしょうか？	男	60 歳代	吉野
大人が考え方を変えて、子供も1人の人として認める事が大事。	女	40 歳代	中央
大人が子供を守ること。お手本になること。	女	50 歳代	桜島
子供は、大人から愛情を注がれ、守られながら成長する必要があると思う。子供の権利を大人が理解し、尊重してあげる必要があると思う。そのために、双方必要なことは学ぶ必要があると思う。	女	40 歳代	吉野
子供は大人の環境や考え方で変わると思うので、大人の成長が必要だと思います。	男	60 歳代	中央

・親の責任や意識について

回答内容	性別	年代	地域
親が大人として成長しないといけない。小人がこどもを産み育てるようでは子どもの権利は守られない。いつくしみをもち、成長を見守る。	女	70歳以上	谷山
前の間に「分からない」ばかりになりました。私達に子供はおりませんが、子供好きです。親は子供を選べても、子供は親を選べません。最近では安易に出産する例が多く思います。まず親としての自覚をしっかりと持ってほしいです。子供は育てたように育つと思います。	女	70歳以上	中央
まずは養育者が色々な意味で健康であること。体や心、経済的な部分で。そうでないとストレスは上から下いきます、すなわち父親から母親、そして子供へ。一番力のないものが犠牲者となるケースが三面事件にも良くなっています。	女	50歳代	伊敷
育てる親が常識を持つこと。	女	40歳代	中央
行政だけでなく、もっと父兄が真剣に考えるべきであると思います。最近では子供を傷つけたり迫害する親がいるのは悲しいことです。もっと子供が安全に生き生きと育つように皆で考えたいものです。	女	70歳以上	伊敷
子どもは親の所有物でないこと、親の好みに育てるのが教育・躾ではないことを認識することが重要。権利・義務の教育は大事であるが、それを果たせない大人ができることではないように思う。その意味で、実現は難しいが、子どもは社会で育てる意識と体制が必要である。選挙権は基本的人権として生まれたらすぐに与えられること、意思を持つまでは保護者による代行投票を認めることが必要である。現在の政策は目先のことで、「国家百年の体計」のような長期的展望が描けていない。せめて50年先のことを考えるために、若年世代に責任を持たせる社会になってほしい。	男	60歳代	中央
子どもを正しい道へ導くのは親と大人の役目です。権利を認め、わがままな子に育てないのは親の役目で、社会性を身につけさせるのは子どもが関わる大人の役目です。最近では、大人がダメだから子どもたちは正しい道へ進めているのか気になります。公園でボールで遊ぶのも近所の大人が禁止にします。モンスター大人たちを改善する必要があると思います。	男	29歳以下	中央
親がしっかりと親の責任を果たすことが大事だと思う。	女	29歳以下	谷山
親がまず地域活動に参加する。あと大人が色々世話を焼きすぎると良くない。学校に色々意見を言うのもあまり賛成出来ない。今の親を見ると自分の意見が当たり前だと思っている節がある。子供にも甘すぎる。甘やかした結果ゆとり世代だからと言うような大人になる。	男	40歳代	伊敷
親の環境が大切だと思います。経済的に難しい家庭であれば、行政機関が親を守り、親が子どもを守るべきだと思います。	女	29歳以下	郡山
親の参加。	女	30歳代	吉野
親の状況で制限されたり、金銭面でやりたいことができないことがないようにする環境作りが必要だと思います。	女	30歳代	喜入
親の心の余裕があること。	女	30歳代	中央
親は、子供と向き合い愛情を与えると、子供は愛された事で、自信が付き自ら自立していくと思います。	男	50歳代	吉田

・子どもの社会活動への参加や大人と触れ合う機会について

回答内容	性別	年代	地域
もっとイベントを多くして参加出来る様にして欲しい。	男	40歳代	中央
幼児や小学生低学年の子どもは、親子で参加できるイベントや体験学習を受講。小学生高学年以上中学生は、親と相談して独自にイベントなど体験させることが子供の成長につながると思う。	男	70歳以上	伊敷

回答内容	性別	年代	地域
家族以外の方々との関わり方が、難しく虐待から守れなかった可哀想な子供たちのニュースみるとどうにかならなかったか？無関心と余計なお世話が怖い。塾より手ごろな金額で遊び遊べる場があれば、私はそこで働きたいな！	女	50 歳代	桜島
学校、その他の社会と積極的に触れ合う機会を提供する。	女	30 歳代	中央
参加するにしても、まず何があるのかが分からない。参加するしないは別として情報が無い。中学校までは何かと参加したが高校生になると全くない。	女	40 歳代	伊敷
子どもが参加しやすい環境を大人が作ること。	女	30 歳代	谷山
子どもが自らそのような活動に参加できる手段を持つこと、必要な情報を得ることができること。	女	50 歳代	吉野
子どもが自ら積極的に参加する事は少ないと思うので、きっかけをいろんな場面で作ってあげる事が必要だと思います。	女	40 歳代	中央
子供の数がどんどん少なくなる中、学校行事・PTAや町内会活動への参加の負担は子供達にとって無理のないような傾向であってほしいです。心から子供達が楽しめるものであってほしい。	女	40 歳代	中央
子供同士で遊べる場の整備。いろんな人の意見が聞ける場が大切だと思います。	女	30 歳代	中央
色々な経験をする事。月に一回、部活動は休みとか、第3日曜日は家族の日みたいになっているが、実際は部活動でつぶれている。ボランティア活動や、地域の活動に参加させたくても、子供は部活動優先なので、参加できず…学校外の人との交流の場が失われている。	女	50 歳代	伊敷
犯罪から守り、いろんな大人との関わりを持つ機会を作る。	女	30 歳代	中央
たくさんの大人と触れ合い、色々な考え方を知ること。	女	30 歳代	郡山

・相談支援について

回答内容	性別	年代	地域
昔と比べて核家族化している現代、子育ても周りの力を借りたり目を配ったりしてもらえない事が少ないです。子育てで悩んでいる親も多いと思うし、困っている子供も沢山いる事と思います。学校で先生にお話できる機会や勇気があればよいけど。なかなかだと思います。	女	40 歳代	中央
あきらかに暴力、貧困、いじめ、進学に悩んでいる子どもが、1人でも気軽に相談できる場所や窓口があればいいと思う。また誰でも通報、相談できる窓口があれば助かる。親よりも子どもの意見も尊重して守ってほしい。	女	40 歳代	中央
いじめがなくならず、自分の意見も言いにくい、そんな状態もあると思う。親に虐待をされていても言えないという状況もあると思う。なんだか、子供のそういったことに対する相談先が学校の担任の先生に限定されることが多い気がするので、子供の権利を認めるのであれば、警察に相談できやすくし、いじめに対しても、警察が動くような体制を作ってみてはどうか。	男	30 歳代	松元
いじめの無い社会、家族から愛されている、ちゃんと食事が出る何でも相談出来る場がある事。	女	60 歳代	中央
いじめられている子とかは、自殺をしちゃうとか聞いたことがあるのでそうゆう人達を主に守ってほしいと思っています。	男	29 歳以下	喜入
鹿児島市が建設を予定している鴨池の児童相談所の早期完成を望みます。(児童虐待、ネグレクトから子供を守るためにも)	男	60 歳代	中央
家や学校で、相談できる人がいること。	女	40 歳代	中央
虐待などの通報があれば、児童相談所は遠慮なく深いところまで踏み込んでいいと思う。	女	40 歳代	松元

回答内容	性別	年代	地域
公共機関での子供に対する扱いを雑なものではなく寄り添ってあげることが大切だと思う。	女	29歳以下	中央
子供が、駆け込める様な場所が近くにあること。また、正しい権利が主張できるよう、学び・きちんと言葉に出来る学習の機会や場所があること。大人の偏見が、子供に大きく影響を与えているとかんじるので、大人も学ぶ必要があると思う。	女	50歳代	谷山

・貧困による格差や虐待等がない社会について

回答内容	性別	年代	地域
できるなら普通に生活できて毎日を楽しく、勉学、スポーツ、遊び安全な環境のなかで成長してほしい。子供が望むことをお金等に関係なく体験させたい。親も仕事など急がしすぎて子供にかまっていられないことが子供に悪影響にならなければ良いと感じる。子供を守る社会、環境がほしいです。	女	60歳代	吉野
やりたいことがあった場合、経済的要因で教育や生活において、諦めることがないようにすることが、大切。	女	30歳代	吉田
虐待の防止。	男	30歳代	中央
経済の安定。	女	50歳代	中央
今、子供の貧困が日本中で問題になっています。1日3食取れない子供がいると聞きます。そういった子供達にまず何よりお腹一杯ご飯を食べて安心して眠れる環境を整備してください。そこが達成されての社会参加だと思います。国の10万円のバラマキ程度では子供は育ちません。本当に困っている方には地方自治体が細やかな対応をして行くべきです。	女	40歳代	中央
子どもは自分で、出自を選ぶことはできません。どんな家庭に生まれても、学問の自由を保障してあげて欲しいと思います。私自身、子どもはいませんが、お金がない家庭に生まれたために、大学に進学できないこと等はあってはならないことだと思います。機会を平等にするために税金を使って欲しいと思います。	男	40歳代	谷山
子供が健やかに育つには親の経済状況や家庭環境が重要だと考えるのでまずは家庭が経済的に貧困に陥らないようにする。次に子供に対して親からの情報提供をきちんと行うように促すこと。	男	29歳以下	吉野
貧困の差もあると思いますが、医療の助成制度に関してももっと幅広い方たちに提供するべきだと思います。	女	30歳代	伊敷
貧困や親の暴力など、子ども自身にはどうしようもできない環境から公的機関が救い出しやすいシステムがもっとあればいいと思う。	女	30歳代	谷山

・生活環境について

回答内容	性別	年代	地域
毎日の生活の安定。他と平等な取扱い。	男	60歳代	吉野
ある程度の生活を子供みんなが保証され、誰からも傷付けられることなく、安心して暮らしていける世の中に近付けていくこと。	女	30歳代	中央
大切に育てる。自分の子どもの立場になった時の事を思いだして、生活できたらと思います。	女	40歳代	伊敷
安心して生活できる環境。	女	50歳代	谷山
安全に健やかに育つ環境。	女	40歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
学校や部活動を通して、様々な経験と豊かな人間関係を育むことが出来ることを望みます。そのために、いじめや差別のない環境、パワハラのない安心と安全が守られる環境であって欲しいです。	女	40 歳代	中央
健康と安全を守る。	女	50 歳代	中央
生命の安全だけは絶対に必ず保証されるべきです。集団で生きるということは、楽しくもあり、またいろんなしがらみも経験することだと思います。SNS 社会、いじめ、虐待、いろんな場面で SOS を発信、受信できる社会であってほしいと思います。また被害者ではなく加害者が隔離される方向に世の中が変わって行くと良いなと思います。	女	40 歳代	伊敷

・社会全体について

回答内容	性別	年代	地域
子供の気持ちを尊重して生きられるといい。	女	50 歳代	伊敷
大人が見守り、子供が安心してチャレンジできる環境を作ることが大切。	男	30 歳代	松元
子どもの権利条約の中身はとても素晴らしい。反対する理由はありません。大人の勝手な都合で子どもの権利を奪わない社会を実現すべき。	男	40 歳代	谷山
大人からの虐待から子供達を守れる社会になり格差ない生活が送れるようになって欲しい。	女	50 歳代	中央
環境問題その他未来のことについて政治や社会活動への参加とその権利とそれの尊重、力。	男	50 歳代	中央
子供がまだ小さいため権利を意識した事はないが、将来住みやすい社会になってほしい。	女	30 歳代	吉野
「参加する権利」については、色々な考え方があると思うが、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」は、どんな子供も平等に与えられるべきであり、社会全体で子供を守っていく義務があると思う。	男	60 歳代	松元
51 からの質問の意味がよくわからなかった。また、子供の権利をうたう必要があるまで、世の中の理解が得られていないということなのだろうか。その背景がよくわからない。	男	60 歳代	谷山

・国や行政等への提案について

回答内容	性別	年代	地域
「子どもの権利条約」は結構なことと思いますが、上記質問 50 に含まれる項目のいくつかはすでに憲法によって保障されているものです。そうした既存の法体系に加えて制定するのであれば、鹿児島市としてどのような形でそれらの権利を守るのか、その具体的な方策や方向性を市の政策と結びつく形で考えていただければと思います。	男	60 歳代	中央
高齢化も進むなか、今より良くなることがあればよいが、子供達の将来には様々な点で不安も残る。今後もこのように議論したり問題として取り上げて頂き、前向きに進めて頂きたい。	男	40 歳代	中央
国や市町村がしっかりと補助すること。	男	29 歳以下	中央
子育て世帯への実効性の高い支援。	男	50 歳代	谷山
鹿児島市の政治を知る機会を増やす。	女	29 歳以下	中央

回答内容	性別	年代	地域
イジメを厳罰化することと、少年法の撤廃が必要だ。近頃はイジメによって命を落とすという寒心に耐えないニュースをよく耳にする。もしかして、子どもにとって最も危険なのは自身と同じ子どもではないかと考え出した。少年法を撤廃してイジメを厳罰してしまい、他人をイジめるような人格に欠陥のある人間を排除していくことが、子どもが安心して暮らせるようになる手段だろう。	男	30歳代	中央

・家庭内のコミュニケーション

回答内容	性別	年代	地域
子供が小学中学特に父兄が参加する（一般を含む）場所、時間を作りコミュニケーションを増すこと。	男	70歳以上	喜入
子どもにとって一番近くにいるのは家族。特におかあさんとおとうさん。親にとって子どもと向き合ったり、何かを一緒にする環境を整えることが大切だと思います。	男	30歳代	伊敷
まず家庭内で話し合い、皆納得したうえで社会活動に参加すれば良いと思います。	男	60歳代	吉野
家庭での会話。	男	50歳代	松元

・その他

回答内容	性別	年代	地域
あまりよくわからないのでこれからいろいろ知りたい。	男	40歳代	谷山
一番は少子化問題を解決する事だと思います。	男	40歳代	伊敷
見学など、お気軽な方からスタートしたら良いと思います。	男	40歳代	松元
今のままでも十分だと思う。	女	40歳代	喜入
子どもの社会参加の取組が良かったです。これからも維持して行ってほしいです。	男	40歳代	中央
子どもを大切にするには、まずはその大人が幼い子どものうちから守られる経験をしているべきだと思います。	女	30歳代	谷山
子育て真っ最中のため、助けてもらったことを、次の子育て世代の方のためにしていけるように努めたいです。	女	30歳代	吉野
子供がいないので。	女	40歳代	谷山
親や周囲の大人だけでなく、子供同士の関わり。	女	30歳代	吉野
とくに。	女	30歳代	吉野
特に、ありません。	男	40歳代	谷山
特にありません。	女	29歳以下	喜入
特にありません。	男	50歳代	中央
特にない。	女	29歳以下	中央
特にない。	男	40歳代	中央
特にない。	女	30歳代	吉野
特にないです。	女	50歳代	伊敷
特になし。	男	29歳以下	中央
特になし。	男	60歳代	伊敷
特になし。	女	40歳代	中央
特になし。	女	30歳代	中央
特になし。	男	29歳以下	伊敷
特になし。	女	30歳代	吉野
特になし。	男	30歳代	谷山
特になし。	女	40歳代	谷山

回答内容	性別	年代	地域
特になし。	女	29歳以下	谷山
特に意見なし。	男	40歳代	中央
特に今のままでよい。市からの補償等も受けられている。	女	30歳代	伊敷
特に無し。	男	40歳代	中央
特に無し。	男	50歳代	伊敷
ない。	男	50歳代	伊敷
なし。	女	30歳代	中央
なし。	女	29歳以下	谷山
なし。	男	30歳代	伊敷
なし。	男	29歳以下	伊敷
なし。	男	30歳代	伊敷
あまりわからない。	女	50歳代	喜入
分からない。	女	30歳代	伊敷
分かりにくいので今は、無いです。	男	50歳代	中央
よく分かりません。	女	50歳代	吉田
わからない。	女	50歳代	吉田
子供の笑顔を大人が力強く守る社会を作っていきたい。未来を夢見て、前向きに努力する気持ちを持てるように可愛い子供達を支えられる大人でありたいと思います。	女	50歳代	谷山
子供も家族ですので大人と同様子供なりの権利は、必要で大切だと思います。	男	60歳代	中央
子供も人にならないので、大人だから子供だからと分けないで同じように平等に接していくべきだと思う。	男	29歳以下	中央
自分の権利は他人の権利を侵すものではない。共存しなければならない。子どもにはそこも教えなければ、そしてその教えは子どもの権利を侵すものであってはならない。	男	40歳代	中央
少子化が進む中、子供の人権は大事でもあるが、守っていかないといけないと思う。戦後の大勢の子供たちは、人権は守られない時代もあったが、それでも伸び伸び生き生き、生きていたと思う。多いからこそそのなせるわざである。多いからこそ子供同士の波長の合う子が繋がっていた。少なくなれば、自然界の希少動物ではないが、繋がりがなくなり、大事に育てないと増えていかない。自然の摂理ではないが時代に即応した対応が迫られる。立場も高低や強弱も全てフラットにする必要はない。個性を伸ばしてあげることが大切だと思う。	男	60歳代	伊敷
人の痛みを分かるような出来事が、親子共に必要だと思います。痛みが分かってくつ、他人にもそういう痛い思いして欲しくないと思えば生きにくい世の中にはならなそうな気がします。	男	30歳代	中央
凄惨な事件も多くなっているのでもっと人数をとって行政と密に連携を取れる会社として確立し、最後まで案件を追いかけられるようになって欲しい。	女	30歳代	喜入